

# 東大国語研究室蔵『玉塵抄』の翻刻（五）下

小池 俊希・奥山 光・山本 久・木越 拡

小幡 幸輝・竹林 栄実・岩崎 凜太郎

西川 由佳・王 竣磊・大島 英之

## 一 凡例

本稿は、東京大学国語研究室が所蔵する『玉塵抄』巻五の後半部（107丁オモテ7行目～216丁ウラ）「封」から「淙」までについて、翻刻を行うものである。翻刻に際しては、できる限り正確な本文の再現を目指したが、以下について注記する。

### 一、一 翻字の方針

・ 原本には、墨筆の本文のほかに、朱筆による書き入れが見

られる。抄の原典である『韻府群玉』における韻目を示す三角形には「△」を、見出し字を示す丸には「○」を、見出し語・熟字に施された鉤点には「ㄣ」を用いて、これらを再現した。なお、本巻には訂字の類の朱筆も見られるため、これも墨筆とは区別して可能な限り再現に努めた。ただし、翻刻本文が煩瑣になることを避けるため、人名や書名を表す朱引は、翻刻本文には反映していない。

・ 見出し語や熟語が切り替わる際には、原本では改行すること多いが、改行をせずに一字分の空白を入れることもある。これらの表記については、可能な限り再現に努めたが、一字分の空白が翻刻本文の行末に配される場合には、翻刻

本文上、改行と峻別しがたいため、次行の頭に空白を移すことで、これを示した。

- また、本巻の特徴として、『韻府群玉』における小韻代表字の箇所において、約二字分の行頭下げが、数行にわたって行われる。翻刻本文にもこの行頭下げを反映したが、一字分の行頭下げとしている。

- 漢字字体は、原則として現行の字体に改めた。ただし、例外も存するため、その扱いについては三節に詳述する。

- 仮名字体は、原則として現行の仮名に改めた。ただし、「エ」

- 「キ」など一部の字については本文の仮名遣いを再現した。
- 合略仮名は、「ㄱ(コト)」「メ(シテ)」「ㄷ(トモ)」を用いてこれを再現した。

- 踊り字は、「々」「／＼」「ゝ」「ゞ」を用いてこれを再現した。

- 送り仮名、振り仮名、字の右下に小書きされた仮名は、いずれもルビ機能を用いてこれを再現した。その際、仮名の上下位置は翻刻者の解釈で修正を施した場合がある。

- 漢文などにおける既出の字の省略記号は、「一」を用いてこれを再現し、想定される文字数と省略記号の本数に不一致が認められる場合は、あるべき本数を「〜」で補った。ただし、「強琴一」(176ウ)など、一本の省略記号が漢文引用箇所の大部分、あるいはその全体に対応すると考えられる場合には、省略記号の校訂は施さなかった。

- 省略記号について、一字目と二字目の切れ目が認めがたい「、一」のような形は、二字分として解釈した。

- また、東大本の第四巻まで、および国会本、叡山本の第五巻には、引用を表すために付される、漢文の末尾の縦線がしばしば認められる。東大本の第五巻においては、数箇所の方にこのような記号が認められるが、注記等は施さず、既巻と同様に「一」を用いてこれを再現した。

- 右傍線は「右傍線」、左傍線は「左傍線」のようにそれぞれ再現した。なお、抄文中に用いられる左傍線は、その及ぶ範囲がしばしば不明瞭である。そのため、特に字音語に施されたものについては、翻刻者の解釈で修正を施した場合がある。

- 音合符は「音合」、訓合符は「訓合」のようにそれぞれ再現した。

- 見せ消ちは、「~~々々々~~」のように二重取り消し線によってこれを示し、傍書された訂正後の字句を「」中に示した。

- 行間の傍記のうち、補入と判断されるものは「」中に示した。なお、補入の注記がある場合には、「○」のように示した。

- 本文中、書記者によってある字句が線で指示され、語釈や解説などの傍記が付される場合がある。翻刻本文ではこれを「(側注…)」の形で小書きした。

- 反切を示す小書きの箇所「但禾反」(137才)や、ある内容

が詳述されている別の箇所を示す「詳し壁」(203ウ)のようなものうち小書きの箇所は、上付きによりこれを再現した。

・その他、翻刻に反映しがたい問題については、適宜その旨を脚注に示した。

## 一、二 校訂の方法

・翻刻者が誤脱などと判断したものは、国立国会図書館蔵本(国会本)と叡山文庫蔵本(叡山本)、および適宜関連資料を参照し、「(○○か)」のようにあるべき形を付記した。原態の復元が難しい場合には「(ママ)」を付した。また、漢字について、誤字と思われるが、原本の字体を活字で表現できない場合には、翻刻者の解釈で改めた。該当箇所については、次節の「訂字箇所一覧」を参照されたい。

・衍字、衍文と判断したものについては、「(衍か)」を付した。

・漢文中に、明らかな脱字が認められた場合には、あるべき文字をへゝ中に補った。なお、返点や記号類の脱落にいても同様に補った。

・国会本、叡山本と対照して、数語に及ぶ脱落が認められた場合、国会本を底本として《》中に補った。

・虫損があり判読しがたい字は、国会本、叡山本および文脈から推定し、「**国園**」のように示した。

・その他の問題については、適宜脚注で説明した。

・原本に丁数は付されていないが、便宜上各丁オモテ、ウラの始めに「108才」のように丁数を示した。

・校訂・翻刻を行うにあたって諸本を参照する際には、国会本については国立国会図書館デジタルコレクションに公開されているデジタル画像 (<https://dl.ndl.go.jp/pid/2545082/1/1>) を、叡山本については『新抄物資料集成 第二巻』(二〇〇〇、清文堂出版) 所収影印を用いた。また、『韻府群玉』ならびに『古今韻会举要』については、米沢善本完全デジタルライブラリー (<https://www.library.yonezawa.yamagata.jp/dg/zen.html>) に公開されている画像を用いた。なお、その他の漢籍資料については、主に中央研究院・歴史語言研究所「漢籍電子文獻資料庫」(<https://hanchi.iuh.sinica.edu.tw/ihp/hanji.htm>) に公開されているテキストを用いた(URLはいずれも二〇二四年二月一二日最終閲覧)。これらの漢籍の本文を脚注に引用する際には、翻刻者の判断で適宜句読を施した。

## 一、三 漢字字体の取り扱い

前号までと同様、原文の漢字は、原則として通行の字体に改めた。すなわち、常用漢字は新字体に、表外字は正字体を

基準として翻刻した。しかし、次のようなケースにおいては例外的に、二種以上の字を区別して示した。

・新字体と旧字体とが、元来別の字義を有したものの。

芸／藝、余／餘、予／豫、台／臺、糸／絲、弁／辨・辯・辯の6例。

・略字や、異体の程度の大きいもの。

勻／韻、无／無、𠂔／録、众／衆、𠂔／靈、尔／爾、广／摩、𠂔／貌、厂／雁の9例。

※ただし、𠂔は璽で、迹は邇で、𠂔は蕪で翻字した。

・異体字ではなく、通用関係にあると考えられるもの。

遊／游、座／坐、跡／迹、編／篇、弦／絃、歎／嘆など

・本文中に字体に関する記述が見られる場合。

例えば、<sup>154</sup>ウ「𠂔<sup>ハ</sup>、<sup>朱</sup>錢ノ字ヲ、コレヤウニモ、カクソ」の「𠂔」は、標準的な字体では「錢」であるが、本文で字体の説明を行っている関係上、異体字を示した。

また、例外的に、龍の字は新字体(竜)ではなく旧字体(龍)で翻刻した。なお、右のほかに、当時の表記法と思われるも

の(例…命吾【論語】)や、いわゆる抄物書き(例…花ム【嚴】)については、原文の表記をそのまま反映した。

以下に、「主要異体字一覧」と「訂字箇所一覧」を示す。前者は、本翻刻における異体字統合の基準を示すものであり、用例の所在の表示は省略している。後者は、臨時的に現れる誤字とおぼしき字体を、所在と共に示すものである。

## ○主要異体字一覧

〔偏旁冠脚における異体〕

原文の字体	↓	翻刻字体	字例
・二水(𠂔)	↓	三水(𠂔)	…決、涼、減、潔
・手偏(扌)	↓	木偏(木)	…杖、杜、枝、楊、模
・行人偏(彳)	↓	糸偏(糸)	…網、郷、雍、饗
・手偏(扌)	↓	方偏(方)	…於、遊、閑
・ワ冠(𠂔)	↓	ウ冠(𠂔)	…富、瀉
・草冠(艹)	↓	竹冠(𠂔)	…等、節
・麦 ↓ 麦			…陵
・爰繞(爰)	↓	延繞(𠂔)	…庭、延、廷、建、莚
・𠂔 ↓ 𠂔			…即、卿、御、節、鯽
・𠂔 ↓ 𠂔			…邛、𦵏、茈

・卯 ↓ 卯	・易 ↓ 易	・旦 ↓ 且	・力 ↓ 刀	・刀 ↓ 力	・日 ↓ 口	・ソ ↓ ク	・火 ↓ 火	・大 ↓ 大	・一 ↓ 一	・旧 ↓ 旧
：卿、柳	：傷、楊、腸、陽	：疸、祖、粗、誼	：券、辺	：功、協、幼、男	：豪、高	：龜、像、煥、衡、讒	：熱	：蘇、鮎、鮑、鯨、鱈	：憑、漁、瀉、為、烏	：叟、椿、滔、瘦、春

〔対応する字種・構成要素が複数ある場合〕

・先に挙げた例のほかに、「干」と「于」、「土」と「土」、「己」と「巳」と「巳」、「未」と「末」、「束」と「束」などについて、字体上の区別がほとんど無いため、文脈に応じた字種を選択して翻刻した。

・立心偏（卩）の終画を欠くような字形は、次のような字の偏にも用いられており、文脈に応じて翻字し分けた。

「将」 「博」 「藏」 「収」

・崩されて「之」のようになる字形は、複数の構成要素に対応する場合があるが、文脈に応じて翻字し分けた。

〔その他の異体字一覧〕

「供」 「機」 「寒」  
「謨」 「雲」 「貴」

・次に掲げる一覧表は、巻五後半部で用いられている主要な異体字を示したものであるが、第十五～十九号に掲載したものについては、多く省略した。ただし、特徴的であると判断した字体については、重複して掲出している場合もある。なお、「主要な異体字」の判断は恣意的なものであるため、巻五前半部までに見えるのにもかかわらず前号で取り上げなかった字体を、本表で取り上げている場合もある。

・崩して書かれた字についても、楷書の字形と大きく異なる場合には、ここに取り上げている。

・次のような、突き出すか／付けるか／離すか、といった差違については、他の字種と紛らわしいと判断した場合を除いて、多く省略した。

「役」 「見」 「湖」

・異体字が、形の上で、新字体よりも旧字体に近い場合は、翻刻字体の右側に「」でその旧字体を示した。

・ある字における異体の部分が、それを構成要素に持つ別字

においても、同じ異体によって書かれる場合は、画像の下に（ ）でその字例を示した。例えば、「孤」の「瓜」は、原本では「瓜」と書かれる場合があり、「狐」においても同様の例があることを示している。

旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱
旌	携	悩	年	寿	孤	墜	却	兮	乱

魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧
魁	雍	賢	虞	莫	脆	翰	等	監	璿	燧	璧

○訂字箇所一覧

以下では、異体字ではなく、誤字の疑いが濃厚な例を一覧する。具体的には、臨時的に現れ、児玉幸多『くずし字用例辞典』（二九八一、東京堂出版）や太田晶二郎（一九九三）『異体字一隅』（『太田晶二郎著作集 五』吉川弘文館、四〇〇～四三五頁）に拠ってもほとんど確認することができないものを取り上げる。該当箇所を特定するために、用例の所在に加えて、前後の翻刻文を示した。

本号では、活字で表現し得るものでも、字体上の誤りと思われる例や、字体上の類似から別字種に置き換わったと思われる例についても、積極的に取り上げた。なお、114ウ「仄職（読み）」のように、字種そのものを誤っていると思われる例については、ここには掲げていない。

108 ウ 所<sup>一</sup>領ヲトラメ

124 ウ 梵網經ノ五辛ノ下タノ注ニ

129 ウ 昊天不<sup>レ</sup>備<sup>ヒトシカラ</sup> 降<sup>ノ</sup>此<sup>ヲ</sup>鞠<sup>一</sup>



140 ウ 黒甜ト<sup>141オ</sup>「云ハ

173 ウ 麩<sup>一</sup>麩ナリ、

176 ウ 一生モノウイ、懶<sup>ヲ</sup>ナ、ウチニ、

178 オ 尚書ノ阜陶謨ノ篇ニ

182 オ 簾業維<sup>レ</sup>

191 ウ 言厖<sup>コトアツシ</sup>、文勝<sup>スクレテ</sup> 而<sup>一</sup>、  
韓<sup>ハナム</sup>

198 オ 比<sup>ス</sup>邾莒小国<sup>ニ</sup>

210 ウ 齊師陣<sup>ノイ</sup>ニ於<sup>ス</sup>鞍<sup>アンニ</sup>

214 ウ 時間<sup>ニ</sup>正論<sup>ヲ</sup>除<sup>ク</sup>疑<sup>一</sup>網<sup>ヲ</sup>

215 オ ヒキハツタ網<sup>アミ</sup>ヲ、キリ破タソ、

216 ウ 四海群從間邇来頗





地ニツイテソコカラ又根カミカツテミイタヤツナソナツメ  
クサイノ家ソツク材木ニナラヌノ山谷南<sup>ツツ</sup>迂<sup>ツツ</sup>維<sup>ツツ</sup>舟<sup>ツツ</sup>下人  
作<sup>ツツ</sup>溪<sup>ツツ</sup>客<sup>ツツ</sup>山谷カ南方エ流タ村舟ソ此ノ木ノモトニツナイ  
テヤスンタノノチニ人榕溪客ト云ヲ作タノ客ニヤツタカ  
中谷雷州エ流テ雷テハテタノ雷ソ南迂ト云タカ  
ノ一ミ榕系滿庭鶯乱啼ト柳子厚作タノ

○封語 伐<sup>ツツ</sup>人<sup>ツツ</sup>命<sup>ツツ</sup>者<sup>ツツ</sup>ニ伐<sup>ツツ</sup>人<sup>ツツ</sup>ニミエントコウトアリ孔子  
ノツ目ニカリタイト云タノ封人ト云ハソノ国トソノ国



トノサカイメテイテサカイシ守ルソノ役アツシスル者  
シユソノコノ封疆オクサマノサカイメアリ物シフウスルソ  
左傳ニモ穎封人ト云者アリ穎者姓ナリソレモ穎  
ノサカイメノ封人ナリ前刑志伺丁シ為シ一シ前シ書  
ノ刑法ノ一ソシレイタ志ノ書アリソレニアリ伺丁  
ト云ハソコノサカイメニイテミテニルソコチノ内ノ  
木シハツカルカ草シカルカ牛馬カフチノ地エ入テ物シハ  
ムカフミアフスカナトノ

## 二 翻刻本文

(107ウ途中より)

○封、**語儀**一人、命吾二儀一人マミエントコウトアリ、孔子ノ、ヲ目ニカ、リタイト云タソ、封人ト云ハ、ソノ国ト、<sup>108オ</sup>ソノ国「トノ、サカイメテ、<sup>(二か)</sup>イテサカイヲ、守ルソ、ソノ役ヲスル者ヲ云ソ、《封ト云ハ、≡ソコノ封<sup>ホウ</sup>疆<sup>キヤウ</sup>ノ、サカイメアリ、物ヲフウスル心ソ、左伝ニモ穎封人ト云者アリ、穎考叔ナリ、ソレモ、穎ノサカイメノ、封人ナリ、**前**刑法志<sup>シテイヲ</sup>伺<sup>シ</sup>丁<sup>テイ</sup>為<sup>シ</sup>レー<sup>1</sup>、前漢書ノ刑法ノコヲ、シルイタ、志ノ書アリ、ソレニアリ、伺<sup>1</sup>丁ト云ハ、ソコノサカイメニ、イデミテニ、ナルソ、コチノ内ノ、木シハヲカルカ、草ヲカルカ、牛馬カ、コチノ地エ入テ、物ヲハムカ、フミアラスカナトノ

<sup>108ウ</sup>

「コヲ、ウカバイミル者ヲ、封ト云ソ、丁ハ、人ト云心ソ、イヤシイヲノコノ心ソ、**漢史**雍齒<sup>1</sup>先<sup>1</sup>、此ハ、天下カ、漢ノ高祖ニ、ヲソレテ、人カキヤクシンスルソ、テキニナル者、アラウスホトニ、一ノケイリヤクニ、高祖ノ、平生、ニクマレタ者ヲ、先一番ニ、所領ヲトラメ、官ニモ、ナサレト、張良ヤラガ、異<sup>1</sup>見メアリ、サウアツタレハ、ソコテ、天下ノ者カ、アレボト、<sup>(ホドカ)</sup>ニクマレタ者サエ、カウアルホトニ、吾<sup>1</sup>等ツレハ、ソモカウ、心ヤスイソ、涯<sup>1</sup>分、忠ヲツクサウト云タコソ、<sup>109オ</sup>「剪<sup>キツテ</sup>桐<sup>ヲ</sup>戲<sup>ニス</sup>」古文真宝ニ、桐葉<sup>ス</sup>封<sup>ヲ</sup>レ弟<sup>ヲ</sup>文アリ、周ノ成王ノジャレコニ、桐ノ葉ヲキツテ、圭<sup>ケイ</sup>ノ玉ノナリニメ、此ヲ、シルシニメ、ドコノ王ニナストセラレタソ、成王ノ弟、唐叔ヤラノコソ、周公旦ノキイテ、天子ニハ、ジャレコ、シヤレワサハ、ナイモノナリ、ジャレナドアレハ、天下ノ者ガ、カルシメ、アナドルトテ、本<sup>1</sup>弟ヲ、虞王ニ、ナサレタソ、王ヤ守護ニ、ナサル、ニハ、

<sup>1</sup> 米沢本『韻府群玉』には「伺十為」とある。『漢書』刑法志には、「地方一里為井、井十為通、通十為成、成方十里、成十為終、終十為同、同方百里、同十為封、封十為畿、畿方千里」とあり、「同」が「伺」に、「十」が「丁」に変じたという過程が想定される。

原本、および国会本・叡山本はいずれも字を欠くが、『韻府群玉』には省略記号が存する。原典とおぼしき『漢書』卷六十五・東方朔伝の顔師古注

シルシニ、玉ヤ、玉ノ印ヲ、タマワルソ、詳レ桐東勾ノ桐ノ  
 所ニ、ネンコロニ云タソ、歳<sup>ヒメ</sup>早<sup>ス</sup>上<sup>ス</sup>帝<sup>ス</sup>一<sup>ス</sup>江<sup>ヲ</sup>湖<sup>ヲ</sup>一<sup>ス</sup>詳<sup>ス</sup>龍冬  
 龍ノ所ニアツタソ、一<sup>一ス</sup>二<sup>二ス</sup>殺<sup>一〇九ウシヲ</sup>一<sup>一ス</sup>尸<sup>一</sup>、詳<sup>ニ</sup>尸<sup>ニ</sup>、殺<sup>カウ</sup>ハ、錯<sup>一</sup>雜ナ  
 リ、マシワツタヲ云ソ、左伝ノ八ノマキ、文公ノ伝ノ、三  
 年ニアリ、秦ノ君ノ、晋ノ国ヲ、セメタソ、河ヲワタツテ、  
 ノツテ、ワタツタ舟ヲ、ヤキステタソ、イキテ、一<sup>一</sup>タヒ、  
 カエルマイト云心テ、ヤイタソ、カエルマイホドニ、舟モ  
 入ルマイ心ソ、晋ノ者ハ、デアワヌソ、王官<sup>カウ</sup>ト郊<sup>カウ</sup>ト云所ヲ、  
 ウツテ、取タソ、此モ、晋ノ中ナリ、茅津<sup>ハウ</sup>ト云、津ヲワタ  
 ツテ、殺<sup>一</sup>尸ヲトリアツメテ、ホリウヅミ、カクイテ、秦  
 ノ众ハ、帰タソ、殺<sup>一</sup>ハ、マシワツタヲソ、王官<sup>一〇オ</sup>ナド一<sup>一</sup>ヲ、  
 コチエキリトツタホトニ、ソコラデ、合戦アツタカ、尸骸<sup>ガイ</sup>  
 ノ、雜々ニメ<sup>一</sup>多<sup>一</sup>ヲ、ホリウツンテ、カエツタソ、ウツムヲ、  
 封<sup>一</sup>ト云ソ、此モ、秦ノ穆公ノセラレタソ、穆公ヲホメタソ、  
 五霸<sup>ハ</sup>ト云テ、此時分ヲ、戦国ト云ソ、五人ノ諸侯ノ、天下  
 ヲ、ハカラワレタソ、五<sup>一</sup>ハノ中デ、穆公ヲホメタヲ、多ソ、

堯封、

堯<sup>ケイ</sup>門<sup>一</sup>何<sup>一</sup>処<sup>ツ</sup>尽<sup>一</sup>一<sup>一</sup>、薊州ノ門ナリ、薊ハ、北方ノ漁陽ト云国ナ  
 リ、後ニ、薊州ニナサレタソ、ソノ国ハ、ドコモ堯ノ時ニ、  
 比屋<sup>シ</sup>可<sup>一</sup>レ一<sup>一</sup>ト云タソ、堯ノ時ハ、下<sup>一</sup>々ノ、イヤシイ民マデ、  
 心ガスナヲニ、マタウ一<sup>一〇ウ</sup>一<sup>一</sup>レン<sup>一</sup>チヨクナホドニ、家ゴトノ民  
 ヲモ、物ヲトラセ、位ニモ、アゲツベイ者ヂヤト云タソ、ソ  
 ノ如ク、今薊ノ者モ、堯ノ時ニ、封セラレタ、民チヤト云心、  
 比<sup>一</sup>屋ハ、比、ナラブトヨムソ、ナラブ時ハ、平ソ、タトユル  
 時ハ、仄ソ、屋ヲナラベテ、イタ心ソ、ノキヲナラブルト云  
 ツレソ、比<sup>一</sup>隣ト云モ、同<sup>一</sup>ヲソ、比目魚、比翼鳥モ、比ハ、ナ  
 ラフ心ソ、平ナリ、  
 堯<sup>一</sup>提<sup>一</sup>封、一<sup>一</sup>頃<sup>一</sup>畝<sup>一</sup>方<sup>一</sup>朔<sup>一</sup>伝<sup>一</sup>提<sup>一</sup>一<sup>一</sup>ハ、シン<sup>一</sup>ダイスル心ソ、吾カモ  
 ノ、心ソ、頃<sup>一</sup>一、頃ト云ハ、一<sup>一</sup>頃ノホドアリ、ヒロイコデワ、  
 ナイソ、一<sup>一</sup>頃ホドノ、田カ、ハタケノウネガ、吾カシンダイ  
 ノ、ブゲンナリ、一<sup>一</sup>一<sup>一</sup>二<sup>二</sup>举<sup>テ</sup>二<sup>二</sup>四方之内<sup>ヲ</sup>一<sup>一</sup>一<sup>一</sup>総<sup>一</sup>計<sup>一</sup>二<sup>二</sup>其<sup>一</sup>数<sup>一</sup>一<sup>一</sup>、  
 四方、ヒキマワイタ、ソノウチノ、総<sup>一</sup>カスヲカスエテ、シル

心ソ、都合、イカホト、カスエテ、シルフソ、<sup>ハ</sup>雷封、  
<sup>フルウ</sup>雷震ニ百里ニ故<sup>ニ</sup>令<sup>ニ</sup>称<sup>ニ</sup>ニ<sup>ト</sup>、<sup>レイラス</sup>雷ノ声ハ、百里キコユルソ、  
<sup>フルウ</sup>震トハ、<sup>ナル</sup>鳴心ソ、サテ、一<sup>ニ</sup>県ヲ、下<sup>ニ</sup>知スル令<sup>ニ</sup>ヲハ、一<sup>ニ</sup>ト  
 云ソ、県ハ、百里ホドノ、分量カ、雷同ハ、人カソノ云フニ、  
 同<sup>ニ</sup>心スルヲ云ソ、同シヤウナヲ、云タソ、**六帖**ノ書ニアリ、  
<sup>ハ</sup>東封、王元請<sup>フ</sup>一<sup>ニ</sup>泥<sup>ニ</sup>丸<sup>ヲ以テニ</sup>為<sup>ニ</sup>大王<sup>ノ</sup>一<sup>ニ</sup>函谷関<sup>ヲ</sup>西漢ノ  
 末、西州將軍隗囂ガ下タノ大將王元カ云タ語ナリ、手<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ギ  
 リノ泥<sup>ニ</sup>土ヲ以テ、大王ノ為ニ、東ヲモテ、函<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ノ、セツ所ノ  
 関ヲ、<sup>一ニウ</sup>「ヌリフサガウト、勢ニ云タ心ソ、大王ハ、隗デア  
 ラウソ、ソレガ、下<sup>シタ</sup>ノ王<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ソ、隗ハ、ヲウ西ノ將軍テ、イタ  
 ホトニ、東ヲ、テキニメ、函<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ヨリ、西エハ、入レマイト云  
 心ソ、願<sup>ハラン</sup>上<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>書<sup>ヲ</sup>ト、**陳后主**陳ノ後、<sup>(衍カ)</sup>主ノ語ナリ、東<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>  
 ハ、封<sup>ニ</sup>禪ト云フアリ、天子ノ位ニ、ツカシマシテ<sup>三</sup>、一<sup>ニ</sup>代<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>  
 度アルマツリアリ、封ト、禪トノ、ニナリ、封ハ、天ヲマツ  
 リ、禪ハ地ヲ祭ソ、封禪ノ時ハ、禪ハ、仄ソ、東<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ト云ハ、

東方ノ泰山エ、ノホツテ、マツラル、マツリヲ封ト云ソ、  
 コハハ、封ノフハカリ云タソ、封ト云エハ、禪ノマツリモ、  
 一度ニ、ナウテ、カナハヌソ、禪モ、アル心ソ、封禪ノ書ト  
 云アリ、上代カラ、<sup>一十二オ</sup>「マツラレタヲ記録シタ書ナリ、メ  
 デタウ、東<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ノ書ヲ、進上マウサウトノ、ネカイナリ、后主  
 ノ、吾ヨリウエノ王ニ、ナラレウズ人ニ、イワレタフカソ、  
 コノヤウハ、シレヌソ、<sup>ケン</sup>乾封、漢公孫卿曰<sup>カ</sup>黄帝一<sup>ニ</sup>三年  
 ノ詔曰<sup>チメ</sup>天<sup>ヒテリスヲモウニ</sup>旱<sup>センヤ</sup>意<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>平、公孫ハ、黄帝ノ姓ナリ、後ニ、ソ  
 ノ子孫カ、氏ニシタソ、公孫氏ノ卿カ、黄帝ノ時ノフヲ云タ  
 トアリ、黄帝ノ時分ニ、年号ハナイガ、乾<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>三年ト云ハ、心  
 エヌソ、ソノ年ノ、三年メニ、大<sup>ニ</sup>旱アリ、サルホドニ、黄帝  
 ノ詔ヲ、下メ、大ヒテリチャニ、ヲモイ思案スルニ、東太山  
 ニ、ノホツテ<sup>一十二ウ</sup>、封禪ノ祭<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>礼ヲナサウカト思ウワ、イカ  
 ントイエタソ、<sup>マ</sup>堂<sup>ニ</sup>封、唐<sup>ノ</sup>詔中書門<sup>ニ</sup>下<sup>ニ</sup>共食<sup>ニ</sup>実戸<sup>ヲ</sup>三百<sup>一</sup>、  
 唐ノ詔ノ、サタメニ、中書ノ、シタイ<sup>(マ)</sup>众カ、トモニ共<sup>ヅウ</sup>メ、

「提封、亦謂提舉四封之内、總計其數也」に従い校訂を施した。

<sup>3</sup> 国会本には「ツカシマシマシテ」、叡山本には「ツカシマシマシテ」とある。

<sup>4</sup> 国会本・叡山本ともに「東太山ヲ、ホツテ」とする。「二ノ」の二字が合体して「ヲ」になったという過程が推される。

ナン百戸ト、ソラ名ハ多ケレトモ、実ニハ、三百戸ソ、中書堂トアル、中書ノ官ノイル所ヲ堂ト云ソ、中書ノ官カ、僧ノ公一文ノ帖ヲカキタスソ、ソレヲ、堂帖ト云ソ、堂一モ、中書ノシタノ封セラルハ、ブゲン、三百戸ソ、堂一ハ、此カラハシマツタソ、一ー自<sup>リ</sup>レ此始、**源<sup>5</sup>乾曜**書名ソ、演ハ、書ヲ、マエニアツタ書ヲ、注シノフル心ソ、乾ハ、天ナリ、天文七曜ナトノコヲ、シルイタヲ云ソ、

「<sup>113オ</sup>囊封、恐<sup>テ</sup>ニ左<sup>ノモラサシ</sup>右漏<sup>コトラ</sup>一<sup>テ</sup>言<sup>セシム</sup>始<sup>ヲ</sup>詔<sup>一</sup>」<sup>奏事</sup>、宰相

ヤ、ソノ外、中書ナト事ヲ、奏メ、札ヲ上ヲ、ソバアタリノ者ガ、ミテ、モレキコエカ、セウズヲ、ヲソレテ、ハシメテ、下<sup>ク</sup>知ヲ、御下<sup>ク</sup>シアリテ、書ヲフクロニ入テ、カタウ、ウエヲフウシサセラレタソ、堂<sup>(兼カ)</sup>一ト云ソ、<sup>フ</sup>副封、魏相<sup>コツテサク</sup>請去<sup>ニ</sup>一<sup>ヲ</sup>、**本<sup>ヲ</sup>魏**一ハ前漢ノ宣帝ノ地節年中ニ、宰相ニナツタソ、アマタノ職ヲ、カネテ、モツタソ、帝ノ、キニアウタソ、奏一問マウス<sup>タ</sup>書メ上<sup>タ</sup>ソ、漢ノ時ニ、奏書ヲ、別ニ、一一本カイ

テ、尚書ノ官ニ、ヤルソ、ソレカ、副本ソ、副ハ、ソユル心ト、タスクル心アリ、<sup>フウ</sup>副寺ヤ、<sup>フ</sup>副使<sup>ス</sup>「ナト、云ハ、正ヲタ

スクルト、ソユルノ心アリ、<sup>フク</sup>副トハ、ヨミサウモナイソ、宥

ノ匀ニアリ、フウト、ヒカウス<sup>フク</sup>ソソ、書ドモ、一一本ウツスヲ、

<sup>フク</sup>副本ト云カ、フクトハ、ヨムマイカ、フクノ音ノ時ハ、入声

ノ屋ニ、入タソ、ソレハ、サク心ワカツ心ソ、ソエタスクル

心ヲ、注セヌソ、日本ニ、平家ノ<sup>シケモリ</sup>重盛ノ子、六代ヲ副将ト云

タソ、將軍ニ、ソユル心ソ、<sup>(濁点卷)</sup>フテ、アラウス<sup>ウ</sup>ソソ、<sup>ウ</sup>フクハ、

アヤマツテ、上古、文字<sup>ブ</sup>サタデ云タ<sup>サク</sup>コカソ、副<sup>サク</sup>封スル

コヲ、キラウテ、上<sup>ウ</sup>エ、マウシテ、ヤメタソ、サテ、去<sup>サク</sup>ト云

タソ、漢<sup>ニ</sup>上書<sup>スルノ</sup>者一本<sup>アタウ</sup>与<sup>ニ</sup>尚書<sup>ニ</sup>一、漢ノ時、書ヲ天子ニ、上<sup>タ</sup>テ、

モノヲマウス者、<sup>サタマツ</sup>定<sup>114オ</sup>テ、「一本カイテ、尚書ノ官ニ、ヤ

ツタソ、此ヲ魏一カヤメタソ、

<sup>チヨクニ</sup>斜封、武后<sup>ノニ</sup>時<sup>ス</sup>墨<sup>ス</sup>勅<sup>ス</sup>一、詳<sup>レ</sup>勅、唐ノ武后ハ、則天皇

后ナリ、武ガ氏ナルホドニ、武后ト云ソ、ソノ時ニ、詔書ナド、

<sup>5</sup> 直後の抄文の内容から、惟高妙安は「源乾曜」を「演乾曜」に誤っていたと推されるが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも正しく「源」とある。

ナシ下ル<sup>ク</sup>、ニ、墨<sup>ク</sup>デ、クロウ、カイト、ナ、メニスヂカイニ、  
封セラレタソ、職<sup>ク</sup>ノ勅<sup>ク</sup>ノ下ニ墨勅<sup>ク</sup>ノアリ、武后トハ、ナ  
イソ、中宗ノ時トアリ、童<sup>（童か）</sup>后ナドノマツリヲ、用イ行タ  
ソ、魚<sup>（魚か）</sup>肉ヲ、屠<sup>（屠か）</sup>テ、ウリカイ、アキナイスル、イヤシイ者  
ヲ、官ヲサツケ、詔書ヲ、下サレテ、物ヲトラシタホトニ、  
イヤシイ者ニ、ナシ下ル<sup>ク</sup>、書チャホドニ、スミテ、カキ、  
上ヲ、本<sup>（本か）</sup>々ニハ、フウ<sup>（フウか）</sup>「セイテ、ソハニ、ナノメニ、フウ  
ジサシタソ、ワルウコソ云ウツラウソ、コ、ニハ、斜封ノ墨  
勅ハ、武后則ノセラレタトアリ、仄職<sup>（能か）</sup>聴<sup>（能か）</sup>ノ勅ノ下ニハ、中  
宗<sup>（中か）</sup>時、韋后等、用<sup>（用か）</sup>事<sup>（事か）</sup>、唐書ノ七ノ列伝ノ后妃伝ノ所ニハ、韋  
庶人ト題メ、后トハ、シルサヌソ、イヤシカツタ者ソ、中宗  
ノ庶人韋氏ト、ノセタソ、墨勅ヲ、多、アタエラレタコアリ、  
口<sup>（口か）</sup>「伝<sup>（伝か）</sup>諫議送書信白絹<sup>（白絹か）</sup>——三道印、**盧茶歌**盧全ガ、茶ノ歌  
ノ中ニ、此一<sup>（一か）</sup>聯アリ、斜封ノツレヲ、引タコソ、全<sup>（全か）</sup>カ方エ、  
諫議大夫ノ官ノ者ガ、音信ブミヲ送タヲ、口ニ伝<sup>（伝か）</sup>語シタソ、  
ソノ送ル書ハ、<sup>（一五）</sup>「白イキヌニカイト、朱カナンゾデ、印ヲ  
三<sup>（三か）</sup>スヂカイニツイタソ、

へ素封、无<sup>（无か）</sup>ニ<sup>（ニか）</sup>爵<sup>（爵か）</sup>一<sup>（一か）</sup>邑<sup>（邑か）</sup>之入<sup>（之入か）</sup>而<sup>（而か）</sup>樂<sup>（樂か）</sup>与<sup>（与か）</sup>之<sup>（之か）</sup>比<sup>（比か）</sup>者<sup>（者か）</sup>命<sup>（命か）</sup>曰<sup>（曰か）</sup>ニ<sup>（ニか）</sup>一<sup>（一か）</sup>、**貨**  
**殖**素ハ、ムナシイトヨムソ、名ハアツテ、実<sup>（実か）</sup>ナイコソ、爵<sup>（爵か）</sup>邑<sup>（邑か）</sup>  
ハ、爵ハ官<sup>（官か）</sup>ナリ、官位ナリ、爵ハ、量<sup>（量か）</sup>ナリ、ソノ材<sup>（材か）</sup>ノ、**ブ**  
**ン**ザイヲ、ハカツテ、ニヤウタ官ヲ、サツケラル、ソ、ソノ身  
ノ材<sup>（材か）</sup>ニ、アラ<sup>（アラか）</sup>ヌ、スギタ官トモ付ハ、ヲカシイコソ、邑ハ、  
トル所ノ、所領ノ地ノ心ソ、官ニナレハ、ソノ官ノ、ブゲン  
ノ俸<sup>（俸か）</sup>禄ガアルソ、名ハカリ、ナンノ官ト云ヘハ、ソノ官ノ禄  
ハ、ナイソ、トル所ノ地モナイ、地ハ、邑ト云ソ、タ、名ハ  
カリ、ドノ官ト、<sup>（一五）</sup>「<sup>（符か）</sup>国ノ守護ニ、ナツタト云ヘトモ、  
ソノ国ノ物ハ、トラヌソ、年貢ヲ入ト云ソ、名ハカリテ、ソ  
ノ官、ソノブゲンニナツタト思テ、同ヤウニ、タノシムヲ、  
素<sup>（素か）</sup>ト云ナリ、素<sup>（素か）</sup>飡<sup>（飡か）</sup>ト云コアリ、ムダグイトヨムソ、能<sup>（能か）</sup>モ、  
ナウテ、食ヲツイヤスヲ云ソ、ムタト云ハ、イタヅラノ心ソ、  
へ黄封、上尊白酒瀉<sup>（瀉か）</sup>ニ<sup>（ニか）</sup>一<sup>（一か）</sup>、**坡**、上尊ハ、天子ノ、タルヲ云  
ソ、木ヘンヲ略メ、尊ヲカクソ、樽ノ心ソ、上カラタマワル  
ニ、白酒ハ、アリサウモナイソ、白トイヘトモ、スクレタカ、  
アラウソ、コ、ラニ、濁酒ヲ、白酒ト云コテハ、アルマイソ、



黄<sup>116オ</sup>ノ酒ヲ、タルカラウツスヲ、瀉ト云ソ、「黄<sup>116オ</sup>、酒ノ

ヨイニ、色ノ黄ナモ、アルカ、鵝黄トモ云タソ、酒ヲ、タル

ヤ、ツボ、カメニ入テ、ロヲ黄ナ、キヌヤ、紙ナトテ、ツ、

ミ封スルホドニ、云<sup>ト</sup>云<sup>ト</sup>義モアルソ、坡詩ナリ、輦木貴<sup>ト</sup>

ニ<sup>ヲ</sup>酒<sup>ヲ</sup>、輦木ノ木ノ字ハ、ソコネタカ、下ノ字デ、アラウ

カ、輦<sup>レン</sup>下ト云ハ、ミヤコノ<sup>カ</sup>ソ、天子ノ鳳輦ノ、トアル所ソ、

ミヤコニ、黄<sup>116オ</sup>ノ酒ヲ、ホンソウスルソ、コ、ラニ、天<sup>116オ</sup>野、

平<sup>ヲ</sup>野タツトフ心ソ、<sup>ハ</sup>蟻封、アリノ、ホリ穿タ、フルイ穴

ナドカ、セバイ心ソ、折<sup>ス</sup>旋<sup>ニ</sup>古<sup>ニ</sup>文<sup>ニ</sup>折<sup>ハ</sup>ハ、フリマカリ、

ヒキマワシ、ヒキモドス<sup>タシムチウツ</sup>ソ、晋王湛策<sup>ニ</sup>馬<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>回<sup>メ</sup>策<sup>ヲ</sup>

如<sup>シ</sup>榮<sup>マトウカ</sup>本<sup>116ウ</sup>晋書ノ列伝ノ「四十五ニアリ、コワ馬ニノツタ

ソ、馬ニ得タソ、蟻<sup>116ウ</sup>ノ中ニ、馬ニノツテ、ムチヲ打テ、ア

ユマスル<sup>116ウ</sup>、ムチカ、身ニツイテ、マトウ如ナソ、馬ヲ、セ

ハイ所テ、クルリ<sup>シハ</sup>、ヒキマワイテ、自由ニノツタソ、

<sup>シハ</sup>紫泥<sup>ヲ</sup>封、<sup>シハ</sup>璽<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>ニ<sup>ス</sup>之<sup>ヲ</sup>、詳<sup>レ</sup>泥、璽ハ玉ナリ、玉デ、

印ヲホラル<sup>シハ</sup>、ソ、玉ノ印六アルソ、書ノフウジメニ、印ヲツ

カル<sup>シハ</sup>、ソ、紫色ノ泥ノアル所アリ、ソコノ泥ヲ、ヌツテ、ツ

カル<sup>シハ</sup>、ソ、泥ノ所ニアリ、衛青張騫受<sup>ケン</sup>金<sup>ニ</sup>泥之宝<sup>ヲ</sup>封<sup>ニ</sup>、漢ノ

時ノ青ヤ騫ハ天子カラ、金<sup>キン</sup>泥デ、印ヲツイテ、封シタ書ヲ、

タマワルヲ、受タソ、青ハ軍ノ大<sup>117オ</sup>將ヲ、「シタ名人ソ、功

ヲナイタ感<sup>117オ</sup>状ナド、騫ハ天竺ナドニ使ヲシタソ、ソレヤウナ

時ニ、泥ノ璽書ヲ、タマワルソ、<sup>ハ</sup>比<sup>ノ</sup>屋<sup>ノ</sup>封、唐虞之世<sup>ヨ</sup>一

可<sup>シ</sup>レ<sup>シ</sup>王<sup>シ</sup>莽<sup>シ</sup>伝<sup>シ</sup>比<sup>シ</sup>屋<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>ノ<sup>シ</sup>、前ニアリ、唐ハ堯ナリ虞ハ舜ナ

リ、ソノ明君ノ世ノ民ハ、一々侯ニ封シ、官ニモアケツベ

ソ、

<sup>ハ</sup>酒泉<sup>ノ</sup>封、漢郭弘好<sup>コノム</sup>飲<sup>ニ</sup>日<sup>ニ</sup>得<sup>ニ</sup>封<sup>ニ</sup>、<sup>セラル</sup>一<sup>ヲ</sup>郡<sup>ニ</sup>二<sup>ニ</sup>実<sup>ニ</sup>出<sup>ニ</sup>望<sup>ニ</sup>外<sup>ニ</sup>

帝<sup>テ</sup>笑<sup>ス</sup>一<sup>ニ</sup>郡<sup>ニ</sup>王<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>郭<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ハ、酒ノミナリ、ネカイヲ云タ

ソ、西ノ国ニ、酒泉ト云郡アリ、名カ、酒ノワク泉ノ如ナト

云ホトニ、ソノ郡エ、万一封セラレテ、ソコノ守護ニナラハ、

マコトニ、意<sup>117ウ</sup>外望<sup>ニ</sup>外<sup>ニ</sup>ニ、デタ<sup>117ウ</sup>テ、アラウ<sup>117ウ</sup>「ト云タヲ、

帝ノキイテ、酒泉ノ守護ニナサレタソ、<sup>ハ</sup>大夫<sup>ノ</sup>封<sup>ニ</sup>秦<sup>ノ</sup>時<sup>ニ</sup>封<sup>メ</sup>

レ松<sup>ヲナス</sup>為<sup>ニ</sup>一<sup>ト</sup>、詳<sup>レ</sup>松、前ノ松ノ所ニ云タソ、<sup>ハ</sup>穎<sup>ノ</sup>谷<sup>ノ</sup>封、舍<sup>ヲイテ</sup>

レ肉<sup>ヲフト</sup>懷<sup>コニメ</sup>一<sup>ル</sup>、<sup>ハ</sup>歸<sup>ル</sup>一<sup>ル</sup>前<sup>ニ</sup>ニアリ、穎考叔ガナリ、純孝

ナリトホメラレタソ、左伝ノ一ノ隱公ノ伝ニアルソ、魯公ノ

前デ、食ヲタマウタニ、ウマイ肉ヲ、クワイテ、ツヽンデ、  
フトコロニメ帰タソ、母ニクワセウトテソ、君ノ母ト中ヲタ  
カワレタニ、穎封人ガ、ハカリコトテ、中ヲナヲイテ、母ト、  
ゲンザウセラレタソ、事ガ、ナガイソ、穎谷ノ、サカイメヲ、  
封ト云ソ、ソコヲマフル官ヲ、封人ト云ソ、穎谷ノ封人ト云  
心ソ、

「<sup>118オ</sup>馬鬣封、孔子之喪子夏曰吾見<sup>ル</sup>二封之若<sup>ル</sup>堂者<sup>一</sup>矣見<sup>ル</sup>二若<sup>ル</sup>斧<sup>ノ</sup>者<sup>一</sup>矣<sup>ハ</sup>」<sup>6</sup>從<sup>ル</sup>二若<sup>ル</sup>斧<sup>ノ</sup>者<sup>一</sup>焉<sup>ハ</sup>——之謂<sup>ル</sup>也<sup>イハナリ</sup>也<sup>リ</sup>檀弓此ハ孔子ノ  
中陰ノ喪<sup>モ</sup>ニ、ツカヲ、ツク<sup>ノ</sup>ツ、ツカニ、高<sup>ウ</sup>上カヒロウア  
ルモアリ、セハウヒクイモアリ、ソバヲソイテ、セハウスル  
モアルソ、堂ヤ、坊ヤ、斧ハ、<sup>(ツカカ)</sup>ツツカノナリソ、クワシウハ  
シラヌ<sup>ノ</sup>ツ、ソハヲソキトツテ、セハウシ、馬ノタテガミノ  
ナリノヤウナホトニ、馬<sup>ト</sup>ト云ケナソ、不<sup>リ</sup>意<sup>ハ</sup>今<sup>ハ</sup>作<sup>ントハ</sup>二馬<sup>ト</sup>——  
ト、谷力作タソ、<sup>ハ</sup>伝五封、諸乗伝者持<sup>ノ</sup>二尺<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>木<sup>一</sup>——<sup>ハ</sup>伝信

<sup>6</sup> 補った箇所のうち、「見<sup>下</sup>若<sup>レ</sup>覆<sup>ニ</sup>夏屋<sup>一</sup>者<sup>上</sup>矣<sup>一</sup>」については、国会本に補入として見られ、叡山本には見られない。「見<sup>ル</sup>二若<sup>ル</sup>斧<sup>ノ</sup>者<sup>一</sup>矣<sup>一</sup>」については国会本・叡山本ともに見られる。

——、伝ハ、ハヤ馬ナリ、ミヤコカ、ドノ国エナリトモ、フレ  
コアルトキハ、ハヤウチヲ立ソ、<sup>118ウ</sup>一<sup>ハ</sup>里<sup>ハ</sup>二里<sup>ハ</sup>ホトツバニ、<sup>(ツ、カ)</sup>  
タビヤラメ、ソコニ、足ノハヤイ馬ヲタテ、ヲイテ、フレ  
テ、トフル者カ、ノリカエ<sup>ク</sup>メ、下ソ、ソレヲ、乗ト云イ、  
伝ト云イ、置<sup>チ</sup>トモ云ソ、ハヤ馬ニ<sup>ツ</sup>テ下<sup>ク</sup>ル者ハ、一尺バカ  
リノ、五<sup>ハ</sup>所フウシタヲ持ナリ、此カ、天子カラ、ハヤ打ニ  
ツテ、下ルシルシノ心ソ、セキモ、コレテ、ヤウモナウ、ト  
フルソ、御史大夫ノ印ヲ、フウスルケナソ、ワリフノ心ソ、  
乗伝ハ、ミトコロヲ、フウスルソ、乗伝者参封<sup>ヲ</sup>レ之有<sup>ル</sup>二期<sup>ハ</sup>会<sup>ニ</sup>  
者<sup>ハ</sup>累<sup>ハ</sup>封<sup>ヲ</sup>レ之、ナン月、イク日<sup>カ</sup>ニ、ナト、カキリアツテ、行<sup>ハ</sup>  
者<sup>ハ</sup>ハ、カサネテ封ソ、<sup>ツ</sup>両端<sup>ノ</sup>各<sup>ツ</sup>封<sup>スレハ</sup> 凡<sup>メ</sup>四<sup>ハ</sup>封<sup>ハ</sup> 乗置伝者五封<sup>ハ</sup>  
レ之<sup>ヲ</sup>両<sup>ツ</sup>端<sup>ハ</sup>各<sup>ハ</sup>二<sup>ハ</sup>——<sup>ツ119オ</sup>中<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>央<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>也、五トコロ封ソ、輶<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>伝再<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>封<sup>ハ</sup>  
一<sup>ハ</sup>馬<sup>ナリ</sup>一<sup>ハ</sup>封<sup>ハ</sup>、コチニセヌ<sup>ノ</sup>ナリ、コマカニハ、シラヌソ、輶ハ、  
使者ノ、ノル車ナリ、エニメ、カルイソ、此ハ、トヲウ田舎  
ナトエ、下ル者ハ、馬ニノルソ、ミヤコノ中テ、五里六里ノ

アイダ、ノル車也、<sup>ス</sup>駝<sup>ダ</sup>一<sup>一</sup>封、大氏国出<sup>ス</sup>二<sup>二</sup>封<sup>ノ</sup>囊<sup>ヲ</sup>一<sup>一</sup>脊<sup>セナカノ</sup>上<sup>エ</sup>  
 如<sup>ク</sup>二<sup>二</sup>一<sup>一</sup>封<sup>ノ</sup>土<sup>シカリ</sup>然、大氏国ハ、ドチニアルヤラ天竺ノサカイ大<sup>ス</sup>  
 宛<sup>エン</sup>国ノアタリカ、大宛ハ名馬ノ、ヅル国ナリ、橐<sup>タク</sup>ハ、フクロ  
 ナリ、小フクロノ<sup>ロ</sup>ヲ、ユイ、フウシタヲ、セナカノ上<sup>二</sup>ニ、  
 ワイタヤウニ、肉ガ、高アルソ、又土ヲ、<sup>一</sup>マルメテ、ワイ  
 タニモ似タソ、一<sup>一</sup>封土ハ、土ヲ小マルウ、ツクネタヲ、<sup>一</sup>  
 封ト云タソ、<sup>ス</sup>書<sup>一</sup>数百<sup>一</sup>封陳遵治<sup>一</sup>書<sup>一</sup>ロ<sup>一</sup>占<sup>一</sup>一<sup>一</sup>蒙求ニア  
 ルソ、車ノクサビヲ、井エ入テ、客ヲト、メク<sup>タカ</sup>者ソ、古人  
 ノロ<sup>一</sup>占<sup>一</sup>ノ書カ、詩カ、数百封アツメタソ、ロ<sup>一</sup>占<sup>一</sup>ト云ハ、<sup>一</sup>ロ  
 スザミトヨムソ、<sup>一</sup>ロノアソビワサニ作タ詩ヲ、ロ<sup>一</sup>占<sup>一</sup>ト云ソ、  
<sup>ス</sup>華<sup>一</sup>封祝<sup>ス</sup>寿<sup>一</sup>、此ハ<sup>ス</sup>華<sup>一</sup><sup>華山ハ山ノ名、仄ナリ</sup><sup>一</sup>封人ソ、前ニアツタ、穎<sup>一</sup>  
 一<sup>一</sup>ガツレソ、華山ノサカイメノ、封人ナリ、華<sup>一</sup>一<sup>一</sup>カ、堯ヲ、  
 イワウテ、云タ、三多ノ<sup>一</sup>ヲアリ、多男多寿多福ト云タソ、ヲ  
 ノコ、モ多ク、寿命モ多ク、福德モ多ウ、ヲリアレト、祈タ  
 一<sup>一</sup>アルソ、<sup>一</sup>活<sup>一</sup>一<sup>一</sup>戸<sup>一</sup>、前ノ比屋ノ心ソ、戸<sup>一</sup>モ<sup>一</sup><sup>一</sup>屋<sup>一</sup>モ同<sup>一</sup>  
 心ソ、<sup>ス</sup>雲<sup>一</sup>雲ガ、山ヤ桜ヤナドヲ、ヲ、ウタヲ、封スルト

云ソ、<sup>一</sup>年<sup>一</sup>号<sup>一</sup>一<sup>一</sup>元<sup>一</sup>、前漢ノ武帝ノ年号ナリ、<sup>一</sup>人<sup>一</sup>名<sup>一</sup>一<sup>一</sup>張<sup>一</sup>建<sup>一</sup>  
 一<sup>一</sup>燕子楼ハ、排<sup>一</sup>勻<sup>一</sup>ノ張氏ノ所ニアリ、張<sup>一</sup>一<sup>一</sup>カ、ツカウ妓女  
 アリ、ヨウ舞ウソ、<sup>一</sup>盼<sup>一</sup>一<sup>一</sup>タト云タソ、燕子楼ニ、イツモ居  
 タソ、張ガ死メ、ノチ、ドコエモ、イカイテ、燕子一<sup>一</sup>ニイタ  
 ソ、燕子一<sup>一</sup>ノ詩、三百首作タソ、白樂天序ヲ、カイタソ、白  
 モ三百<sup>一</sup><sup>一</sup>作<sup>一</sup>タソ、燕子楼中霜月<sup>一</sup>苦<sup>一</sup>、秋<sup>一</sup>宵<sup>一</sup>只<sup>一</sup>為<sup>一</sup>二<sup>二</sup>一<sup>一</sup>人<sup>一</sup>一<sup>一</sup>長<sup>一</sup>、此  
 楼<sup>一</sup>一<sup>一</sup>中<sup>一</sup>ニ、妓女カ、ヒトリイテ、張カ<sup>一</sup>ヲ、思<sup>一</sup>テ、霜ノ、  
 スサマシイ、月ノサエタニ、モノヲモイメ、苦ムホトニ、<sup>一</sup>  
 秋ノ夜ハ、吾レ一人ノ為ニ、ナカイヨト云心ソ、<sup>一</sup>李<sup>一</sup>正<sup>一</sup>一<sup>一</sup>  
 牡丹詩ニ、国色<sup>一</sup>朝<sup>一</sup>酣<sup>一</sup><sup>ニクシム</sup>一<sup>一</sup>酒<sup>一</sup>、アサバケニ、ヨウタ色ノ如ナ  
 ソ、花ノ色ヲ云タソ、<sup>一</sup>姓<sup>一</sup>氏<sup>一</sup>渤海<sup>一</sup>ニ、此氏アリ、炎帝<sup>一</sup>之後<sup>一</sup>一<sup>一</sup>鉅<sup>一</sup>  
 為<sup>一</sup>二<sup>二</sup>黄<sup>一</sup>帝<sup>一</sup>師<sup>一</sup>、炎帝ハ、神農ナリ火徳ナルユエニ、炎帝ト云ソ、  
 炎ハ火ナリ、ソレヲ封鉅ト云タソ、此カ黄帝ノ師トナツテ、  
 物ヲ、ヲスエタソ、封ヲ、氏ニシタソ、<sup>一</sup>後<sup>一</sup>漢<sup>一</sup>侍中<sup>一</sup>一<sup>一</sup>岷<sup>一</sup>ト云  
 者アリ、侍中ハ官ノ名ナリ、後漢書ニハ、ミエヌソ、<sup>一</sup>一<sup>一</sup>孚<sup>一</sup>  
 字<sup>一</sup>处<sup>一</sup>道<sup>一</sup>外<sup>一</sup>総<sup>一</sup>二<sup>二</sup>機<sup>一</sup>事<sup>一</sup>一<sup>一</sup>内<sup>一</sup>参<sup>一</sup>二<sup>二</sup>密<sup>一</sup>一<sup>一</sup>謀<sup>一</sup>、公界ノ機変ナ<sup>一</sup>ヲ、ヒツ

<sup>7</sup> 国会本・叡山本ともに、この側注部分が<sup>一</sup>活<sup>一</sup>の直後の本行として見られる。

タバネテ、サバイタソ、心ノ中ノ機バタラカシデ、スル」<sup>121オ</sup>

「ソ、内（ヘー）ー、内々デハ、イカニモ、ヲンミツスル大事ノ談合ノ人数ニモマシツテ、ヲト、ノエタソ、キテンノアル者ト、ミエタソ、晋載記晋書ハ、総百三十卷ナリ、末ニ載記アリ、三十卷ナリ、載記ハ秦趙燕ノ前後ノ主ノ伝アリ、ソノ臣下ノ名ハ、ダサヌソ、ソレ／＼ノ国主ノ伝ノ中ニ、臣下ノ<sup>ハ</sup>ヲハ、アラウソ、此ノ封孚カ<sup>ハ</sup>モ、ドノ伝ノ中ニ、アラウソ、カサネテ可<sup>レ</sup>考ナリ<sup>ハ</sup>延伯字仲連三世同<sup>ス</sup>財<sup>ヲル</sup>為<sup>ス</sup>梁郡太守ニ有<sup>リ</sup>高士風<sup>ノ</sup>ヲウチ、ヲヤ、吾マテ、三代、同ヤウニ、カワラス、財宝ヲ以テ、<sup>ハ</sup>モカ、ヌソ、一代、二代ハ、サアルソ、三<sup>121ウ</sup>「代同シヤウナ<sup>ハ</sup>モ、マレナソ」南史晋宋ノ後ニ、南北ノ二朝アリ、ソノ代ノ<sup>ハ</sup>ヲ、シルイタヲ、南史北史ト云ソ、コ、ニハ、南史ニアリトシタカ、南史ニ伝ハ、ミエヌソ、<sup>エンハ</sup>孝琰字士元位<sup>メ</sup>秘書丞<sup>セウニ</sup>風流自<sup>ハ</sup>立威儀間<sup>ナリ</sup>雅<sup>ナリ</sup>北史孝琰ハ秘書丞ノ官位ニナツタソ、天子ノ秘書ヲ、ツカサドル官ソ、尚書ナトノ類ソ、文官ナリ、風流ノ業ヲ以テ、ヲノレト人ニシラレ、立<sup>ツ</sup>身シタソ、威<sup>ハ</sup>、ナリフリ、イヤシウナイソ、間

ハシツカニ、タ、シイ心ソ、閑雅トモアリ、北史ヲミルニ、伝アリ、<sup>（附カ）</sup>サウナガ、ミエヌソ<sup>ハ</sup>軌字<sup>キハ</sup>広度<sup>トツクル</sup>為<sup>ス</sup>ニ<sup>122オ</sup>「務レ

德慎<sup>ヲツハシム</sup>「言遠」<sup>ネイ</sup>倭防<sup>カンノ</sup>「姦」<sup>ニフセク</sup>四戒<sup>ヲ</sup>「一二ハ、德<sup>ツトム</sup>行ノ方

ヲ、ツトメテ行ソ、二ニハ、慎<sup>ヲ</sup>、モノヲ云<sup>ハ</sup>ヲ、ツ、シム

ソ、ワルイ<sup>ハ</sup>ヲハ、カリソメニモ、云ウマイ<sup>ハ</sup>ソ、三ニハ、

遠<sup>ハ</sup>、倭<sup>ネイ</sup>人ニハ、チカツクマイソ、人ワルイネデマガツタ者

ニハ、チカヅクマイソ、イカニモ、トラノイテ、ヨイ人ニハ、

チカツカウス<sup>ハ</sup>ソ、四ニハ、防<sup>ハ</sup>、姦<sup>カン</sup>ハ、カダマシイトヨム

ソ、カンキヨクニ、マコトナイ、ウソバカリテ、コビヘツラ

ウ<sup>ハ</sup>ソ、ソレヤウナ者ヲハ、フセキサケテ、身チカウハ、ヨ

セマイソ、定メテ、此ノ四ノ戒<sup>イマシメ</sup>ノ文ヲカイタソ、子孫ニ、

ノコサウ心ソ、ヨイ<sup>ハ</sup>ドモソ、座右銘<sup>メイ</sup>ト云<sup>ハ</sup>ヲカイテ、座敷

「<sup>122ウ</sup>ソノハニ、ハリツケテ、タチイニミテ、ヲコナイ修スル

ソ、程正叔カ、四箴ノツレン、古文真宝ニアリ、<sup>リン</sup>ハ倫字德

彝識略過<sup>イタリ</sup>人自致<sup>ニミ</sup>二卿<sup>サン</sup>相<sup>ヲ</sup>「唐唐書列伝ノ十六ニアリ、字ヲ

以テ、時ニアラワレテ、知レタソ、封<sup>ハ</sup>ガ、マダワカイ時ニ、

ヲヂノ盧思道ガミテ、云タソ、此兒識略過<sup>ノ</sup>人<sup>ニ</sup>当<sup>アザ</sup>自<sup>ハ</sup>、ト

云タソ、ヲチノ慮<sup>一</sup>カ、封<sup>一</sup>ヲ、此ノ児ト云タソ、<sup>一</sup>向ヲ  
 サナイ時トミエタソ、智恵、心ノハカリ<sup>一</sup>モ、人ニスキタソ、  
 自然卿<sup>一</sup>相ノ位ニ、イタラウト云タソ、ソノノチ、僕射<sup>ボクヤ</sup>ノ官ニ  
 ナツタソ、宰相ニハ、ナラヌソ、<sup>一</sup>敖ハ、冀州人ナリ、<sup>123オ</sup>  
 北東ノ国ナリ、字ハ碩夫唐会昌中除<sup>セキノエニセラル</sup>ニ翰林学士<sup>ニ</sup>作<sup>テ</sup>詔慰<sup>メ</sup>二辺<sup>ヘン</sup>  
 一<sup>ノ</sup>将傷夷者<sup>スルヲ</sup>曰傷居<sup>ハラク</sup>ニ尔体<sup>ニ</sup>痛<sup>イタム</sup>一<sup>ハリ</sup>在<sup>ニ</sup>朕躬<sup>チンカミニ</sup>帝賜<sup>ニ</sup>以<sup>ニ</sup>宮錦<sup>一</sup><sup>8、</sup>  
 会昌ハ唐ノ武宗ノ年号ナリ、仏法ヲ、此会昌年中ニ、滅セラ  
 レタソ、三武ト云タ、ソ、<sup>(前カ)</sup>ノ一ナリ、仏法ヲ、タヤシ、寺  
 ヲヤフリ、カネノ仏像ヲ、クツイテ、俗ノ道具ナドニ、セラ  
 レタソ、大悪王ナリ、封ハ、ソノ時ノ、翰<sup>一</sup>ノ士ナリ、辺塞  
 ノエビスノ、サカイメニ、フセキニヲカレタ大将トモ、弓矢  
 ニ、死ヅ、<sup>(キズツイツスルカ)</sup>キズツスル者多ソ、天子カラ、ナクサメラル、詔  
 書ヲ、天子ニカワリテ、封<sup>一</sup>ガ、イタ、文ノ略ニ、傷居<sup>一</sup>

<sup>123ウ</sup>「キスツキ、ソコナウ<sup>一</sup>ハ、汝<sup>ハ</sup>等<sup>ラ</sup>カ、身ノ体ニアルソ、  
 居<sup>ハ</sup>ヲ、ヲクトモ、ヲルトモ、ヨムソ、ソチラカ、身ニトマ  
 ツテアルソ、痛<sup>一</sup>フビンナト思イ、心ニイタミカナ  
 シム<sup>一</sup>ハ、吾力身ニアルソ、朕ハ、ワレトヨムソ、天子ノワ  
 レヲサシテ、イワシマスニ、一字用ニ、朕ノ字ヲ、モチイル  
<sup>一</sup>ハ、始皇カラソ、ソノ前ハ、我予ナドノ字ナリ、此ノ詔ノ  
 カキヤウガ、天子ノ心ニアウタソ、喜テ、宮<sup>一</sup>ノ、ニシキヲ、  
 タマワツタソ、宮<sup>一</sup>ハ、御服ノ心ソ、コ、ニハ、官錦、排勻  
 ニハ、宮<sup>一</sup>ソ、宮ノ字ガ、ヨイゲナソ、  
 ○葑<sup>ホウ</sup>蔓菁<sup>マンセイ</sup>ナリ、<sup>124オ</sup>詩<sup>トリ</sup>采<sup>ラル</sup>采<sup>ヒラシ</sup>菲<sup>スル</sup>无<sup>一</sup>以<sup>ニ</sup>下<sup>ニ</sup>体<sup>ヲ</sup>一<sup>ニ</sup>葑ハ、蔓ト  
 同ソ、<sup>一</sup>東勻ノ蔓ノ下ニアリ、国ニヨツテ、名ガカワルソ、  
 ヒツキヤウハ、蔓草ナリ、ナノ<sup>一</sup>ソ、蕪菁モ、蔓菁モ、ナナ  
 リ、点<sup>ニ</sup>破蕪菁<sup>メ</sup>黄<sup>ノ</sup>世界<sup>ヲ</sup>一、一株<sup>ノ</sup>香雪小梨花、風雅集ニアリ、ナ

<sup>8</sup> 漢文前半部にある「会昌中除<sup>エニセラル</sup>ニ翰林学士<sup>ニ</sup>」については、『韻府群玉』には「会昌初為翰林学士」とあり、異同が見られるが、『玉塵抄』の引用は『氏族大全』のものと一致する。一方、漢文後半部にある「帝賜<sup>ニス</sup>以<sup>ニ</sup>宮錦<sup>ヲ</sup>」については、『氏族大全』には「上喜賜以宮錦」とあり、異同が見られるが、『玉塵抄』の引用は『韻府群玉』のものと一致する。なお、惟高妙安の見た『韻府群玉』では「宮」が「官」とあったようだが、米沢本では「宮」である。

タネノ花ノ、ハタケ一ハイニ、黄ニ、サイタニ、梨花カ、一本、マツ白ニ、雪ノヤウニ、サイテ、黄ナ、世界ヲ、チャツト、一点ニ、破シタソ、三月ノ末ニ、ナタネノ花カ、サクソ、梨モ、ソノ時サクソ、陳楚ノ南方ノ国ニハ、蔓<sup>(蔓か)</sup>ト、云ソ、齊魯ノ東ノ国ニハ、薨<sup>ゼウ</sup>ト云ソ、草マデソ、関ヨリ、西ニハ、蕪菁ト云ソ、ナノコナリ、趙魏ハ、北ノ国ナリ、ソコニハ、大芥<sup>グイ</sup>ト云ソ、一芥ハ、コ、ニハ、カラシト云ナリ、尔雅ノ書ニハ、須葑<sup>シュセウ</sup>ト云タソ、三字同<sup>124ウ</sup>心ソ、一ノ草ソ、郭璞カ注ニハ、葑ハ、菰<sup>スウ</sup>ノ菜草ソ、菰ハ、ナノコソ、梵網經ノ五辛ノ下タノ注ニ、蔓菁ハ、コ、ノ大<sup>1</sup>根ノコニシタソ、毛詩ノ采葑ノ葑、水辺ノ草ナリ、此ヲトツテ、宗廟ニ供メ祭ソ、下体ト云ハ、草ノ下ノネニ、実カアルソ、葉ヲ、トル時ハ、葉ヲトルソ、シタニ、実カアルト云テ、下ナ、実<sup>ミ</sup>ヲハ、トラヌソ、上<sup>カミ</sup>ヲタツトシテ、逆ニシモヲタツトハヌ心ソ、女房ノ本義ヲ守テ、シタノ、ソハナ者ニ、心ヲウツサヌ心ヲ作タソ、下体ト云ハ、草ノ<sup>125オ</sup>「シモニアル、実ヲ云ソ、シタノ位ノ、ヒクイ、ソハナ者ヲ、下体ト云ソ、又采葛ハ、懼<sup>ヨソリタツ</sup>也、采<sup>ザンラ</sup>ヲ<sup>ヤチタツ</sup>」

葛ノ篇ハ、毛詩ノ四ノマキナリ、国風ノ中ナリ、此詩ハ、周ノ<sup>(根か)</sup>王ノ時ニ、<sup>(政か)</sup>政道正ウ明ニナイソ、臣下大小トナク、ツカイトメ、諸国ノ伯主<sup>ハ</sup>ノ方エイテ、口ニ油ヲヌツテ、王ノヨコ手ヲ、トラル、コヲ云ソ、王ノソハニイテ、ナニモセヌ者ガ、辛勞メ、トラウデタ者ヲ、讒訴スルソ、ソレヲ、ヲソレタ詩ソ、采<sup>1</sup>葛ハ、葛ハカラムシト云ツレソ、クスカツラソ、此ヲトツテ、カタビラニスルソ、此ヲトリニデ、一<sup>125ウ</sup>時モ、君ヲミネハ、ソノマニ、者ガザンズルホトニ、一日モ、三<sup>1</sup>月、四月ノヤウナソ、采<sup>セウラ</sup>蕭、ソツトシタ草ナリ、宗廟ニ、ソナユル草ナリ、此カ、葑ノ心ソ、一日君ヲミネハ、秋三月ヘタテタ心カスルソ、蕭ハ、大事ノ使スル臣ニ、タトエタソ、ナニタルコヲカ云テ、讒セウスヤラ、ヲソロシイソ、采<sup>ヲ</sup>艾、此ハ、エモギナリ、ヤマイワイヤス藥草ナリ、一日モ、君ヲミネハ、三年ヘタテタ如ナソ、艾ハ、急事ノイソキノコニ、使スル臣下ニタトエタソ、ワルイ病ニ、ナルヤウナソ、トラウエ、ユイテ、色<sup>1</sup>タニ云テ、クスシ、ナヲスホトニ、艾ヲ、ツカイスル、臣下ニ、タトエタソ、東坡<sup>デ</sup>積<sup>ホウ</sup>ニ<sup>ニ</sup>草<sup>ス</sup>西湖<sup>ツ</sup>成<sup>ミ</sup>堤、



詳レ堤、東坡ガ、杭州ノ守護ニナツタ「<sup>126オ</sup>時ニ、西湖カ、カ  
レテ、草カ、ハエタホトニ、葑草ヲトツテ、西湖ニ、積テ、  
堤ヲツイテ、柳ヲウエタソ、蘇公堤ト云タソ、○犁<sup>ホウ</sup>、牛ノ名  
ナリ、○碇<sup>ノラツル</sup>、石隕声ナリ、ナル声コウ／＼トコソ、鳴ツラ  
ウソ、○颺、大風ナリ、ミタウモナイ、用ニタ、又字トモ  
ナリ、

○攻<sup>コウ</sup>、事見<sup>一ハ</sup>二東<sup>ノニ</sup>勻<sup>ニ</sup>東<sup>ノニ</sup>勻<sup>ニ</sup>ニネンコロニアツタソ、

○胸<sup>ウラ</sup>六帖<sup>ワカツ</sup>一剖<sup>ヲ</sup>ニ生契<sup>ヲ</sup>一、生ニ似字ナリ、マメツメ、ドノ本

モ、一ナソ、エ心エヌソ、左契ナドノ心カ、左券ト云ソ、  
契券ト云ハ、約束ノワリ符ナリ、券ハ、符ナリ、ワリフハ、

一枚<sup>126ウ</sup>「ノカイタヲ、マン中ヲキリサイテ、一方ノ左ノ方

ヲ、吾カタニ、ヲクソ、左ワ、書ノヲクナリ、干要カ、ヲ

クニカクホドニソ、吾胸中ニ、券ヲ作テ、左ノ方ヲ、ワツ

テ、ヲク心カ、此ハ、推ナリ、胸中ニ、分別シタ心カ、又

一向別ノ一カ、一吞<sup>ノム</sup>ニ雲夢<sup>ヲ</sup>一、此モ、東勻ノ夢ノ所ニアツタ

ソ、

ハ虎胸、麟腹一、馬ヲ云タソ、キリンノ、ハラ、虎ノムネ

ノ、如ナト云心ソ、ホメタソ、《劉班<sup>（病カ）</sup>馬付》ハ、偃<sup>ノ</sup>骨<sup>ノ</sup>胸、

名在<sup>ノル</sup>ニ琳<sup>ニ</sup>札<sup>ハニ</sup>一者胸有<sup>ハニ</sup>ニ一、仙<sup>127オ</sup>「道ヲ、修シ得テ、凡身ヲ、

カエツクメ、上<sup>一</sup>天ノ、天帝ノ、玉ノ札ニ、名ヲカキツケテ、

札ニアル者ハ、ミナ、胸中ニ、偃一ガアルソ、偃一ハ、マガ

ツタ骨カ、又ナニソ、名ヲ付タ、本ノ者カアルカ、**隱居真誥**

道書ノ名ナリ、道書ヲハ、真誥ト云ソ、道ノ方ヲ、真ト云ソ、

誥ハ、ツゲヲシユル心ソ、ハ宿<sup>ツラナル</sup>羅<sup>ニ</sup>胸<sup>ニ</sup>、二十八宿一ニ心一

一、李賀カ、藕ノ詩ナリ、ハスノ実ニ、房カ多ソ、房ハ、穴ナ

リ、多ヲ、二八ノ星ノ房ニ、比シタソ、宿ハ、ツネニハ、シユク

トヨムソ、法花妙音品ニハ、星宿ノ宿ハ、秀ノコエヲ付タソ、

入ノ屋ノ勻ニモ、宿ニモシタソ、真乗ハ<sup>127ウ</sup>「シウト、ヨムガ

ヨイト、アツタソ、ハ芥<sup>カイトイ</sup>蒂<sup>ニ</sup>胸、一<sup>ス</sup>洗<sup>ノ</sup>一<sup>ヲ</sup>一、**坡句**、此

モ、東ノ夢ニアツタソ、楚ノ国ニ、雲沢夢一ノニアリ、ヒロ

イ沢ナリ、ソレヲ、八ツ、九ツ、アワセタヲ、ムネニ吞デモ、

ツユチリホドノ心、広大ナ心ニ、云タソ、胸吞<sup>二</sup>雲夢<sup>一</sup>（二）<sup>一</sup>谷

9 「碇」は『韻府群玉』の小韻代表字（戸封切）であるため、改行・字下げが期待されるが、当該箇所では行われていない。

モ作タソ、多云<sup>128</sup>ソ、芥<sup>1</sup>ハ、魚ノ骨トモ、シタソ、<sup>128</sup>磊  
隗胸、<sup>1</sup>ハ、石ノアツマツタ心ソ、ムネノフサガツテ、ウツ  
ノトシタニ、酒ヲ一盃、ソ、イタレハ、ナニモ、カモ、ヲ  
シ流タ心ソ、酒以<sup>ハ</sup>澆<sup>テツ、ク</sup>ニ胸中之<sup>ノ</sup>一<sup>タルニ</sup>、<sup>128</sup>谷酒ヲハ、澆書トモ云  
タソ、胸中ニ、アル書典ニ、ソ、ク心ソ、<sup>128</sup>活<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>酥<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、ソノ  
ムネハ、<sup>128</sup>「ヨイ者ヲ、クウムネノ心カ、不<sup>レ</sup>詳、<sup>ミツ</sup>氣填<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、  
氣ノムネニフサカツタ心カ、<sup>1</sup>錦繡<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、胸中、文字文章ノ、  
ケツコウナ<sup>1</sup>ハ、アヤ、ニシキ、ヌイモノ、ヲリモノノ、如  
ナカ、アル心ソ、錦繡腸トモシタソ、

○兇<sup>ケウ</sup>、<sup>128</sup>韓拔<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>去<sup>サク</sup>一<sup>ハ</sup>邪<sup>ヤ</sup>一<sup>ハ</sup>、兇ハ、憂ナリ、ウレイ、又ハ、邪惡ナ  
<sup>（ステタ心ツカ）</sup>トドモヲ、ヒキヌイテ、ステタソ、<sup>128</sup>史<sup>ハ</sup>記カ、除<sup>ノ</sup>一<sup>ハ</sup>報<sup>ヲ</sup>二<sup>キ</sup>千古<sup>ニ</sup>  
一<sup>ハ</sup>、ウレイ、ヤマシイ<sup>1</sup>ヲ、ノゾキ、ハラウテ、千古、万古ノ、  
昔ノ君王ノ恩ニ、報シタト云心カ、前後ノ、文ヲミネハ、報  
スル心カ、シレヌソ、君王ニ、報スル心カ、千古トハカリハ、  
ヲボツカナイソ、○蹙<sup>ノ</sup>、人行<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>声ナリ、<sup>トメ128ウ</sup>莊<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>然<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>而喜<sup>フ</sup>、  
人ノクル足ヲトヲ、キイテ、喜タソ、クル者ノ、足ヲトヲ、  
キ、シツテ、喜タカ、タ、客人ヲ、喜テアルカ、莊子ヲミタ

ラハ、ワケカ、シレウソ、晁張<sup>1</sup>然至ト、谷モ作タソ、○  
洶、水勢ナリ、水ノデ、クルナリソ、又ハ、水ノ鳴ナリ、楚  
辞ニ、水声<sup>1</sup>一<sup>ハ</sup>トアリ、タ、水ノ声ガ、本ソ、○凶、<sup>ツモ</sup>書<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>  
極備<sup>キウマリソナワレハアシ、</sup>一<sup>ハ</sup>、此ハ、尚書七ノマキノ、洪範ノ篇九<sup>1</sup>疇ノ<sup>1</sup>ニ  
云タソ、五行三德ナトノ<sup>1</sup>ヲ云タソ、雨ヤ、暘ヤ、燠ヤ、  
寒ヤ、風ヤ、<sup>1</sup>《時ヤ、<sup>129</sup>シノ<sup>1</sup>ソ、此カ、<sup>1</sup>「モキワマリ、ソナワ  
ツテ、スキタレハ、凶ソ、ソレ<sup>1</sup>カ、ソフ時<sup>1</sup>々ヲ、チカエ  
ス、次第メ、ヨイ<sup>129</sup>「コロニ、雨フリ、日テリ、風吹キスレ  
ハ、ヨイソ、コロスクレハ、歳モ、凶年ト云テ、草木不<sup>1</sup>熟ス  
ルソ、<sup>128</sup>孟子<sup>ハ</sup>ニ河内<sup>1</sup>ハ、河内ノ国郡、歳ノ凶惡ナ<sup>1</sup>カ、不<sup>レ</sup>考  
ソ、<sup>128</sup>礼記<sup>ハ</sup>ニ、治<sup>ム</sup>二<sup>ノ</sup>歳<sup>ノ</sup>之<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>豊<sup>ヲ</sup>ニカ、不<sup>レ</sup>考ソ、歳ノ凶歳、豊年ヲ、  
ヨウヨウ、治タ心カ、<sup>1</sup>四凶、舜去<sup>サク</sup>ニ<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>左文<sup>ハ</sup>左伝ノ十ノ  
文公ノ十八年ノ伝ニアリ、舜ノ堯ノ臣下トメ、四門ヲヒライ  
テ、众<sup>1</sup>賢ヲ、賓礼セラレタソ、賢人ヲ、ウヤマイタツトビ、  
マラウトノ如セラレタソ、四凶ノヤカラヲハ、流レタソ、<sup>コン</sup>渾<sup>ハ</sup>

トシキウ タウ コウタウ ザン  
敦窮<sup>10</sup> 奇擣<sup>10</sup> 杭鑿<sup>10</sup> 殮<sup>10</sup> 此四族ヲ、四凶ト云ソ、天下ノワル者

129ウ

ナリ、木ノ「クイノヤウニアリ、大グライハカリ、シツナ

トシタ者ナリ、カウワルイ者ヲ<sup>(テカ)</sup>ハ、ワルイ罪ヲ、ヨウ明ニ、

ハカルニ、死罪ニ行ウズ、ツミデハ、ナイソ、用ニタ、ヌ、

食ツイヤシマテソ、サルホドニ、流サレタソ、

○訥<sup>クダス</sup>、<sup>ノキク</sup>詩降<sup>ヲ</sup>ニ此鞠<sup>ヲ</sup>一、毛詩ノ十二ノマキ、節南山ノ篇ノコト

ハナリ、昊天不<sup>ヒトシカラ</sup>傭<sup>ヲ</sup> 降<sup>ノ</sup>ニ此鞠<sup>ヲ</sup>一、国ノ政ヲツカサドル者カ、

ヒトシク、ト、ノエヌホドニ、此ウツタエノ多イ俗ヲ、天カ

ラ、下レタソ、節南山ノ詩ナリ、大夫ガ、幽王ノ政ヲセイデ、

无<sup>130オ</sup>道ナヲ、ソシツタソ、

○頤<sup>ゲウ</sup>、敬<sup>ウヤマウ</sup>、<sup>130オ</sup>貞<sup>11</sup>ナリ、大ナ心モアリ、<sup>タル</sup>君徳ト、尔雅

ニアリ、大<sup>130オ</sup>「ナ心ソ、又<sup>130オ</sup>一ハ、温貞トモシタソ、人ノ

<sup>10</sup> 原本に忠実に翻刻したが、本来は「擣<sup>タウ</sup>杭鑿<sup>ゴウタウ</sup>殮<sup>テツ</sup>」が期待される。

<sup>11</sup> 国会本・叡山本には「貞<sup>チ</sup>敬<sup>ウヤマウ</sup>ナリ」とあり、『韻府群玉』当該箇所には「見敬」とある。

<sup>12</sup> 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「毛詩」とするが、『韻府群玉』当該項目には「淮南」とある。『淮南子』主術訓に「水濁則魚噞」という用例があり、「噞」ではなく「噞」であるが、当該箇所は「淮南」が正しいと推される。なお、韓嬰『韓詩外伝』巻一には「水濁則魚噞」とある。

<sup>13</sup> 国会本には「江鱣<sup>タチマチ</sup>乍<sup>タチマチ</sup> 陰<sup>タチマチ</sup>一、陰ノ心イカン、鱣モミエヌソ、音モ不<sup>タチマチ</sup>知ソ」とあり、叡山本は国会本と概ね同じだが、「乍<sup>タチマチ</sup>」の後の「陰<sup>タチマチ</sup>」を欠く。『韻府群玉』当該箇所には「江鱣<sup>タチマチ</sup>乍<sup>タチマチ</sup> 陰<sup>タチマチ</sup>一」とあり、東大本が原態を残すものと推される。

<sup>14</sup> 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「鱣<sup>タチマチ</sup>発<sup>タチマチ</sup>」とあるが、杜甫「題張氏隱居二首（其二）」には「霽潭鱣<sup>タチマチ</sup>發<sup>タチマチ</sup> 春草鹿呦呦<sup>タチマチ</sup>」とあり、「鱣<sup>タチマチ</sup>」は「潭<sup>タチマチ</sup>」と「鱣<sup>タチマチ</sup>」が混じた誤りと推される。

ヲン  
温<sup>ヲン</sup>一和ニ、ニツコラトシタナリソ、**人名**<sup>タツトフ</sup>何<sup>タツトフ</sup>一後漢人尚<sup>タツトフ</sup>ニ

氣節<sup>ヲ</sup>一与<sup>ヲ</sup>三李膺<sup>ヲ</sup>一善<sup>ヲ</sup>、一、氣ヲスツクト以テ、節義ヲ、本ニ

シタソ、義者ナリ、漢書ニ伝ハナインソ<sup>タイ</sup>戴<sup>タイ</sup>一、安道ガ次ノ

子、二番メノ子ナリ、二人トモニ、不<sup>ヘ</sup>仕<sup>ヘ</sup>、高<sup>ヘ</sup>一

士ノ風アルソ、○噉<sup>ノ</sup>、魚口上<sup>ノ</sup>見<sup>ユ</sup>、魚ハ、水ヲノムニ、口ヲ

ソラエ、アケテノムソ、**相如伝**<sup>ノベテ</sup>ニ延<sup>クヒテ</sup>一<sup>タリ</sup>「然<sup>タリ</sup>」トヲ

ウミアゲテ、望タナリソ、毛詩<sup>12</sup>ニ、其水濁<sup>ノ</sup>則<sup>ル</sup>魚<sup>ン</sup>一、ニゴ<sup>ス</sup>

ツタ水ヲ、ノムガ、イヤサニ、口ヲア<sup>○</sup>グ<sup>ル</sup>ルカ、**庾肩吾詩**<sup>タリ</sup>

江鱣<sup>タチマチ</sup>乍<sup>タチマチ</sup> 噞<sup>タチマチ</sup>一、鱣ノ音不<sup>13</sup>知ソ<sup>13</sup>、杜詩、鱣<sup>14</sup>發<sup>14</sup>トアリ、**テン**

トヲ<sup>130ウ</sup>一<sup>130ウ</sup>ホエタソ、シンノコエ、**テン**ノコエアリ、○禺<sup>130ウ</sup>

番<sup>(廣)</sup>一今慶<sup>ハグ</sup>州ナリ、番禺<sup>ハグ</sup>ト漢書テ、景徐ノツヨミアリ、コ、

ニ、入タホドニ、ゲウトヨマウソ、番君<sup>セイ</sup>吳芮<sup>セイ</sup>ハ、バクノ者ナ

リ、番禺ハ、漢書デバグトヨメタソ、此句ニ、入タホトニ、  
禺、ゲウトヨマウソ、

○邕州名ナリ **人名** イウ、蔡一、漢人工ナリ二篆法一、**テ**ン字ヲ、ヨ

ウカイタソ、虎賁士貞類レ一、詳レ飲、孔融一邕ト中ヨシナ  
リ、邕力死テノチ、一士貞力、邕ニヨウ似タソ、孔カ

ツネニ、虎一ト酒ヲノウタソ、ソコデ、孔一カ云タ<sup>ツカ</sup>ヲ、

老成一人 131オ「ナシトハイヘトモ、**尚典**刑アリト云タソ、ソノ

ナリカ似ト云心ソ、虎賁ハ、武官ニアルガ、コノハ、人ノ

名カソ、不レ考ソ、**李一**、**鬻** ヒライテ(ヒサイテカ) **文獲** ヲエタリ **財** ヲ、**本伝** **漢書**

ニ伝アラウソ、可レ考ナリ、文ヲカイテ、礼トモトツテ、財ヲ

得<sup>リ</sup>ツカ、**何一**、杜詩ニ、有<sup>リ</sup>下憑 ニ一 **覓** モトムル **中** **櫓** ノ一ツ **木** **裁** 上、杜

カ何一ヲ、タノンデ、櫓ノタネヲ、コイモトメタト云<sup>ツ</sup>アリ、

蜀ニ、此木多ソ、十年スレハ、大木ニナルト云ソ、コノニハ、

ハリノ木ト云ソ、

○噓、声也、人ノ声テソアルラウ、亦作<sup>ト</sup>雍ソ、毛詩ニ、肅一

雍和一鳴、雍ハ、ヤワラクトヨムソ、**詩** **離** ヨウ **一** **々** **鳴** トメク **一** **厂**、ヤワラ  
キ鳴ク<sup>131ウ</sup>ソ、

「**雍**、塞也、フサカル心ソ、**灘**、水名ナリ

○饗、**熟食** タルナリ、ナニトヨムヤラ、**孟子**ニ、一食而治、**ト**

云ハ、ナニトアル心ソ、食ヲト、ノエテ、飯ヲミ<sup>ニカ</sup>テ、ウム

ホトノアイタニ、ヲサマツタ心カ、ウマ<sup>ハツカサトル</sup>く<sup>ハツカサトル</sup>ト、モノヲ食テ、

ハタラク心カ、**外饗**、**内一掌** ハツカサトル **三王** ヒ及世<sup>ノ</sup>子后膳羞<sup>ヲ</sup>、**一**

ハ、**シ**コ、ニ、内膳大夫ナト、云心ソ、饗ハ、膳ノ心ソ、天子、

太子、后ノ、御膳ヲ、ト、ノユルソ、外一掌<sup>ル</sup>ニ祭<sup>15</sup>ター<sup>ヒ</sup>祀<sup>ヒ</sup>及

賓客<sup>ノ</sup>飡<sup>ヲ</sup>一、上ノハ、内ノ心、宗廟ノ祭ノ膳、及ヨソカラノ

賓客ノ膳ヲ、ト、ノユルソ、此ハ、外一ナリ、ソトノ<sup>ツ</sup>ソ、

**礼秋官** **礼**ハ、不レ考ソ、

「**饒饗**、**一**未<sup>タ</sup>就<sup>ナラ</sup>、**昭廿五** **一**熟食也、博雅ノ書ニハ、

人ノ餘ヲ饒ト云ソ、ワケノ<sup>ツ</sup>ソ、礼記ノ外饗ノ饒一ト云ハ、

ワケノ<sup>ツ</sup>テハナイツ、左伝ヲ考ニ、昭廿五ニハ、ミエヌソ、

<sup>15</sup>『韻府群玉』にも「祭祭祀」とあるが、『周礼』卷一・天官上には「外饗掌外祭祀之割烹、共其脯脩、……凡賓客之飡饗饗食之事、亦如之。」とあ  
る。

タ、シ、ナマ考ニシタカ、<sup>ツラス</sup>戸<sup>リ</sup>饗<sup>ノ</sup>、有<sup>一</sup>二母<sup>一</sup>之<sup>一</sup>レ<sup>ヲ</sup>、**詩析**

**父**<sup>キ</sup>祈<sup>ホ</sup>父ノ篇ハ、毛詩ノ十一ノマキニアリ、<sup>一</sup>子<sup>一</sup>勞<sup>一</sup>役<sup>一</sup>母<sup>一</sup>主<sup>一</sup>

ニ<sup>一</sup>事<sup>一</sup>、吾ガ子ガ、陳<sup>（陣）</sup>エ立テ、アト二人モナイホトニ、陳<sup>（陣）</sup>

テノ、クイ者、兵糧ヲ、ツラネ、色々ノ物ヲ、ツラネ、ト、

ノエテ、《母カ》ヤル<sup>一</sup>ツソ、<sup>一</sup>勞<sup>一</sup>役<sup>一</sup>ハ、トヲウ、陣エ立テ、辛

勞スルソ、母カ、アトニ、人モナイホトニ、サキノ陣テノ、

クイ者ヲ、ツラネ、ト、ノユルソ、祈父<sup>132ウ</sup>「ノ詩ハ、周ノ宣

王ヲ、ソシツタソ、人ヲ、モチイラル、<sup>一</sup>ワルイソ、祈父

ハ、官ノ名ナリ、<sup>シバ</sup>司馬ノ職ナリ、兵軍ノ官ナリ、軍ハ、馬ガ

干要ナルホドニ、<sup>キウバツ</sup>司馬ハ軍ノ<sup>一</sup>ナリ、祈父ハ、六軍ヲ、ツカ

サトルソ、軍ニ、九伐<sup>一</sup>ト云法カアルソ、昔ハ、祈ト、圻ト、

畿ト、<sup>（朱）</sup>「<sup>一</sup>ツニ、用タソ、祈ハ、畿ノ心ソ、王<sup>一</sup>畿<sup>一</sup>封<sup>一</sup>内<sup>一</sup>ノ兵甲<sup>カウ</sup>

<sup>（側注：甲ハヨロイン）</sup>「<sup>一</sup>ヲ」、<sup>（朱）</sup>シン<sup>一</sup>ダイスル官ソ、王、畿内ヨリ、

ヨソエハ、ハタラクマイ<sup>一</sup>ツソ、今宣王ノ人ヲ、ワルウ、用テ、

トヲウ千里万里ノ外エ、祈父ヲツカワル、ソ、祈父ノ官ニ、

イル者ハ、王ノ爪<sup>ツメ</sup>牙ナリ、人ノ身ニハ、爪<sup>ツメ</sup>牙干要ソ、ソレガ、

身ヲ、ハナレテ、トヲ<sup>133オ</sup>「ウ、陣エ、タツソ、ソレヲ、ソシ

ツタソ、<sup>タスク</sup>「<sup>一</sup>佐<sup>一</sup>饗<sup>一</sup>、<sup>一</sup>レ<sup>一</sup>得<sup>一</sup>嘗<sup>一</sup>、<sup>一</sup>闘<sup>一</sup>得<sup>一</sup>傷<sup>一</sup>」<sup>16、</sup>饗ノ、

クイモノヲ、シト、ノユルナリ、トモ<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>ニ、タスケテ、テ

ツダイメ、クイモノヲ、キツ、モツ、スレハ、スウテミ

ツ、クウテミツ、スルホドニ、<sup>ナム</sup>嘗ル<sup>一</sup>ガ、ナウテハ、カナワ

ヌソ、<sup>一</sup>佐<sup>一</sup>闘<sup>一</sup>ハ、ケンクワコウロンヲ、トリサエ、合<sup>一</sup>力<sup>一</sup>ナド

スレハ、必テヲライ、ワルウスレハ、死ル<sup>一</sup>アルソ、此ハ、

タトエソ、善事ヲ、スルモノヲ、タスケ、助成スレハ、善イ

コニ、アツカル<sup>一</sup>アルソ、ソレヲハ、タスケヨソ、悪ヲ佐ク

レハ、悪ヲロサウ<sup>一</sup>アルソ、ソレヲハ、ステ、助ケ、サヤ

ヲモツ<sup>一</sup>ナカレト云心ソ、**王子晋詞**<sup>17</sup>ニアリトシタソ、王子

「<sup>133ウ</sup>晋ハ、鶴ニノツテ、仙ニナツタ人カ、灵王ヤラノ王子ナ

<sup>16</sup> 国会本は「<sup>一</sup>佐<sup>一</sup>饗<sup>一</sup>、<sup>一</sup>レ<sup>一</sup>得<sup>一</sup>嘗<sup>一</sup>、<sup>一</sup>闘<sup>一</sup>得<sup>一</sup>傷<sup>一</sup>ハ、」<sup>（叡山本も大同）</sup>とするが、『韻府群玉』には「佐饗、<sup>一</sup>レ<sup>一</sup>得<sup>一</sup>嘗<sup>一</sup>、<sup>一</sup>闘<sup>一</sup>得<sup>一</sup>傷<sup>一</sup>」とあり、東大本が原態を残すか。ただし、「饗ヲ佐ケテハ嘗ムルコトヲ得、闘ヲ佐ケテハ傷ヲ得」と訓むのであれば、東大本の訓点にも疑問が残る。

<sup>17</sup> 『韻府群玉』当該項目には「詳闕」とあり、去声二十六宥・闕「佐闕」には、「佐饗得嘗、<sup>一</sup>レ<sup>一</sup>得<sup>一</sup>傷。此言為善則預、為惡則去。王子晋論」とある。なお、『韻府群玉』の直接の典拠は、『顔氏家訓』省事篇の「王子晋云、佐饗得嘗、佐闘得傷。此言為善則預、為惡則去、不欲黨人非義之事也」（出典は『国語』周語下「佐饗者嘗焉、佐闘者傷焉」と推される。

リ、

○雍、和也、ヤワラクトヨムソ、亦作<sup>レ</sup>離<sup>ト</sup>、又辟<sup>ニ</sup>離<sup>ニ</sup>經史多作<sup>ニ</sup>

雍字<sup>ノ</sup>今依<sup>ハ</sup>出<sup>ニ</sup>處<sup>ス</sup>附<sup>ニ</sup>于此<sup>コ、ニ</sup>、雍ハ、又離<sup>ニ</sup>モカイタソ、又辟

一ヲ、離ノ字ニ、カイタソ、五經ヤ史記ニ、離ヲ、雍ノ字ニ、

カイタソ、今ハ、ソノ出<sup>ニ</sup>處<sup>ス</sup>ニ、ヨツテ、コ、ノ雍ノ所ニダイ

タソ、<sup>レ</sup>時<sup>ニ</sup>雍<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>變<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、尚書ノ一ノ堯典ノコトバ

ナリ、天下ノ庶民ガ、堯ノ上<sup>ニ</sup>ノ德化<sup>ニ</sup>ニ、ヨウ変<sup>シ</sup>シカワリテ、

風俗ガ、ミナ、ヤワライタソ、<sup>レ</sup>辟<sup>ニ</sup>雍<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>樂<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、毛

詩ニアリ、辟<sup>一</sup>ハ、廟堂ノ類ナリ、天子ノ、コ、デ、宗廟ヲ、

マツリ、酒ヲ<sup>一</sup>ノウテ、喜ヒ樂<sup>タ</sup>シマシムソ、辟ハ、壁ノ心

ソ、水カ三方メクルソ、南ノ面ハ、水ハメクラヌソ、<sup>レ</sup>三

雍ハ、辟雍明堂<sup>ニ</sup>臺ナリ、此ノ三所テ、色<sup>一</sup>々ノ、威儀アル

ソ、<sup>レ</sup>西雍<sup>一</sup>、于<sup>ニ</sup>彼<sup>一</sup>、毛詩ノ十九ノ振鷺ノ篇ノコト

バナリ、此詩ハ、夏殷ノ二王ノ子孫ノアルガ、キテ、周ノ宗

廟ノ祭ヲ、タスケタ詩ソ、振<sup>一</sup>鷺<sup>ニ</sup>于<sup>ニ</sup>飛<sup>ニ</sup>于<sup>ニ</sup>彼<sup>ニ</sup>西<sup>ニ</sup>離<sup>一</sup>、振ハ、

ムラカル心ソ、鷺ハ、祭ヲタスケテ、来タ、君ノ徳ノイサギ

ヨイヲ云タソ、離ハ、沢ナリ、堂ニ水カアルヲ、祭ル人ヲ鷺

ニタトエタソ、于<sup>ニ</sup>彼<sup>一</sup>、一<sup>ニ</sup>ト、ナラウタガ、点本ニ、于<sup>ニ</sup>彼

一<sup>ニ</sup>トアリ、上句ニ、于<sup>ニ</sup>飛<sup>ニ</sup>トアルホドニ、下ノ<sup>一</sup>于ハ、

于ニト、ヨムカ、ヨサウナソ、<sup>レ</sup>肅<sup>ニ</sup>離<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>和鳴ハ、詩ノ

**有聲**ノコトバナリ、毛詩ノ十九ノマキニアリ、有聲<sup>イウコ</sup>ノ詩ハ、

初テ、樂<sup>ガク</sup>ヲ作<sup>ツ</sup>テ、太祖ノ廟デ、諸ノ樂ヲ、合セテ、奏スルソ、

王者ハ、天下ヲ、ヲサムルヲ、定テ、礼ヲツクリ、功成テ、

樂ヲナサル、ソ、周ノ宗廟ノ庭ニテ、奏シ、先祖ノ功德<sup>ヲ</sup>ソ、

コトバニツクリ、ホメテ、サテ、樂<sup>ニ</sup>入<sup>レ</sup>テ、ウタウソ、有<sup>リ</sup>

聲<sup>コ</sup>、樂ヲスル師ノソ、目ガシイタ者ナリ、日本ノ座頭ノ平

家ヲ話ル如ナソ、業<sup>ゲウ</sup>ヂヤ、虞<sup>キヨ</sup>ヂヤ、牙<sup>ガ</sup>ヂヤ、羽<sup>ウ</sup>ヂヤト云者ヲ、

木ヲタテ、ソレニ、カケテ、タテニシタリ、ヨコニシツメ、

応<sup>オウ</sup>チヤ、田<sup>テン</sup>チヤ、鼓<sup>コ</sup>聲<sup>一</sup>、祝<sup>イハ</sup>ト云木ナリ、祝ノ心ナリ、祝ハ、

始ル心ソ、樂器ナリ、漆桶ノ如トアリ、ソレヲ、ウツテ声ヲ

<sup>18</sup> 原本、および国会本・叡山本は、いずれも「雍」とするが、『韻府群玉』当該箇所は「離」とする。抄文にあるとおり、「雍」と「離」とは通用するため、校訂は施さない。なお、次の見出しの「肅離」について、原本、および国会本・叡山本は、いずれも「離」とする。



ナスソ、圉ト云モアリ、圉ハ垂心ソ、物ヲカケテサグルソ、  
 諸ノ楽ノ、ダウグヲ、ソロエナラベテ、楽ヲ奏タソ、肅シユク一ヨウ離  
 和ス一鳴、先祖是聴コレヲクトアリ、楽ノ音ノ、ヤワラキ、ツ、シウタ  
 声ヲ、周ノ先祖后稷公劉タチノ、キイテ、ヨロコバレタヲソ、  
 〱同名雍、蔡一イツテ謂二顧一ニ曰、卿必成レ名以二吾一トヲ名与レ卿、  
 蔡雍ハ、蔡邕ナリ、邕ト雍トノ字ヲ、一ツニ、用タソ、顧雍  
 ニアウテ云タソ、ソチワ、名ヲナメ人ニ知レタソ、吾カ名ノ、  
 蔡雍ノ雍ト、ソチノ顧一1357 雍ト同シ名ノ字ヲチャト云タソ、謝  
 安石ト王安石ト、墩中トンテ、名ヲ争タト云ヤウナヲソ、墩ハ、  
 ツカナリ、顧雍ハ、字ハ元歎ソ、蔡邕ニソウテ、琴ヲ学タソ、  
 伯皆カイカホメタソ、三国ノ時ノ者ナリ、呉ニツカエタソ、  
 詩篇カク離太祖也周ヨウ離ノ詩ハ、毛詩ノ十九ノマキニアリ、周頌ノ中  
 ナリ、魯頌周頌トアリ、頌ハホムル心ソ、周ノ徳ヲホメ、魯  
 ハ、周公旦ノ徳ヲホメタ詩ソ、離ハハテイセリ禘ニ太祖一也ト云ソ、太祖  
 ハ、文王ナリ、文王ヲ祭テ、禘ノマツリヲナイタソ、禘ハ、  
 祭ノ名ナリ、禘ハ、大ノ心ソ、ヲ、イナル心ソ、四時ニ大ナ  
 禘ノマツリヲスルソ、小ナ祭一1364 ヲ、禘ト云ソ、三年一禘五

癰<sup>(腫み)</sup>、疽<sup>ソ</sup>也、或作<sup>ハ</sup>癰<sup>ト</sup>、**鄭崇<sup>(ハツス)</sup>伝<sup>(ハツス)</sup>發<sup>(ハツス)</sup>二頸<sup>(ニ)</sup>一**、項羽ガ、將ノ范増

セナカニ疽ヲ發メ死タソ、<sup>137オ</sup>「鄭崇ハ、直ナ声ヲトツタソ、

クツノヲトニアル<sup>(七)</sup>キ、シツタト、哀帝ノイエタソ、西漢書

ニアリ、崇コノシテ、帝ヲイサメタソ、哀帝ノ祖母ヲ商ニ封

ゼウトアルヲ、色<sup>マエ</sup>々ノ前ニワルカツタ、引<sup>マエ</sup>事ヲ云テ、イサ

メタソ、祖母ノイカラレテ、ツイニ商ニ封セラレタソ、ソレ

ヤウナ<sup>マエ</sup>ヲニ、ヤマイヲ生メ、クビニ癰ヲタイタソ、ソレテハ、

死セイデ、樓エ入ラレテ、樓ノ中テ死ソ、<sup>クワイ</sup>破癰、<sup>クワイ</sup>潰

疽<sup>(瘡)</sup> <sup>(瘡)</sup> <sup>19</sup> (側注…句会平ノ麻ニ癰ヲ出ソ祖禾切トシタソ) 祖禾反<sup>ハ</sup>者得車一乗舐<sup>ハ</sup>

痔者得車五乘**莊禦冠<sup>(冠)</sup>**破<sup>(破)</sup>一、ヨウノヤフレ、疽ノツブレタ者、

車一乗ヲ得タ<sup>137ウ</sup>カ、エ心エヌソ、下ノ痔<sup>137ウ</sup>「ヲ、ネフツタ者

ニ、車五リヤウノセタ者ヲ得タト云心カ、此心ナレバ、カミ

ノヨウノヤフレ、疽ノツフレタヲモ、ネフルカナソメ、車ヲ

得タカ、全篇ヲミネハ、エ心エヌソ、疽ヲネブツタ者アリ、

呉起ハ、自士卒ノ疽ヲ吮<sup>ネフル</sup>トアリ、痔ヲネブツテ、車五両ノ者

ヲ得モ、アマリナ<sup>(緯)</sup>ヲソ、韓<sup>(緯)</sup>略ト云書ノ第四ニ、舐痔ト云<sup>(緯)</sup>

アリ、ソコニ、秦王、医ヲ召メ、痔ヲネブラセテ、車五乗ヲ

得タトアリ、莊子ヲヒイタソ、韓<sup>(緯)</sup>略ト云書アリ、ソレニ、

甜<sup>(紙)</sup>痔ト云所ニ、莊子曰、秦王有病、召医舐痔、得車五乗ト

アリ、上ノ、ヨウ、<sup>138オ</sup>「ソ、モ、ネブルトモ、ナニトモ、

シルサヌソ、車五乗モ、心エカタイソ、莊子ナイホドニ、不

レ考、寓言チヤホドニ、ナニト云モ、実ハナイソ、

<sup>クワイ</sup>潰癰、以<sup>テ</sup>生<sup>セイヤ</sup>為<sup>フゼイ</sup>ニ附贅懸<sup>イウ</sup>疣<sup>テ</sup>一以<sup>レ</sup>死<sup>ヲ</sup>為<sup>ハ</sup>ニ伏<sup>(決)</sup>一疣<sup>ト</sup>一、**莊人**

ノ生テ、人間ニアル<sup>ハ</sup>ヲハ、カリノ<sup>ハ</sup>ヲソ、贅ハ、コブナリ、ソ

ツト、ツイツケタ心ソ、本ノ身テハナイソ、懸一、疣ハヤマ

イナリ、コ、ニ云タハ、サガリフスベヲ云タソ、フスベモ、

コブノツレソ、ブラリト、小<sup>ハ</sup>袋ノヤウニサガルソ、サテ、懸

ト云ソ、カ、ツタ心ソ、人ノ死ト云<sup>ハ</sup>ヲハ、病ノソコニアリテ、

上エハ、ハ、デヌソ、ドチイタヤラ、ドコニアルヤラ、ミエヌ

ソ、又ヨウ<sup>138ウ</sup>「チャウノ、ハレテ、大ニアツタガ、ツブレテ、

<sup>19</sup> 『韻府群玉』当該箇所には「瘰」とある。『韻府群玉』から引用される「祖禾反」という反切も、「疽」ではなく「瘰」と一致するため、「瘰」と校訂した。「疽」に対する側注は国会本・叡山本にも見られるが、これは「疽」と「祖禾反」という反切とが一致しないことに不審を持った共通祖本の書写者が、『古今韻会举要』を確認して記したものとして推される。

ハレテ大ナガ、アトカタモナイソ、死ハ此コトクナソ、漬  
ハ、イタミカ、タエカタイト云エトモ、ツフレタレハ、サツ  
トハツルソ、病ノ身ノ中ニアツテ、肉ヤ臟腑ヲ、内デハミカ  
ブリクラウニハマシタソ、内ハ、レウヂナラヌソ、

○醖<sup>デウ</sup> 韓文<sup>ニ</sup> 沈浸<sup>ニ</sup> 郁、此ハ、人ノ、ナリ性ヲ云タ<sup>ニ</sup>カ、人

ノイカニモ、沈テ、ウカツホウニ、ウカブセツニ、ナイカ、  
アルソ、ホカニ、ウルライアツテ、物ヲヒタイタ如ナアル  
ソ、醖ハ、酒ノコイ如ナソ、コウミノアル人アリ、郁ハ、  
ニヲウナリ、<sup>139オ</sup>「ニヲ<sup>139オ</sup>トメ、ニライノアルヤウナ<sup>ニ</sup>ソ、

人ノ性モ、又文章ノ体<sup>テイ</sup>ニモ、カウアルソ、ドチヲ云タ<sup>ニ</sup>ソ、  
韓文ヲミタラハ、ミヨウソ、勻会ニハ、醖ハ、酒ノ厚ナリ  
トシタソ、醇々ト、孟子ニ云タ心ソ、醇モ酒ノアツイヲ云  
タソ、<sup>ニ</sup>歐詩、<sup>バイニニ</sup>緑醖寒更<sup>ニ</sup>、<sup>ニ</sup>緑ナ色ノ酒ナリ、冬ノ寒ニ、コ  
イ酒ヲノメハ、アタ、カニナル心ソ、<sup>ニ</sup>坡詩ニ、社酒粥面<sup>ニ</sup>、  
社ノ祭ニ、ノム酒ハ、民カ、吾ノマウ為ニ、ツクルホトニ、

コイソ、ネヂシホリト、土民カ云ソ、ソノ心ソ、粥ヲニテ、  
ウマ<sup>139ウ</sup>「イタハ、ヌメ<sup>139ウ</sup>トアルソ、水ノスギテ、米ノス  
クナイ粥ハ、サブメイタソ、坡カ詩テハ、<sup>コマヤカナリ</sup>醖 トヨムソ、  
濃トカヨウソ、

醖<sup>ニ</sup> 醖醖、楊茂化<sup>ス</sup>ニ於<sup>ニ</sup>、<sup>20、</sup>費偉<sup>ニ</sup> 伝<sup>ニ</sup> 三国志ノ費偉<sup>ヒ</sup> カ伝

ニ、楊茂カ<sup>ニ</sup>ハ、ミエヌソ、化於<sup>ニ</sup>ト云、化スルヤウヲシ  
ラヌソ、化ト云ハ、ニワカニ、カワルヲ云ソ、ヨウカワル  
カ、ワルウカワルカノ、ニソ、酒ニヨウテ、平生<sup>ニ</sup>人アイノヨ  
イ<sup>ウカ</sup>モナイガ、一盃ノメハ、カワリテ、ヨイモアリ、平生ハ  
ヨイガ、酒ガスクレハ、イランシツ、イサカイタガル人アル  
ソ、此ハ、ワルウ化スルソ、楊茂ガ化ハ、シラヌソ、ワルウ  
化シワ<sup>140オ</sup>「スマイソ、<sup>ニ</sup>肥醖、甘脆<sup>ニ</sup>ニアリ、此モ、

ナニノ付<sup>ニ</sup>ニカイタヤラ、果ニ、甘テ、ハモロイアリ、コエテ、  
実<sup>ミ</sup>ノヨウ入テ、ウマウ、味ノ厚味ノアルガアルソ、此ハ、上  
林苑ノコノミノヲ云タ<sup>ニ</sup>カ、

<sup>20</sup>『韻府群玉』には、「醇醖、楊茂化於<sup>ニ</sup>」<sup>ニ</sup>費偉<sup>ニ</sup>伝<sup>ニ</sup>とある。実際には費偉伝ではなく、『三国志』蜀書・郤正伝にあり、現行の本文では「播皇澤以  
熙世、揚茂化之醖醇」とある。本来は「茂化ノ醖醇ヲ揚グ」と訓読すべきところを、『玉塵抄』では「楊茂」という人名に誤っている。

○濃、山色不<sup>レ</sup>如<sup>ハ</sup>二<sup>ニ</sup>帰興<sup>ニ</sup>一、**坡**坡詩テハ、ナイズ、坡ニソウ  
 テ、久イタカ、平生ハ、ナニタルノウモナイ者テ、アツタソ、  
 イトマヲ、コウテ、郷エ帰りサマニ、一首詩ヲ作テ、ヲイタ  
 ソ、ソノ詩ノ句ナリ、坡力、此ヲミテ、ヲトロイテ、トメタ  
 レドモ、帰ソ、坡集ノヲクニツタソ、山ノ色ハ、コマヤカ  
 ニ、ヨイトハ云ヘトモ、吾<sup>140</sup>今、<sup>ケウ</sup>「故郷エ帰ル、ウレシイ興  
 ノコマヤカニハ、不<sup>レ</sup>及ソ、坡集ニハ、帰意トアルソ、**活**春  
 一、春ハ、花サキアタ<sup>ハ</sup>カナホドニ、ナニモウルワシウ濃ナ  
 ソ、<sup>ハ</sup>露一、ツユハ、秋ノモノナリ、サレトモ、花ナトニハ、  
 ナン時モ、ツユヲ作ソ、ソウタ、タウクチャホトニソ、<sup>ハ</sup>興  
 一、興ハ、人ノヲモイヲ云ソ、<sup>ハ</sup>望<sup>ノソミ</sup>一、山川テナケレドモ、  
 ソノ人ヲ、ユカシウ思イヤルヲ、望ト云ソ、面<sup>ハ</sup>白イ人ナトヲ、  
 思テノソメハ、ノソミモ、コマヤカナソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>濃ヲ  
 タ<sup>タ、ウタカ</sup>、ウカ、タ<sup>ハ</sup>ウテモ云タカソ、淡濃ト云時ハ、淡々濃々ト  
 イワウソ、<sup>ハ</sup>睡思一、ウマ<sup>ハ</sup>トネムルコアリ、ネムリヲ、

黒甜ト<sup>141</sup>「云ハ、ネムツタカ、ウマ<sup>ハ</sup>トアマイ物ヲ、クウ  
 ヤウナ心ソ、

○穠<sup>デウ</sup>、華多<sup>ハ</sup>貞ナリ、花ノ、シケウ、サイテ、多<sup>ハ</sup>ソ、洛神賦  
 ハ、文選ニアルソ、洛水ノ神ソ、神女ナリ、此ノ女ノナリヲ、  
 フニカイタソ、

一<sup>リ</sup>織得<sup>レ</sup>中<sup>ハ</sup>、女ノナリ、アツウコマヤカニ、ホソ<sup>ハ</sup>トメ、  
 コシナド、身モホソウ、タヨ<sup>ハ</sup>トシタソ、ホソイモ、コマ  
 ヤカナ<sup>ハ</sup>モ、中ホドカ、干要ソ、ナニモ、コロスクレハ、ヨ  
 イデハ、ナイズ、人ヲ尋<sup>ハ</sup>常ナト云ハ、尋<sup>ハ</sup>常ハ、ヨノツネト  
 ヨムソ、中ナ<sup>ハ</sup>ソ、少人ノ物ヲ、クワヌヲ、尋<sup>ハ</sup>ト云ハ、ソ  
 デモナイ<sup>ハ</sup>ソ、ナニモ、クワイテ、イウス<sup>ハ</sup>カ、ヨノツネニ  
 ソ、**坡**淡佇更<sup>チヨニ141</sup>「<sup>ハ</sup>織一、此モ、美人ヲ云タカ、淡<sup>ハ</sup>ハ、アワ  
 イ心ソ、佇ノ字ハ、ミエヌソ、佇ノ字アリ、淡佇トアルソ、  
 ○<sup>デウ</sup>穠<sup>21</sup>、衣厚<sup>ハ</sup>也<sup>ハ</sup>詩<sup>ハ</sup>召南<sup>ハ</sup>毛詩ノ一二、召南国風ノ中ナリ、  
 何彼穠矣<sup>イ</sup>ノ篇ニアリ、此詩ハ、王ノ姫<sup>ヒメ</sup>ヲ、ホメタソ、王ノム

<sup>21</sup> 国会本・叡山本はともに「ゼウ」とするが、当該字は、『韻府群玉』において、娘母を示す「女容切」の「醴」小韻に属するため、『韻府群玉』の  
 体例に従えば、東大本の「デウ」が道理にかなう。しかし、『詩経』召南・何彼穠矣の「穠」字に対して、『經典釈文』（宋刻本に拠る）では日母を示  
 す「如容反」の反切があるため、「ゼウ」の音にも根拠がある。そのため当該箇所における「ゼウ」「デウ」の揺れは四つ仮名の混同を示すものとは言

スメナレトモ、下<sup>クダ</sup>テ、諸侯ニカメ、位一等サカツテ、婦人ノ  
 道ヲ、守ラレタソ、齊侯ノ子平王ノ孫ナリ、何彼<sup>ソノタル</sup>一<sup>テイ</sup>矣唐棣之  
 華、穠<sup>ナリ</sup>ハ、花ノ多イナリソ、アノウツクシウ、花ノシケウ、  
 サイタワト云ソ、アレコソ、唐一ノ花ヨソ、王姫ニタトエタ  
 ソ、唐一ノ花ハ、サイテ、下エタレテ、花ノ<sup>142オ</sup>「サキガ、ウ  
 チカエイト、ソラエナルソ、ツネノ花ニ、チカウタソ、サレ  
 トモ、ミチニカナウアルソ、此ノ花ニ、比タモ、イワレア  
 ルソ、**召南**毛詩ハ、十五ヶ国ノ、ソノ国ノ政人ノ、ヨイアシ  
 イヲ作タソ、周南召南ハ、トレモ、南方ノミヤコニ、チカイ  
 国ヲ、文王ノ子武王ノヲト、周公旦ト、召公奭トメ、ヲサメ  
 ラレタソ、周公ノヲサメラレタ、南方ノ国ヲ、周南ト云ソ、  
 召ノヲサメタ南方ノ国ヲ召南ト云ソ、何彼ノ詩モ、召南ノ国  
 ノヲナリ、

○重<sup>テウ</sup>、舜一<sup>カサヌ</sup>瞳、マナコノヒトミカ、フタエニ、カサナツタ  
 ソ、東<sup>142ウ</sup>句ニ「アツタソ、文王<sup>ヌ</sup>一<sup>ヲ</sup>易、伏羲<sup>画</sup>一<sup>ク</sup>ワクメ、  
 ヲケタヲ、文王ノ卦ヲ、八卦ニタ、ミ重<sup>カサネ</sup>テ、ハヲ又ハツ、

えない。なお、『広韻』でも「穠」字は娘母・日母の二音を有する。

タ、ミカサネテ、六十四卦ニナツタソ、戴<sup>ヒヨウ</sup>憑<sup>レ</sup>一<sup>ヲ</sup>席、此モ  
 東<sup>143オ</sup>句ニ馮ノ所ニアツタソ、馮ト、憑ト、カヨウタソ、馮  
 ハ、東<sup>ク</sup>句、憑<sup>カ</sup>蒸<sup>カ</sup>句ナリ、蒙<sup>カ</sup>求<sup>カ</sup>ノ談<sup>カ</sup>義ニ、戴<sup>ヒヨウ</sup>ヒヨウト、人  
 ノヨメタソ、冬ニ憑トナイタ時ハ、ヒヨウトヨマウソ、  
 馮ノ字<sup>フ</sup>フトヨメルソ、東<sup>カ</sup>句ハ、声ノ末ヲ、引ホトニ、フ  
 ト、ヒキサウナソ、水神ノ馮夷<sup>フ</sup>ヲ、ヒヨウイト、ヨメル人  
 アツタソ、先輩ノ義ヲ、キカイトハ、自<sup>コ</sup>己ニハ、ヨメマイ  
 ソ、戴<sup>143オ</sup>一<sup>カ</sup>ハ、五<sup>カ</sup>経ノ議論ニ、「カツテマケタ者ノシイタ  
 席<sup>ムシロ</sup>ヲ、アマタトツテ、カサネテ、シイタソ、**杜**詩ニ、烟花  
 一万一ハ、烟ノ花ナリ、兵火、烽ナトソ、唐モ、安思力乱  
 ト云<sup>カ</sup>アリ、干戈テアツタソ、玄宗ノ時ソ、ソレヲ云タソ、  
**坡**詩、妾心<sup>イカハシ</sup>如<sup>マクノ</sup>膜<sup>テ</sup>退<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>、マケ<sup>ク</sup>ヲ<sup>カ</sup>キツテノケタ心ソ、重々  
 ノ、マケ<sup>ク</sup>ヲトリノケタ<sup>ク</sup>ソ、妾<sup>カ</sup>心<sup>カ</sup>ヲ、マケ<sup>ク</sup>ニタトエタ  
 ソ、美人ノ心カ、重々<sup>ク</sup>ノマケ<sup>カ</sup>ノ如ナト云心カ、ソレヲ、  
 ハライノケタ<sup>カ</sup>ヲカ、**荆公**霽<sup>テ</sup>雪<sup>ヲ</sup>兼<sup>タイ</sup>レ山粉黛<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>、雪ノフツテ、  
 山ノハレタニ、点シタハ、粉一ヲ、マユヲ、ツクツテ、白

イ「<sup>143ウ</sup>粉ヲ、ヌツテ、ツクリカサネタ如ナソ、<sup>ハウ</sup>茅三

重、<sup>チウ</sup>摧<sup>22</sup>我屋上三<sup>カ</sup>重<sup>ノ</sup>一<sup>ヲ</sup>、<sup>143ウ</sup>杜力雨力風ノ詩ソ、三<sup>チ</sup>ヂウニ

フイタカヤソ、<sup>(ヲカ)</sup>クダイタソ、雨ニクタケタ心ソ、<sup>キウ</sup>九一

訳重、<sup>ヤクヌ</sup>咄<sup>イウン</sup>

一<sup>ヌ</sup>二<sup>ヲ</sup>、<sup>143ウ</sup>柳文力、咄咄ハ、唔咄ノツレソ、誦シ読ム声ナリ、

重<sup>カサヌ</sup>訳ト云ソ、遠国カラヤ、天竺ナドカラ、漢ノミヤコエハ、

語ガチカウヲ、<sup>ツウズ</sup>通事ガ、アツテ、ソコカラハ、語ヲカエテ、

心ヲ伝テ、ミヤコエマウスソ、ドコカラドコト、九<sup>143ウ</sup>所バカリ、

カサヌルソ、九州ノ心モアリ、シカト、九<sup>143ウ</sup>訳ノカズハナイソ、

天竺ノ経ノ梵語ヲ、三藏力天竺エワタツテ、漢土ノ<sup>144オ</sup>「<sup>144オ</sup>語ニ、

ウツシカエテクルソ、ソレヲ、<sup>ヤク</sup>訳ト云ソ、<sup>ヤク</sup>易ノ心ソ、易ハ、

カユルトヨムソ、天竺ノ語ニ、カエタ心ソ、史漢ノ書テハ、

訳ハ、ヲサトヨムナリ、<sup>ノ</sup>門九<sup>ノ</sup>重、君之<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>、<sup>143ウ</sup>騷離騷ニ

アリ、九<sup>コノエ</sup>重ソ、重々九ノエアリ、フカイソ、花ノ八<sup>ヤ</sup>重<sup>エ</sup>モ、

此ヲカクソ、<sup>カシニル</sup>天<sup>ニ</sup>八<sup>ニ</sup>重、<sup>ニ</sup>陶侃夢登<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>至<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>而墜<sup>ニ</sup>詳<sup>ニ</sup>翼、

陶一ハ、淵明ガラウヂナリ、夢ニ、八ノツバサヲ生メ、飛テ、

天ニ上テ、門ノアルヲミテ、八重マテ、上<sup>ノ</sup>タソ、イマーノ門

アリ、エ入ラヌソ、門ヤクガ、タ、イテシモエフトイタソ、

左ノ方ノ、ハネヲ、ウチ折タソ、<sup>チ</sup>後ニ、八<sup>カ</sup>一<sup>カ</sup>国ノ、都督ニ

ナツタソ、守護ノ心ソ、<sup>144ウ</sup>「<sup>144ウ</sup>八重ハ八州ノ心ソ、<sup>144ウ</sup>異味

重、<sup>ナル</sup>誰<sup>カ</sup>看<sup>ル</sup>一<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>、<sup>144ウ</sup>杜力詩、味ハ、タトエデアラウソ、ナン

ノ詩ヤラ、一句テハ、本ノ心カシレヌソ、別々ノ味ノ多心ソ、

詩ノ吟味力、官味ノカサナツタ心カソ、<sup>ナル</sup>「<sup>ナル</sup>花影重、日<sup>メ</sup>高

一<sup>ル</sup>、<sup>144ウ</sup>杜荀鶴力詩、前句ニ、風暖鳥声碎<sup>クダケ</sup>トアリ、杜<sup>ヘ</sup>一<sup>ヘ</sup>

一ハ、字ハ彦之九華山ニ別業<sup>ケウ</sup>ヲ、コシラエテ、イタソ、九華

山人ト云タソ、宮<sup>ズ</sup>詞ツクリノ上<sup>ズ</sup>手ナリ、唐デノ第一ナリ、

日高<sup>144ウ</sup>一<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>、一聯カスケレタソ、杜力詩三百首アリ、奇妙

ノ句ハ、此ノ一聯ニアリト、評シタソ、日<sup>144ウ</sup>高トハ、日ノ天ノ

マン中ホドエ、上<sup>ノ</sup>ヲ云ソ、マツヒルハ、ワキヒラモ、上モ下

モ、テラシ<sup>145オ</sup>「<sup>145オ</sup>ノコスヲナイソ、サテ、花ノ影モ、重々<sup>145オ</sup>多ガ、

ミナテラメ、ミユルソ、<sup>145オ</sup>「<sup>145オ</sup>布<sup>145オ</sup>兩<sup>145オ</sup>重、薄々酒飲兩鍾、粗々布

著<sup>145オ</sup>一<sup>ノ</sup>、<sup>145オ</sup>「<sup>145オ</sup>坡ガコトバナリ、薄々一<sup>ノ</sup>、ウスイ酒モ、二盃ツ、ケ

テ、ノメハ、チツトヨウヤウナソ、粗々、ウスウアライ、

布モ、**二**エカサヌレハ、ハタエヲ、カクスソ、粗ハ、麤ト同

ソ、アライトヨムソ、又ハ、ホバトヨムソ、略メ「○ソ」ザ

(濁点生)

ウナヲヲ云ソ、○種<sup>23</sup>、重ノ字母ノ下ニ入レタホドニ、

チヨウノ音テ、アラウソ、先種後熟トハ、一切ウエイデ、熟

スルヲハ、アルマイソ、自然<sup>ネン</sup>生<sup>ジャウ</sup>ノモノハ、シラスソ、此四

字、心エカタイソ、通作<sup>メ</sup>重<sup>ト</sup>、カサナル心ソ、重<sup>145ウ</sup>「ノ字ハ、

カサナルトキハ、平、ヲモシト云時ハ、仄ナリ、モト重ト遅

トノ字ノヨミニヨツテ、平仄ニナルヲ、聯句ニセラレタソ、

<sup>(ミセケチ生)</sup>名匠ノメサレタケナソ、重<sup>カサナレリ</sup>重<sup>キヲ</sup>重<sup>ヲモシ</sup>重<sup>マテハ</sup>ツイニ遅

レ遅<sup>ヲツキヲ</sup>遅<sup>トモシ</sup>遅<sup>トモシ</sup>遅<sup>トモシ</sup>アリ、**詩**ニ黍稷重穆、イネノホノ、カ、

サナツタ心力、重、点不<sup>テウ</sup>詳、可考ソ、○蠅<sup>ノカイコ</sup>夏蚕ナリ、

民家ニハ、春コ、夏コト云ソ、コハ、ナツコノ事ナリ、

○從<sup>セウ</sup>、シタカウトヨムソ、タテヨコノ、タテトモヨムソ、

**易**ニ雲<sup>ハイ</sup>龍<sup>レイ</sup>風<sup>フウ</sup>虎<sup>ニ</sup>、ソノツレ／＼アツテ、ツレゾウ者ナ

リ、**書**耽<sup>146オ</sup>樂「之<sup>146オ</sup>天必<sup>146オ</sup>之、ド<sup>(濁点生)</sup>ノ篇ヤラ、不<sup>レ</sup>詳、可

考ソ、**左**ニ、降<sup>テ</sup>心<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>相<sup>ウ</sup>、吾力心ヲ、ヘリクタリ、タチ

クダツテ、ムカイノ人ニ、シタカウソ、心ヲ降<sup>クダ</sup>サイデハソ、

筮<sup>ゼイ</sup>從<sup>ウ</sup>、龜<sup>キ</sup>一<sup>イセ</sup>

一<sup>イ</sup>卿士<sup>イシヨ</sup>庶民<sup>ウ</sup>、龜ノコウヲヤイテ、ソノモンヲ以テ、ウラ

ヲ<sup>(ミセケチ生)</sup>一<sup>ウ</sup>スルニ、吾カヲモウ心ニ、シタカウテ、吉ナルソ、

筮ハ、メド草ノクキヲ五十キリ、ソレヲトツテ、ウラナウソ、

ソレモ、シタカウテ吉ソ、卿士ハ、六卿大夫ノ位、士ハ、平<sup>ヘイ</sup>

サブライソ、庶民ハ、ホリツクリスルツレノ民ソ、一々シタ

カウソ、尚書ノ洪範ノ篇ニアリ、

一<sup>146ウ</sup>面從<sup>チレ</sup>、汝<sup>チ</sup>无<sup>レ</sup>一<sup>146ウ</sup>、尚書ノ益稷ノ篇ニアリ、益稷ハ、

禹ノ臣下ナリ、功臣ナリ、万事ヲトメ<sup>フカ</sup>エテ、民ヲスクワ

ウト思ウナリ、汝タスケテ、コトヲト、ノエヨト、禹ノイワ

レタソ、益ニ、吾力面<sup>ニ</sup>云<sup>フ</sup>ニハ、メノ前テハ、ウケガイシ

タカウテ、カゲデハ、ツブヤキ、ワルウウシロゴトスルヲ、

<sup>23</sup> 原本、および『韻府群玉』では見出し字を「種」とし、それ以降の抄文では「種」とするが、国会本・叡山本はともに、見出し字においても「種」とする。

ナカレト、イマシメラレタソ、<sup>ツ、ンテ</sup>景從、<sup>カテヲ</sup>贏<sup>ノ如ニ</sup>而<sup>ウ</sup>、  
**過奉論**<sup>(案カ)</sup>ニアリ、兵糧ヲ、モチツ、ンテ、カゲノ身ニシタカ

ウ如ニ、ツキシウテ、陣エ立タ<sup>シタカイ</sup>ツソ、景<sup>フ</sup>從トモ、ヨマウソ、

ユイテ<sup>シタカハン</sup>從、吾<sup>ニカテ</sup>誰<sup>ハン</sup>、**左**ナニタル人ノモトエ、ユイテ

カ、ソノ人ニ、シタカイ、<sup>147オ</sup>ヲヲモタツ「ネキカウソ、<sup>147オ</sup>

朋<sup>1</sup>從、<sup>1</sup>爾思、**易**トノ卦ノコトハヤラ、不<sup>レ</sup>詳、朋友ノ如

ニ從テ、ソチヲ思ソ、<sup>セウ</sup>三<sup>ニハフ</sup>從、婦人幼<sup>ニ</sup>父、嫁<sup>ニ</sup>夫<sup>ニ</sup>タ

死<sup>メハフ</sup>子<sup>ニ</sup>是故有<sup>ニ</sup>之<sup>ノ</sup>義、女人ト云者ハ、ヲサナウテハ、

父母ノイウル、<sup>1</sup>ニ、從ナリ、年イテヨメリメハ、ヲトコニ

從フ、ヲトコカ死レハ、子ニ從ソ、サテ三從ト云ソ、五障、

五ノサユル<sup>1</sup>アリ、提婆品ニアリ、女ニハ、五障三從ノ苦ア

リ、三セウト云ナリ、シウト吳音ニヨムワ、ワルイソ、<sup>1</sup>ハ

涕<sup>ナンタシ</sup>無<sup>モ</sup>從、孔子曰<sup>ノク</sup>吾惡<sup>ナンソレノ</sup>夫<sup>1</sup>「<sup>キヤ</sup>之<sup>モ</sup>」<sup>147ウ</sup>也詳<sup>1</sup>驂、孔子ノ

衛ノ国エ行ル、ニ、ミチデ、知<sup>1</sup>人ノ死タヲ、「ナカレタ

ソ、ナニデマリ、ヲクラウモノナイソ、ナミダバカリソ、ソ

ヨウスモノナイソ、子貢ガ、トモヲシタソ、孔子ノ吾ノリ馬

ノ、左ノカタノ驂<sup>ソエムマ</sup>ヲ、トイテ、ヤラレタソ、ノリカエカア

ルソ、**姓氏**<sup>クワン</sup>東筭ト云所ニ、從氏ノ者アリ、漢將軍ノ公ト云ア  
リ、

○逢、**書**尚書ニ、子孫其<sup>レ</sup>吉<sup>ニ</sup>、トノ篇ヤラ、不<sup>レ</sup>詳、先祖

ニ、ヨイ<sup>1</sup>ヲシタカ、ソレニヨツテ、子孫カ、吉慶ノ、サ

イワイニアウソ、**李広伝**ニ、惜<sup>ム</sup>三<sup>カルヲ</sup>広<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>時、李広ハ、

ウマレツキ、貧ニ、数<sup>スウ</sup>奇ニアツテ、功ヲナイタレトモ、侯

ニ封セラレヌソ、<sup>148オ</sup>「李広難<sup>シ</sup>封<sup>1</sup>ト、古文真宝ニアリ、

馮唐ナドモ、白首マデ、郎<sup>1</sup>テハテタソ、**韓文**ニ聖賢相<sup>ニ</sup>ト

アリ、聖人賢人、ヲナシツレハ、必デヤウソ、冠<sup>(寇カ)</sup>準<sup>シユンニ</sup>為<sup>ニ</sup>

丁<sup>カ</sup>謂<sup>ヘンセラル</sup>一<sup>ニ</sup>厓州<sup>ニ</sup>、後丁亦<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>厓州<sup>ニ</sup>、宋朝ノ宰相冠<sup>(寇カ)</sup>一<sup>ニ</sup>

萊公ナ<sup>(リ)</sup>、丁謂ニ、シヲトサレテ、南方ノ厓州エ流レタ

ソ、ソノノチ、丁<sup>1</sup>モ、又厓エ流レタソ、或<sup>アルヒトノニ</sup>詩<sup>1</sup>曰、若<sup>シハ</sup>見

二厓州冠<sup>(寇カ)</sup>司<sup>ヲ</sup>戸<sup>1</sup>、人生何<sup>カン</sup>一<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>相<sup>1</sup>、ソノ時、アル者カ、

詩ヲ作タソ、世上ノ人、モシ厓州ノ冠<sup>(寇カ)</sup>一<sup>ニ</sup>ヲヨク、ミ

ヨ、人間トコカ、丁謂ノカタキニ、<sup>148ウ</sup>「アワヌ<sup>1</sup>ハナイソ、

人間ノ八苦ノ中ニ、怨憎会苦ト云アリ、ニクイ、アタカタ

キニハ、因果デアウソ、冠<sup>(寇カ)</sup>モ丁モ、厓州エ流タ<sup>1</sup>ハ、排



勾ニハ、ノセヌソ、丁謂ハワル者ナリ、眼中釘謂ト云タソ、  
マナコニ、クキヲ打タ如ナト云タソ、コレヲミレハ、目ニ  
立ツ心ソ、イヤナコトニソ、丁ト釘ト一ソ、モト桃源ノ正  
月ニ、十題タサシマシタニ、拔<sup>ク</sup>眼中<sup>ノ</sup>丁<sup>ヲ</sup>謂<sup>フ</sup>戴<sup>ニ</sup>頭<sup>ノ</sup>上<sup>ノ</sup>子<sup>ヲ</sup>瞻<sup>ヲ</sup>  
一トアリ、妙ナ、ツイナリ、折<sup>ウ</sup>梅<sup>ニ</sup>逢<sup>ニ</sup>一、詳<sup>ニ</sup>梅<sup>ノ</sup>范<sup>ノ</sup>曄<sup>ノ</sup>カ  
詩ナリ、

149オ 「<sup>ハ</sup>遇<sup>ハ</sup>逢<sup>ハ</sup>与<sup>ハ</sup>三<sup>ノ</sup>其<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>一<sup>スル</sup>吹<sup>キ</sup>笙<sup>ヲ</sup>彈<sup>ヲ</sup>韓<sup>ノ</sup>ユク<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>、  
スクル所、アウ所テ、ミナ、笙ヲ吹<sup>キ</sup>笙<sup>ヲ</sup>彈<sup>ヲ</sup>スルソ、三体ノ  
上ニ、贈<sup>ニ</sup>彈<sup>ニ</sup>箏<sup>ニ</sup>人<sup>ニ</sup>一ト云詩アリ、彈ト云ホトニ、吹ハセヌソ、  
ソノ体ハ、竹デスルソ、一説ニ、秦ノ時ニ、父子、瑟ノ器ヲ、  
アラソウタソ、ソコテ、ワケテトツタソ、サテ、竹ノ下ニ争  
ト云字ヲ、カクソ、絃ヲツケテ、ヒケハ、声ガ、高メ、箏々  
然タルソ、<sup>クワニ</sup>飯<sup>ニ</sup>顚<sup>ニ</sup>逢<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>山<sup>ノ</sup>頭<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>杜<sup>ノ</sup>甫<sup>ニ</sup>李<sup>ニ</sup>白<sup>ノ</sup>力<sup>ノ</sup>詩<sup>ニ</sup>ナリ、飯  
一山ハ、蜀ニアリ、杜カ、イタアタリニアリ、山ヲ、飯ヲモ  
ツタ山ト云ガ、杜ハソコニイテ、ナセニ、ウエテ、ヤセタソ、  
ト云タソ、<sup>イキテ</sup>活<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>生<sup>ニ</sup>一、死イテ、イタレハ、又アウタヨト云

24 「段(段)一」は書名でないため、四角囲いは不審である。

タソ<sup>タクミニ</sup>巧<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、キドクニ、<sup>149ウ</sup>「タクンタヤウニ、アウタソ、  
<sup>フ</sup>喜<sup>ニ</sup>相<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、タマ<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ニアウタ<sup>ニ</sup>ヲ<sup>ニ</sup>喜<sup>ニ</sup>タソ、<sup>カシ</sup>歳<sup>ニ</sup>名<sup>ニ</sup>ナリ、上<sup>ノ</sup>音<sup>ニ</sup>烟<sup>ニ</sup>ナリ、史<sup>ニ</sup>記<sup>ニ</sup>ニ、十<sup>ニ</sup>千<sup>ニ</sup>十<sup>ニ</sup>二<sup>ニ</sup>支<sup>ニ</sup>ノ<sup>ニ</sup>名<sup>ニ</sup>  
一、甲<sup>キノエノ</sup>歳<sup>ニ</sup>ノ名<sup>ニ</sup>ナリ、上<sup>ノ</sup>音<sup>ニ</sup>烟<sup>ニ</sup>ナリ、史<sup>ニ</sup>記<sup>ニ</sup>ニ、十<sup>ニ</sup>千<sup>ニ</sup>十<sup>ニ</sup>二<sup>ニ</sup>支<sup>ニ</sup>ノ<sup>ニ</sup>名<sup>ニ</sup>  
アリ、エント、アツトノ、音アリ、尔雅ニ支干ノ名ヲ、ノセ  
タソ、音ヲハ、付ヌソ、北胡ノエビスノ氏力闕ソ、闕氏ナリ、  
アツ氏トモ、エン氏トモ、ヨメルソ、エンガ、ヨイゲナソ、  
<sup>セツ</sup>人名<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>薛<sup>ニ</sup>一、東<sup>ニ</sup>塗<sup>ニ</sup>西<sup>ニ</sup>抹<sup>ニ</sup>、詳<sup>ニ</sup>抹<sup>ニ</sup>、薛<sup>ニ</sup>一ガ新進士ノ、トヲルニ、  
イキヤウタソ、サキニ、前<sup>ニ</sup>驅<sup>ニ</sup>スル者ガ、新進士ノ、ヲトヲリ  
アルソ、ミチヲヨケヨト云タソ、逢ガ云タソ、貧相ナト云テ、  
イヤシム<sup>ニ</sup>ヲナカレ、此ノフルウバモ、三五<sup>ニ</sup>（側注ニ十五ノトシ）ノ  
ワカイ時ワ、公卿貴人ノ家ヲモ、東<sup>ニ</sup>西<sup>ニ</sup>エ、タテヨコ、フミエ  
リ<sup>150オ</sup>「<sup>ハ</sup>テ、トラツタソ、抹<sup>ニ</sup>過<sup>ニ</sup>シタソ<sup>ハ</sup>段<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>（段<sup>ニ</sup>ハ）<sup>24</sup>坡<sup>ニ</sup>ニ、有<sup>ニ</sup>下<sup>ニ</sup>次<sup>ニ</sup>  
ニ<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>詩<sup>ニ</sup>上<sup>ニ</sup>、薛<sup>ニ</sup>一ガ勾ニ、次ク和勾ノ詩アルソ、○縫、<sup>ニ</sup>詩<sup>ニ</sup>  
<sup>シ</sup>羔<sup>ニ</sup>羊<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>皮<sup>ニ</sup>可<sup>ニ</sup>以<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>レ<sup>ニ</sup>裳<sup>ニ</sup>、毛詩ノ一ノマキナリ、羔羊ノ詩ハ、  
女人ノ功ヲ、ホメタソ、召公ノヲサメタ南方ノ国、文王ノマ  
ツリコトニ、ウルヲウテ、ソノ風<sup>ニ</sup>ニナツタソ、<sup>カウノ</sup>羔<sup>ニ</sup>羊<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、<sup>ヌイメアリ</sup>

素絲シロキヲモツアイツタヒ 五スフ 縫、此詩ノコトバナリ、小ヲ羔ト云イ、大ヲ羊

ト云ソ、大小ノ羊ノ皮ヲ、ヌウテ、裘ニシタソ、ヌウタヌイ  
メアルソ、白イイトテ、五トコロヌウタソ、裘モ、ホドライ  
ニタチテ、ヌイ所モ、五所アルヘイヤウニシタテタソ、礼義

法度ハツトノ、アルベイヤウナヲ云タソ、縫ノ字、ヌウ時ハ、平、  
ヌイメノ時ハ、仄ソ、150ウ「サレドモ、平ニモナルソ、ヒ弥

縫、150ウ「ハ、ヌイアワセタ心ソ、弥ハ、ワタルトヨムソ、ヌ  
イワタイタ心ソ、ヌイツ、ケタニモスルソ、トチカマヅケタ  
ソ、伍承ハ、人ノ名カ、不詳ソ、左可ス考ソ、輔ス贊ス一、

此ハ輔一ハ、ドレモタスクルナリ、弥一モ、ヤブレトケ  
ホロヒタヲ、ヌイ合（ホコロヒタカ）スル心ソ、唐ノ房元（玄心） 齡杜如晦二人、宰

相ニナツテ、天子ノ政ヲ、タスケヲキヌウタ心ソ、唐書ノ房

杜贊ニカイトソ、（ハ）布可レ縫、一尺（尚）一、此ハ、

前ニ春ノ所ニアツタソ、淮南王ノ子、兄弟二人アリ、中ノワ  
ルイニ、云タソ、

（シ）無（二）縫（一）、暗蛩有虚織、短線（クウ）一、（孟郊）詩ナリ、  
虫ノ声カ、（151オ）「ハタヲフルニ似タソ、ヲリタイタ者ハ、ナイ

ソ、虚（ムナシク）織ト云タソ、イトモ、本ノイトテハナイソ、音ワイ  
トニ、シタソ、本ノイトノ如ニ、長ハナイソ、短ソ、長ウヌ  
ワウスヤウナイソ、面白イ句ナリ、（タテニ）冠縮縫、古者一

一今也（ハ）衡（ヨコニ）縫、（記檀弓）昔上代ハ、冠ヲシ、メテ、トリヨセテ、

コマカニヌウタソ、今ハ、ヨコニヌウソ、衡ハ、横ナリ、ヨ  
コノ心ナリ、縮ハ、縦タテナリ、縦ノ心ソ、衡ハ、横ノ音ナ

リ、謂（モ）喪一喪ニ、キル服ヲヨコニヌウソ、ツネノニカエタ

ソ、辟（ヘキ）積多也、辟ハ、襪ノ心ソ、タ、ミカサネタヲ、襪積ト

云ナリ、礼ノ檀ヲミルニ、ミアタラヌソ、可（ス）考、

「（151ウ）〇峰、（カ）孤峰、富嘉謨文如（ホ）一絶壁（一）、富一カ文ヲ

### 張説

徐堅ノ二人評メ、云タソ、高イ山ノミネノ、秀タ如ナソ、類

ヲ絶シタ心ソ、カベノキツタテタ如ナソ、唐ノ時ノ者ナリ、

北京三（ケツ）傑ノ中ナリ、又僧一獨宿、詳レ宿僧家ハ、見一性メ、

印可ヲトツテ、ヒマアイテ、山居メ、五年十年得タ所ヲ、修

シテ、聖胎ヲ、長養スルソ、サウメノチニ、人間エ、テ、

市マチニ入テモ、説（一）法度一生スルソ、

へ雲峰、夏一多<sup>シ</sup>奇一<sup>ニ</sup>陶<sup>カ</sup>力、四時ノ詩ソ、夏ノ雲ハ、ミネノ  
 劍ヲタテタ如ニ、スルドニ、色々ノナリ多ソ、へ肩峰、一  
 聳<sup>ソヒエテ</sup>三<sup>一</sup>「秀<sup>152オ</sup>、両ノ肩ソヒエ秀テ、中ノカウベトデ、三山  
 ソ、**后山**陳一<sup>一</sup>カ詩ナリへ両峰、未<sup>メ</sup>遣<sup>下ニ</sup>一<sup>一</sup>燈<sup>上</sup>、シワ  
 メシメハ、眉ヲ云タソ、キニアワヌ<sup>一</sup>ニハ、マイヲシワムル  
 ソ、**坡**カ句ソ、へ芙蓉峰、衡山五峰、一<sup>一</sup>、紫蓋、天<sup>一</sup>柱、  
 石廩<sup>リシ</sup>、祝融<sup>ナリ</sup>也、芙蓉一<sup>一</sup>最<sup>モ</sup>為<sup>セウケツナリ</sup>竦<sup>レハ</sup>傑<sup>ニ</sup>、非<sup>レ</sup>晴<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>見<sup>ヘ</sup>、唐ニ  
 トツテヲイタ高イ、山アリ、東西南北中ニ、五山アリ、衡山  
 ハ、南方ノ高山ソ、へ蓮華峰、華山頂上有<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>、華山  
 ハ西方ノ高山ナリ、へ天柱峰、唐咸通間中<sup>ノ</sup>秋<sup>ノ</sup>苦<sup>ノ</sup>雨趙知微  
 領<sup>メ</sup>客登<sup>ヲテ</sup>一<sup>一</sup>一<sup>一</sup>翫<sup>ニ</sup>月<sup>モテアソフ</sup>、唐ノ時咸一<sup>一</sup>ノ年号ノアイタノ<sup>ヲ</sup>  
 ナリ、中秋ノ<sup>152ウ</sup>夜、雨カフツタニ、苦<sup>ク</sup>テ、月ガナイホトニ、  
 趙一<sup>一</sup>カ、ヲウゼイ客人ヲイサナウテ、天柱<sup>上</sup>エテ、月ヲミ  
 タソ、月色如<sup>シ</sup>昼<sup>ノ</sup>、山頂<sup>一</sup>エ、上タレハ、月サエテ、ヒルノ如  
 ニ明ナソ、富士ノ上テハ、浮雲雷ナトハ、下ニアルソ、ソノ  
 如ク、雲ハ下ニアルソ、へ九疑峰、輕言<sup>タクス</sup>托<sup>ニ</sup>朋友<sup>ニ</sup>、対面一<sup>一</sup>  
 一<sup>一</sup>李<sup>一</sup>白詩ナリ、マコトニ、ナイ、サツト云テ、友ノ交ヲヤ

クソクシタワ、タイメンメ、イカニ、ハルカニト、ロデ云へ  
 トモ、九一<sup>一</sup>ヲ、ヘタテタト同ソ、山ノミネガ、同ヤウナガ、  
 九アリ、ド<sup>(漏点生)</sup>レヤラト、ウタカワシイニヨツテ、云タソ、  
 へ木三峰、中峰魁<sup>クワイ</sup>岸路<sup>(路か)</sup>一<sup>一</sup>肆意氣端重、若<sup>レ</sup>有<sup>三</sup>以服<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>  
 其<sup>ノ</sup>旁<sup>カタワラ</sup>之<sup>一</sup>二峰<sup>一</sup>、盆山ニ、木ヲツケテ、大ニ高ウナツタソ、  
 中ノガ、ヌケテ、ウスクマリ、ホシイマ、ニ、リウンシタ  
 ナリソ、氣ガイタ、シウジチメニ、ヲモくトシタソ、ワキ  
 ノ二ノ山ヲ、シタカエテ、吾下知ニシタカワシメタ、テイカ  
 アルソ、**老泉木仮山記**老泉ハ、東坡ガヲヤ、仮山<sup>カ</sup>ト云ハ、盆  
 山ノ<sup>一</sup>ツソ、本ノ山テハナイソ、ニセモノナリ、仮<sup>カ</sup>ハカリノ心  
 ソ、盆ヤハチニ、土ヲヲイテ、木ヲウエテ、木ヲ山ノヤウニ、  
 ツクリナイタソ、へ石九峰、李正臣異石<sup>ノ</sup>一<sup>一</sup>、坡名<sup>ク</sup>壺<sup>ナルアリ</sup>  
 中九華<sup>ト</sup>一<sup>一</sup>、李一<sup>一</sup>カ、奇異ナ石ヲ、モツタソ、山ノミネノナラウ  
 デ、九アルヤウナソ、<sup>153ウ</sup>坡カミテ、壺中ノ九華ト名ヲ付タ  
 ソ、峰カ、九華山ガ九ト云心カ、李白山ノ九ノミネノアルヲ、  
 九峰ト名タソ、ソノ心テ、九華ト坡モ付タソ、へ頭<sup>ヘ</sup>如<sup>レ</sup>峰、  
 花奴擊<sup>ニ</sup>羯鼓<sup>ヲ</sup>一<sup>一</sup>呀硝帽上簪<sup>ニメ</sup>花<sup>ヲ</sup>不<sup>レ</sup>墜<sup>ヲチ</sup>、花一<sup>一</sup>ハ、汝陽王璣力忘

レ之、玄宗カツクヲ打ソ、呀ーハ、帽ノカドタチニ、高ソ、  
 ヒエタナリカ、帽ニ花ヲサイテ、カンサシニ、シタガ、ヲチ  
 スソ、宋璟ガ此ヲミテ、云タソ、<sup>ハク</sup>「<sup>ノ</sup>青山<sup>ノ</sup>」、<sup>ハ</sup>手、如<sup>シ</sup>急  
 雨点<sup>ノ</sup>一ト、カシラハ、アヲ山ノ、ミネノソヒエタ如ナソ、手  
 テ、カツコヲ打タ声ハ、バラ／＼ト、タ<sup>ダチ</sup>立、ニワカ雨ノフル  
 フトノヤウナソ、**羯鼓**ト<sup>154オ</sup>「云書ヨリ、ソレニシタソ、宋  
 璟ハ、宰相ニナツタソ、<sup>テ</sup>落<sup>ニ</sup>厂峰、李白登<sup>ニ</sup>華山<sup>ノ</sup>」曰  
 恨不下携<sup>カ</sup>謝眺<sup>ハ</sup>驚<sup>ス</sup>人詩<sup>ヲ</sup>一來上、李白力華山ノ落<sup>ノ</sup>一ニ上<sup>ノ</sup>テ、  
 云タソ、イコンガアルソ、晋ノ謝<sup>カ</sup>人ヲ驚<sup>ス</sup>詩ヲ、モツテ、  
 コヌ／＼ヨ、コノ山デ、吟メアソハウス者ヲソ、謝<sup>カ</sup>力華山ノ  
 メイヨノ詩ガ、アルカソ、サナクハ、カウハ云マイソ、搔<sup>カイテ</sup>  
 首<sup>ヘ</sup>問<sup>フ</sup>青<sup>ニ</sup>天<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>尔、タ、コウクワイメ、カウヘヲカITE、此<sup>ノ</sup>ト  
 ヲ、天ニ問タマテソ、<sup>ニ</sup>丈人峰、泰山有<sup>ニ</sup>一<sup>ノ</sup>因<sup>テ</sup>呼<sup>メ</sup>妻  
 父<sup>ヲ</sup>為<sup>ス</sup>嶽<sup>ト</sup>丈<sup>ト</sup>、太山ノ中ニ、丈<sup>ノ</sup>一ト云カアルソ、ソレニヨ  
 ツテ、吾女房ノヲヤヲ、岳丈ト云ソ、山ハ高<sup>154ウ</sup>「ヲタツトフ  
 心ソ、丈人モ、タツトフ称ナリ、<sup>12</sup>峰ハ、巫山ニアル  
 ソ、大巫山小巫山カアルソ、<sup>15</sup>五老峰、廬山ニアリ、五臺

山亦<sup>モ</sup>一峰秀<sup>ス</sup>出、詳<sup>ス</sup>臺々ノ所ニテ、シルスヘシ、<sup>15</sup>回<sup>ル</sup>厂峰、  
 在<sup>リ</sup>衡州<sup>ニ</sup>一<sup>ノ</sup>至<sup>リ</sup>此<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>過<sup>キ</sup>遇<sup>テ</sup>春<sup>ニ</sup>而<sup>ル</sup>、**郡志**衡州ハ南方ナリ、衡  
 陽トモ云ソ、回<sup>カ</sup>厂<sup>エ</sup>心<sup>ヲ</sup>ソ、厂ヲ、ヲツカエス心ソ、帰<sup>ル</sup>厂ノ心  
 テ、回<sup>ル</sup>厂ノ心モアリ、ドチモソ、<sup>15</sup>江<sup>ノ</sup>上峰、唐<sup>ノ</sup>起夢中  
 得<sup>レ</sup>句<sup>ヲ</sup>曲終<sup>ニ</sup>人<sup>ミ</sup>不<sup>レ</sup>見<sup>エ</sup>一<sup>ノ</sup>数<sup>シ</sup>青<sup>ハ</sup>、<sup>15</sup>錢<sup>ノ</sup>字ヲ、コレヤウ  
 ニモ、カクソ、琴瑟ヲ弾メ、曲ヲウタウ声ハシタガ、コトラ  
 ヒキウタウソ、人<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>体<sup>ハ</sup>、ミエヌソ、水辺ナリ、江ノア  
 タリノ、山ノ、アヲ／＼トシタカ、多ソ、モノスゴイ氣色ナ  
 リ、此ハ、<sup>15</sup>起<sup>ル</sup>ガ田舎カラ、進士ノ人众ニ、サ、レテ、京エ  
 ノボツテ、寺ニヤドヲカリテ、進士ノ時節ヲマチテ、イタソ、  
 夜庭ヲ行<sup>リ</sup>道メアルニ、空<sup>ノ</sup>中ニ、此一聯ノ句ヲ、トナエタソ、  
 亦カ、奇特ニ思テ、ヲボエテ、イタソ、進士ニ、アガツタワ、  
 ソノ日ノ題ニ、湘<sup>レイクスル</sup>鼓<sup>イヲ</sup>瑟<sup>ト</sup>云カ、デタソ、亦カ賦ヲカITA  
 ソ、此句ヲ、者カ、誦タヲ、思<sup>ル</sup>出メ、ソノトメハノ句ニ、此  
 二句ヲ、カITAヲ、妙ナソ、題ニソウタ、妙ナ句ソ、文章  
 ノ神カ告テ、助成シタソ、詩文ニ、神<sup>ノ</sup>助ト<sup>155ウ</sup>「云<sup>フ</sup>アルソ、  
<sup>15</sup>紫駝峰、<sup>15</sup>之<sup>ノ</sup>出<sup>ス</sup>翠<sup>フヲ</sup>金<sup>ニ</sup>、**杜**句、駝ハ、佗トモ、ナイ

タソ、物ヲ、負<sup>ヲイ</sup>荷<sup>ニナウ</sup>ヲ云タソ、橐<sup>タク</sup>佗<sup>ダ</sup>ト、史記ニアルソ、此ノ  
 駝<sup>タク</sup>ノ<sup>レイセウ</sup>ナリ、漢ノ百官志ニ牧橐<sup>タク</sup>ノ令丞ト云アリ、牧ハ、ヤシ  
 ナウ心ソ、橐駝ヲ、カイヤ<sup>(朱)</sup>「シ」ナウ官ナリ、駝ノセナカ、  
 肉カ、デハ、峰ノヤウナソ、駝ノ糞ヲ、ヤケバ、烟ガマツス  
 グニ、高アカルソ、狼ノ糞ノ、烟ノ如ナソ、烽火ヲ、アグル  
 ニハ、狼糞ヲ、タクソ、スグニ、高ウ、烟ガアカルソ、トラ  
 ウ人ニ、シラセウソ、ノロシヲ狼烟トモ、狼燧<sup>スイ</sup>トモ云ソ、  
 駝背<sup>モ</sup>錦模<sup>25</sup>糊<sup>コ</sup>ト、杜力作ソ、錦ノカザリノ、鞍ノ如ナソ、ボ  
 コハ、マンノ<sup>156オ</sup>ト、ドコモ「一ツナ<sup>156オ</sup>ソ、  
 駝<sup>ハ</sup>ノ、セナカ、肉ガ、紫<sup>カ</sup>駝ハ、馬ノ毛ノ色ナリ、釜ワ、峰ノ  
 ナリカ、釜<sup>カマ</sup>ノ如ナカ、カマヲウツフセタ、ヤウナカ、<sup>ハ</sup>妙  
 高峰、毘盧海上<sup>ハ</sup>、**坡**句ナリ、毘<sup>ハ</sup>ハ、華嚴会ナリ、  
 花嚴ノ世界ヲ、ビル蔵海ト云タソ、海ハ、タトエニ云タソ、  
 海ハ、一切ノ物ヲ、ノミヲサメテ、淨穢ヲエラハヌソ、妙高  
 峰ハ、徳雲比丘ノイタ山ソ、妙峰頂ト云タソ、碧岩ニモ妙峰

孤頂草離々ト、雪寶<sup>テウ</sup>ノ頌ニ作ラレタソ、文殊師利<sup>ノ</sup>言南方有<sup>ニ</sup>国<sup>リ</sup>  
 名<sup>ク</sup>二勝<sup>ラクト</sup>樂<sup>ト</sup>一、山名<sup>ヲク</sup>ニ<sup>ト</sup>、此ノ峰ヲ、文殊ノトケタソ、南  
 方ニ国アリ、勝樂国ト云ソ、ソノ国ニ、山アリ、<sup>156ウ</sup>「妙高」  
 ト云ソ、花ムノ世界ニ、百十ノ城アリ、一百十城ト云ナリ、  
 又ハ、百城トモ云タソ、百ノ数モ、アテヲアリ、ソノ城中ニ、  
 五十三人ノ、善知識アリ、善財童子カ、知識ニアウテ、一々  
 ニ、仏法ヲ問タソ、一番ニ、文殊一ノハテニ、弥勒五十三人  
 ニ、参シタソ、此ヲ、五十五人トモ云タソ、文殊ト、弥勒ト  
 ニハ、二度参シタソ、ソレヲ、カスユレハ、五十五ナリ、花  
 ム経ニ一々アルソ、<sup>ニ</sup>頂<sup>ス</sup>出<sup>ヲ</sup>ニ<sup>ニ</sup>五<sup>ニ</sup>峰<sup>ヲ</sup>一、神光頭<sup>イタム</sup>痛<sup>サスカ</sup>如<sup>ニ</sup>刺<sup>ニ</sup>空中<sup>ニ</sup>  
 云<sup>クレ</sup>此<sup>チカエン</sup>乃<sup>ヲ</sup>換<sup>ス</sup>骨<sup>ノ</sup>師<sup>ヲ</sup>視<sup>シ</sup>其<sup>スルカ</sup>一<sup>一</sup>如<sup>一</sup>二<sup>一</sup>五<sup>一</sup>峰<sup>一</sup>秀<sup>一</sup>出<sup>一</sup>一、神光ハ二祖ナ  
 リ、ウマレタ時、光<sup>157オ</sup>力室中ヲ、テライタソ、サテ、神光ト云  
 ソ、カウヘカ、イタミカア「<sup>157オ</sup>リ、サシツクヤウニ、イタウ、  
 アツタソ、虚空ニ、者ガ云タソ、此ノイタミハ、頂ノ骨ヲ、  
 トリカユルホトニ、ト云タソ、人身ノ、凡夫ノ骨ヲ、トリカ

<sup>25</sup> 国会本・叡山本の振り仮名は漢音で「ボ」である。この直後に「模糊」が「ボコ」と仮名書き表記されており、原本の振り仮名と語形とが一致しないこととなる。

俗曰、王臺生子其中、或三或五、歲分其族而去、山魃患其分也、以棘刺関於王臺、則子尽死、**王元之**とある

方ノ国ニ、三<sub>一</sub>監ト云テ、三人殷ノ子孫ヲ、国ノカバミノ為ニ、  
 ヲカレタレハ、ソレカ乱ヲヲコイテ、方々ミタレサワガシウ  
 ナルホトニ、成王ノ周公ヲヨヒカヤサレタソ、三<sub>一</sub>度メニ、西  
 ノ周エ帰ラレテ、兵ヲソロエテ、管叔及三監ヲ、打ホロホイ  
 テ、太平ニナサレタソ、ソノヲ作タ詩ナリ、成王ノ讒言ヲ  
 信メ、身ヲサシツクヤウナソ、ソレヲミナカヒキサハルソ、  
 サシツク、辛苦ニ、成王ノコリハテ、賢人ノ臣カ、吾ヲタ  
 スケイカシト思イ、求ラル、ハカリソ、小毖ノ詩ノハシメノ  
 句ハ、此ノ心ヂヤケナソ、<sup>159オ</sup>「<sub>ハナリ</sub>拜使也、シムル心ソ、蜂不可  
 使而使之是自求其毒也、蜂ハ、ツカイ身ヲサ、セウスヲテハ  
 ナイヲ、今カウアルワ、吾ト吾カ身ノ、毒ヲ、モトメタ者也、  
 人ノシタヲテハナイソ、讒言ハ、蜂ナリ、ザンヲ吾カ信メ、  
 吾カ身ヲサスソ、<sub>ハナリ</sub>「稚蜂、純雌其名<sub>ハナリ</sub>、**列天瑞**ノ篇  
 ニアリ、――趨衙供蜜課<sub>ハナリ</sub>谷ガ演雅ノ句ナリ、衙ハ、守護所ナ  
 リ、コ、デ、色々ノ公事ヲキイテ、沙汰スルソ、蜂ニモ、王  
 ト、臣ガ、アリテ、早衙晚衙ト云テ、一日ノ中、二度アツマ  
 ツテ、政ヲ行ト云ソ、稚――ハ、ヲサナイ小児ノ心モアリ、又

ハ、イヤシイ心モアリ、ソレラ<sup>159ウ</sup>「カ、守護所エイソイテ、  
 蜜ヲトリモツテ、キテ、蜂王ニ、供スルソ、課ハ、コ、ノ式  
 条ナドニハ、課<sub>ハナリ</sub>トヨムソ、云イツクル心ソ、ソレヲチカエ  
 ズ、ツトムルヲ云ソ、コ、ラニモ、公事課<sub>ハナリ</sub>役ト云ソ、上カラ、  
 シタ<sub>ハナリ</sub>ナ者ニ、ナニテマリ、云<sub>ハナリ</sub>付テ、サセラル、ヲヲ、課  
 役ト云ソ、供蜜課モ、ソノ心ソ、衙ハ、行<sub>ハナリ</sub>ノ心ソ、行列ノ心  
 立ナラウテ、次第ノアルヲ云ソ、天子ノリアル所ヲ云ソ、  
 天子ノアリカシムヲ、駕ト云ソ、車ニノツテ、出ラル、ホト  
 ニソ、軍陣、タ立ヲ、衙ト云ソ、牙ト、衙ト、音同ホトニ、  
 一ツニ心エタソ、牙ハ、次第ノ心ソ、牙齒ハ、次第メアルソ、  
 軍陣モ、次第カアルソ、<sup>160オ</sup>「行<sub>ハナリ</sub>伍ト云ソ、五人ツ、ヤ、十  
 人ツ、ヤ、众カソロウテ、ムサトハナイソ、ソレニヨツテ、  
 行<sub>ハナリ</sub>伍ト云ソ、行ハ、行<sub>ハナリ</sub>デハナイソ、ツラヲナス心ソ、<sub>ハナリ</sub>「<sub>ハナリ</sub>仰  
 蜂、――粘<sub>ハナリ</sub>落絮<sub>ハナリ</sub>杜<sub>ハナリ</sub>春ノクレ、柳ノ花ノ、ハウコカ、トビ  
 ヲツルニ、蜂カウツフキ、アヲノイテ、トヒマワリテ、絮ニ  
 トリツケラレタソ、粘ハ、トリツイタソ、<sub>ハナリ</sub>「荷蜂、<sub>ハナリ</sub>只有<sub>ハナリ</sub>  
 ニ――不<sub>ハナリ</sub>愁<sub>ハナリ</sub>雨<sub>ハナリ</sub>蠟<sub>ハナリ</sub>房<sub>ハナリ</sub>仰<sub>ハナリ</sub>臥<sub>ハナリ</sub>万花枝、**坡荷葉**ニ、<sub>ハナリ</sub>「スヲシタ蜂

ナリ、荷葉ノカゲニ、スヲカケタホトニ、雨カフレトモ、モ  
リヌルハ、ワビコハナイソ、ハチスニモ、ハチノスノ如ニ、  
房々アナカ、アイテ、ウソ／＼トアルソ、蓮房ヨウ似タソ、  
多イ蓮ノ花160ウ「ノ房ニ、フメイタソ、言ニ蓮一実ニ、此ハ、蓮  
ノ実ヲ作タ詩ナリ、ハ細腰蜂、名ニク蠋クワ、エイ蒲盧エイト蠋一、三ハ  
トレモ蜂ノ名ナリ、蠋ハ、字書ニミエヌソ、蠋ハ、玉篇ニ小  
ナ蜂トアリ、音拽翁所負不但蜾蜭（翁カ）、産一卵於上卵化成形漸  
食所負之虫飛声似リ云ニ類一我セヨタレタニ、所負ハ、別ノ虫ヲ、  
ツレテクルソ、ヲウテコソ、キツラウソ、トテクル虫ハ、メ  
イレイマテ、モナイソ、産一卵一、上ノ字ハ、土テアラウソ、  
穴中ニ、虫ヲ祝スルホトニソ、ソノ卵ノ虫力化メ、物ノ形ニ  
ナルソ、ソノ虫ノ飛フ声カ、ルイカ／＼ト云ニ、似タソ、コ、  
ラニ、似我ハチト云ゾ、此虫ヲ、唐ノ一書ニ、似我トシタ  
ヲバ、アルヤラ、ヲホエヌソ、即説呪曰類我々々ト、云句、  
衆ニアリ、ハ吐飯成蜂、葛仙翁対客一ニ一ト或集ム客身  
良久仙翁張シレ口蜂レ飛入テレ口成ニレ飯食ス之、葛公客人ノキタニ、  
対面メ、クウタ飯ヲ、ハキタイテ、蜂トナツタソ、又アルト



ウトテ、衣ヲヒキヨセタト云タソ、ヲヤノ吉甫ノミテ、フシ  
 シンシタソ、伯奇カザンゲンヲ、カウムツテハ、ハル、コアル  
 マイト、思テ、自害シタソ、去毒ハ、伯奇ガ、蜂ヲトツテ、  
 ステウトシタソ、繫レハ、マ、母カ、ワザトシタソ、  
 ○鋒、秦<sup>ス</sup>消<sup>ス</sup>ニ<sup>ス</sup>鐔<sup>ヲ</sup>ハ、始皇ノ天下ノ者ヲ、ヨウセウドテ、  
 太刀<sup>ノ</sup>刀<sup>ノ</sup>ルイヲ、ケシテ、金人<sup>ノ</sup>像ニイタソ、古文真宝  
 ニアリ、過秦論ニカイタソ、<sup>162ウ</sup>「筆鋒、五<sup>〇</sup>車」摧<sup>一</sup>、<sup>選</sup>  
 ニアリ、儒者ハ、五車<sup>ノ</sup>書ヲヨミ破テ、筆ノサキノ、ツブル  
 ホトニ、文章ヲ、カキタ<sup>162ウ</sup>「スソ、鋒ハ、史漢デハ、タ、サ  
 キトヨムソ、摧ハ、ツブルソ、用<sup>コ</sup>レ<sup>ヲ</sup>如<sup>シ</sup>三<sup>ニ</sup>か<sup>シ</sup>印<sup>シ</sup>泥<sup>ニ</sup>画<sup>スル</sup>」  
<sup>トフ</sup>沙貴<sup>レ</sup>藏<sup>ヲ</sup>、此ハ、字ヲカクコヲ云タソ、筆ヲタテ、カ  
 クコ、ヤワラカナ、泥ニ、印ヲツキ、沙ニエヲカキ、物ノナ  
 リヲ、カクヤウニ、セヨソ、筆ノ力ヲ、ツヨウ、アラスルコ  
 ソ、<sup>（詠み）</sup>書記<sup>一</sup>字ヲカク法ヲ、シルイタ書ノ、名ナリ、<sup>（詞鋒）</sup>  
 ー景<sup>クワシ</sup>煥<sup>（詠み）</sup>潘岳<sup>（詞鋒）</sup>詞ニ、ホコサキハナイソ、イキヲイヲ、鋒ニタ

トエテ云ソ、潘岳カ、文ヲホメタコ、煥ハ、カ、ヤクソ、景  
 モカ、ヤク心ソ、<sup>（詞鋒）</sup>摧<sup>レ</sup>鋒ハ、上ニ五車摧<sup>二</sup>筆<sup>一</sup>ト、アツ  
 タソ、<sup>（詞鋒）</sup>藏<sup>レ</sup>鋒、モ同<sup>レ</sup>上、<sup>（詞鋒）</sup>上ニアツタソ、<sup>（詞鋒）</sup>争<sup>レ</sup>鋒、  
<sup>163オ</sup>周<sup>（詞鋒）</sup>臣<sup>（詞鋒）</sup>夫<sup>（詞鋒）</sup>前漢ノ文帝ノ臣ナリ、細柳營ノ<sup>（詞鋒）</sup>將軍ト、イワレタ  
 者ナリ、周勃<sup>（詞鋒）</sup>力子ナリ、勃<sup>（詞鋒）</sup>ハスムソ、<sup>（詞鋒）</sup>姦<sup>（詞鋒）</sup>鋒、<sup>（詞鋒）</sup>屢<sup>（詞鋒）</sup>折<sup>（詞鋒）</sup>ニ  
 ー、<sup>（詞鋒）</sup>桓帝<sup>（詞鋒）</sup>贊<sup>（詞鋒）</sup>屢ハ、シゲイソ、度々ニ、ワイテノ心ソ、姦  
 ハ、カダマシイソ、虚誕<sup>（詞鋒）</sup>カ<sup>（詞鋒）</sup>ン曲ナコヲ、マウスヲ、クジイ  
 テ、ステラレタソ、臣下ノ、私曲ヲ、カマエテ、物ヲ云、ホ  
 コサキ、打ヲツテ、ノケラレタソ、<sup>（詞鋒）</sup>先鋒、<sup>（詞鋒）</sup>薛仁貴<sup>（詞鋒）</sup>白衣<sup>（詞鋒）</sup>一  
 ー、白衣ト云ハ、マダ高<sup>（詞鋒）</sup>位ニ、アカラヌヲ云ソ、平僧ト、  
 云ヤウナソ、詳<sup>（詞鋒）</sup>衣、衣ノ所ニアリ、<sup>（詞鋒）</sup>追<sup>（詞鋒）</sup>鋒、<sup>（詞鋒）</sup>一車<sup>（詞鋒）</sup>  
<sup>（詞鋒）</sup>昼夜行<sup>（詞鋒）</sup>四百餘里、追<sup>（詞鋒）</sup>ハ、ヲツテ<sup>（詞鋒）</sup>「カケ」、ヲツカクル心  
 ソ、アトカラ、追<sup>（詞鋒）</sup>タ心ソ、晋<sup>（詞鋒）</sup>司馬望<sup>（詞鋒）</sup>性急<sup>（詞鋒）</sup>特<sup>（詞鋒）</sup>給<sup>（詞鋒）</sup>ニ<sup>（詞鋒）</sup>一車<sup>（詞鋒）</sup>、司  
<sup>（詞鋒）</sup>馬ノ<sup>（詞鋒）</sup>官<sup>（詞鋒）</sup>ノ望<sup>（詞鋒）</sup>ト云ハ、性ガイソカシウ、ヘンキウナ、ウマ  
 レツキナルホドニ、別メ、追<sup>（詞鋒）</sup>ノ、車ヲ、タマワリタソ、カ

<sup>28</sup>「追鋒」の、見出し語を含めた「追」計四ヶ所について、国会本は全て「進」、叡山本は最後の「追」以外「進」とするが、『韻府群玉』に従  
 い校訂は施さない。

ルウ、ミチノハヤイヤウニ、タクンダ車テ、アラウソ、

針鋒、離朱見<sup>ル</sup>千里<sup>ノ</sup>一<sup>ヲ</sup>、**莊子注**離<sup>ハ</sup>、離婁<sup>ル</sup>ガ<sup>ナリ</sup>、

目ノ明ナ者ナリ、千里サキノ<sup>ヲ</sup>、ハリノサキホドノ<sup>ヲ</sup>、

ミワケタソ、<sup>ガク</sup>嶮<sup>ノ</sup>鋒、齒<sup>ノ</sup>神<sup>ハ</sup>一<sup>ヲ</sup>字羅千、嶮ノ心ハ、齒ノ神

チャホトニ、嶮ハ、嶮ノ心カ、アギト、ヨムソ、ソレニタト

エル心カ、又嶮ト、嶮ト、カヨウカ、**黃庭經**ニ、五体ノ<sup>ヲ</sup>ア

リ、此書、ミワセヌソ、<sup>ヲ</sup>士<sup>ノ</sup>為<sup>レ</sup>鋒、諸侯之劍<sup>ハ</sup>以<sup>テ</sup>智勇<sup>ヲ</sup>一<sup>ヲ</sup>

一<sup>ヲ</sup>レ、詳<sup>レ</sup>鏢、此ハ、莊子ニ、説劍ノ<sup>164オ</sup>一篇アリ、色<sup>ハ</sup>々ノ

劍ヲ、云タソ、鏢ハ、ヤイバヂヤカ、<sup>フル</sup>触<sup>ニ</sup>矢<sup>ノ</sup>鋒<sup>ニ</sup>、紀昌学

射於飛衛<sup>29</sup> 尽衛術、謀殺衛相遇於野二人交射中路、矢鋒相一

而墜、二子泣而投弓、謀為父子、**列子**紀昌ト云者、弓ヲ飛衛

ニ習タソ、飛一カ三千ノ妙処ヲ、ナライツクイタソ、吾ガ、

師カアレハ、威カナイホトニ、飛一ヲ殺サント思テ、デタレ

ハ、ヒロイ野ナカデ、ユキワウテ、ソコデ、二人イコロサウ

トデ、<sup>（下テカ）</sup>イタレバ、中<sup>ハ</sup>デ、両方ノ矢ノ、サキト、サキト、チャ

ウド、イキヤウテ、中カラ、矢ガヲチタソ、ソコデ、二人ナ

イテ、弓ヲナゲステ、<sup>ケイ</sup>ヲヤ子<sup>ノ</sup>契<sup>ノ</sup>約ヲシタソ、<sup>30</sup>叢林<sup>164ウ</sup>一<sup>ヲ</sup>

箭<sup>ブ</sup>鋒相<sup>サウウ</sup>挂<sup>モトツク</sup>之義<sup>コ、ニ</sup>本<sup>レ</sup>此、今ソウリン<sup>ケ</sup>禪家ニ、箭<sup>ハ</sup>一<sup>ノ</sup>義

ヲ、用ハ、コ、カラノ<sup>ヲ</sup>ソ、師弟子、参学ノテダテ、チャウ

ト、イキヤウ、寸モチカワヌソ、<sup>（ヲカ）</sup>箭<sup>ハ</sup>一<sup>ト</sup>云ソ、<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>

<sup>アラワサ</sup>露<sup>レ</sup>鋒、僧問<sup>ニ</sup>大茅和尚<sup>ハ</sup>如何<sup>レ</sup>是大茅<sup>ノ</sup>境<sup>ク</sup>云<sup>レ</sup>不<sup>レ</sup>一<sup>ヲ</sup>、**伝**大茅

ハ山ノ名ソ、大茅山ニ、住セラレタソ、和尚ソ、ソレニ、僧

ガキテ、境ヲトウタソ、不<sup>ハ</sup>一<sup>ト</sup>コタエラレタソ、チツトモ、

アラワサヌホトニ、ミウスヤウモ、イタラウスヤウモ、アル

マイソ、<sup>サヘウ</sup>箭<sup>ハ</sup>鋒挂<sup>ニ</sup>、本行和尚示众云、事<sup>ハシタカウ</sup>從<sup>カシ</sup>二<sup>ハ</sup>函<sup>ノ</sup>蓋<sup>ノ</sup>合<sup>ニ</sup>

一<sup>ヲ</sup>、理<sup>ル</sup>因<sup>ニ</sup>一<sup>ノ</sup>一<sup>ニ</sup>、本<sup>ハ</sup>一<sup>ノ</sup>大众ニ、一句ヲ示メ、イワレタソ、

仏法ニ、事理ノニカアルソ、事<sup>165オ</sup>一<sup>ハ</sup>上ノ法門ハ、函<sup>ハ</sup>ハコ

ノ、ミトフタト、チャウド、合シタ位ソ、理<sup>ウ</sup>上ノ法門ハ、

両方ノ、ヤト、ヤトノ、サキカ、イキヤウテ、アイサ、エテ、

チツトモ、チカワヌ<sup>ヲ</sup>ソ、ドレモ、妙処不思議ノ、キヤウガ

<sup>29</sup> 国会本・叡山本ともに「術」とするが、『韻府群玉』当該箇所には「衛」とあるため、校訂は施さない。

<sup>30</sup> この箇所に、国会本は本行の側注として、叡山本は本行として、ともに「<sup>ハ</sup>箭鋒挂<sup>一</sup>」という見出し語を立てる。ただし『韻府群玉』では当該箇所「箭鋒挂」の立項は無いため、国会本・叡山本の立項は「不露鋒」の次の「箭鋒挂」への目移りによるものと思われる。

イゾ、若有人道得者<sup>31</sup>老僧分半院与汝同住、**伝**伝灯录ニアリ、  
 若箭<sup>シタ</sup>ノ下デ、一句ヲ云イウル人アラバ、老僧吾カ院ヲ、  
 半分ワケテ、マラセテ、吾モアイトモニ、住持シテ、イウス  
 ルナリ、**活**文、文章ノイキヲイヲ、ツルキノサキニ、タ  
 トエタソ、前ニアツタ、詞鋒ト同シ心ソ、<sup>フカ</sup>談モ、サウタ  
 ススル、快ナ勢ヲ云タソ、<sup>165ウ</sup>機ハ、人ノ心ソ、利ニ、リコ  
 シナ「<sup>165ウ</sup>ハ、劍ノサキノヤウナソ、<sup>カ、ル</sup>前ハ、マツサキ  
 「<sup>朱</sup>」云ソ、先陣ヲモ云ソ<sup>ニ</sup>嬰<sup>ニ</sup>其<sup>ノ</sup>一<sup>ニ</sup>、ソノツルキノサキニ、  
 カ、ツテ、ケガラシタ心ソ、<sup>ニラク</sup>淬<sup>ニ</sup>其<sup>ノ</sup>一<sup>ヲ</sup>ハ、劍ヲトグツソ、  
 ニラグト云ハ、水デ、劍ヲトクヲ云ソ、言鋒トモ云ソ、モノ  
 ヲ云コトバサキソ、○**烽**、<sup>レハ</sup>辺有<sup>イマシメアクル</sup>警<sup>ヲ</sup>、<sup>ス</sup>火也、<sup>ニ</sup>辺ト云ハ、  
<sup>サイ</sup>辺塞ト云ハ、エヒスノ国ト、ミヤコトノサカイメヲ云ソ、京  
 カラ外ヲハ、<sup>ス</sup>辺ト云ソ、**漢書**火、<sup>ニ</sup>通<sup>ニ</sup>甘泉<sup>ニ</sup>、<sup>ニ</sup>烽火力甘泉宮  
 マデ、トヲツタソ、胡国ノ千万里外ノ火テハ、アルマイソ、  
 甘泉ノ近所ニ、アゲタ火デ、アラウソ、<sup>ノ</sup>四烽<sup>ニ</sup>、<sup>ス</sup>隋法賊<sup>ハ</sup>少<sup>ハ</sup>  
<sup>テ</sup>举<sup>ヲ</sup>二<sup>ル</sup>烽<sup>キニハ</sup>一<sup>ニ</sup>来<sup>ニ</sup>多<sup>ニ</sup>、<sup>ニ</sup>举<sup>ヲ</sup>三<sup>ニ</sup>烽<sup>セマルニハ</sup>一<sup>ニ</sup>大<sup>ニ</sup>逼<sup>ヲ</sup>、<sup>166オ</sup>隋ノ世ノ「

ヲキテニ、テキノスクナイニハ、火ヲニアクルソ、来<sup>ル</sup>多<sup>キ</sup>ニ  
 ハ、マウゼイデ、テキノキタニハ、火ヲニアクルソ、<sup>ニ</sup>大<sup>ニ</sup>逼<sup>セマツタ</sup>  
 一、<sup>（チカド、カ）</sup>チガ<sup>一</sup>ト、トリツメタニハ、火ヲ四アクルソ、アイツ  
 ノ、約束ナリ、<sup>ス</sup>六烽<sup>ニ</sup>、王世充<sup>ニ</sup>營<sup>ム</sup>於<sup>ニ</sup>黑石<sup>ニ</sup>一<sup>ヲ</sup>、<sup>ニ</sup>李密<sup>ヲ</sup>於<sup>ニ</sup>月城<sup>ニ</sup>一<sup>ヲ</sup>  
<sup>ニ</sup>窟<sup>ニ</sup>密直<sup>タ、チヲシツテ</sup>、<sup>ニ</sup>越<sup>ニ</sup>黑石<sup>ニ</sup>一<sup>ヲ</sup>連<sup>テ</sup>拳<sup>ニ</sup>一<sup>ヲ</sup>乃<sup>チトク</sup>解<sup>カ</sup>圍<sup>ミヲ</sup>、王<sup>ヘ</sup>一<sup>ニ</sup>カ、  
 黑石ト云所ニ、<sup>エイ</sup>陣<sup>ス</sup>トツタソ、<sup>ニ</sup>營<sup>ニ</sup>トハ、陣ヲ、スエタツソ、李  
 一ヲ月一ト云城ヲ、トリマワイテ、セメタソ、李ガスクニ、  
 王カ陣ノ黑石エ、カケテ、火ヲ、六、タテタソ、テキノトリ  
 ツメタニ、火ヲタツル、<sup>ヤクソク</sup>ヤク<sup>ハ</sup>、<sup>ニ</sup>チヤホド<sup>ニ</sup>、火ヲミテ、スク  
 イノ合力コソ、アツ、ラウ、王カトリマワイテ、<sup>166ウ</sup>「セメタ  
 众ガ、バラリト、トケテ、テキガ、ノイタソ、隋書ノ李密カ  
 伝ニ、王世充ト、タ、カウタツアリ、黑石月城窟ノ「ハ、ミ  
 エヌソ、**本紀**ハ帝王ノ伝ソ、<sup>ハ</sup>火<sup>ハ</sup>烽<sup>ハ</sup>、<sup>ハ</sup>抱<sup>ハ</sup>関<sup>ハ</sup>望<sup>ハ</sup>ニ<sup>ヲ</sup>一<sup>ニ</sup>、**韓**  
 文ナリ、抱<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、門ヤクナリ、門マブリガ、バンゲイ、アガ  
 ル烽火、ミユルカト、思テ、ノゾンテ、ミタソ、<sup>ユ</sup>夕<sup>ヲ</sup>、<sup>ト</sup>日<sup>ノ</sup>烽<sup>ノ</sup>昼<sup>ノ</sup>

日<sup>スイト</sup>燧<sup>32</sup>ソ、<sup>レニアグ</sup>戲<sup>ヲ</sup>拳<sup>ノ</sup>烽、周<sup>ノ</sup>幽王<sup>ノ</sup>一<sup>レー</sup>以<sup>シム</sup>悦<sup>ヲ</sup>二<sup>ナリ</sup>褒姒<sup>一</sup>欲

ニ其<sup>ヲ</sup>笑<sup>一</sup>也、幽王ノ<sup>レ</sup>ジヤレ<sup>レ</sup>ニ、ホウ火<sup>ヲ</sup>、アゲラレタソ、后

ノホウジ、火ヲ笑ソ、ワラエハ、ウツクシイホドニ、此ヲミ

ウトテ、アゲラレタゾ、ソノ後ニ、犬戎ノエビスガ、ヲクノ

西カラ、ヲコツテ、幽王ノミヤコヲ、セメテ、難儀ナホドニ、

「<sup>167オ</sup>烽火<sup>（衍カ）</sup>ア<sup>ヲ</sup>アゲタレトモ、諸侯ノ、例ノ后ニ、笑セウド

テ、アグル火ト云テ、タスクスクウ<sup>ヲ</sup>モ、ナイソ、<sup>活</sup>塞<sup>一</sup>、

辺塞ノ火ナリ、塞ノ<sup>ヲ</sup>前ニアツタソ、<sup>（ハ）</sup>狼<sup>一</sup>前ニアツタソ、

狼ノ<sup>ヲ</sup>糞<sup>ヲ</sup>タクソ、<sup>（ホウ）</sup>丰<sup>一</sup>、美也、カヲヨシトヨムソ、ツネニ

ハ、ハウトヨメルソ、江ノ勻テハ、ハウトヨマウソ、毛詩ノ

四ノ、<sup>（ホウ）</sup>丰<sup>一</sup>篇ニアリ、此ノ詩ハ、淫乱ヲシツタソ、鄭ノ国

ノ者ドモ、<sup>（イン）</sup>ラン<sup>一</sup>ニメ、女ヲメトリムカユルニ、礼儀ハウ

ヤウアルソ、ソレモナク、ミタリニ、ミチノハタ、木ノシタ

ナドデ、会合スル<sup>ヲ</sup>ヲ、ソシツタソ、子之<sup>（イガ）</sup>丰<sup>（ホウタル）</sup> 兮<sup>（マタスカ）</sup> 俟<sup>（ヲ）</sup> 我<sup>（チマタニ）</sup> 乎<sup>（巷）</sup> 巷

一<sup>（167ウ）</sup> 兮、子トハ、女ヲムカユル、ヲツトソ、カヲメン<sup>一</sup> メウ、

フツクラトメ、ミメヨイソ、俟<sup>（衍カ）</sup>一<sup>（ソ）</sup>、ノミメノヨイ人ガ、

吾ヲムカエウトテ、門ノソトエ、デ、マタレヌカソ、巷ト

ハ、ミチ、ミソ、ホリノ、<sup>（ヲ）</sup>テハ、ナイソ、吾力門ノソトラ

云ソ、門ノ戸ヨリ、ソトエ、テ、マツ<sup>（ホウナリ）</sup>ツソ、丰<sup>一</sup>、豊也、

ユタカニ、ユタ<sup>（ト）</sup>シタソ、カマスノヤウニ、カヲヤセハ、

セヌソ、豊満シタソ、色<sup>（白）</sup>ニ、フツクラト、シタツソ、

「<sup>（カ）</sup>昌<sup>（イタル）</sup>丰<sup>（スカ）</sup>、子之<sup>（ヲ）</sup>丰<sup>（ニ）</sup> 兮<sup>（カ）</sup> 俟<sup>（イタル）</sup> 我<sup>（スカ）</sup> 於<sup>（ヲ）</sup> 巷<sup>（一）</sup> 兮、<sup>（168オ）</sup> 我<sup>（ニ）</sup> 於<sup>（イタル）</sup> 堂<sup>（スナ）</sup> 兮、<sup>（詩）</sup> 詩

ノ丰ノ篇ニアリ、昌ハ、サカンニ、スコヤカナ、ワカイカタ

チソ、堂ニ、マタヌカトアリ、鄭玄ガ箋ノ心ハ、堂ノ字ハ、

振<sup>（33）</sup>トナイテ、ヨカラウソ、振ハ、門ノシキイナリ、上ノ句

ハ、<sup>（168オ）</sup>「門ノソトノ、巷テ、マツツソ、コ、ハ、門ノトシキ

ミノサイテ、マツツソ、振ノ字、勻会ニハ、ミエヌソ、手ヘ

ンニ、長ヲカイトハ、シキイトハ、アリサウモナイ字ナリ、

夾堤士女争<sup>（一）</sup>「<sup>（堤）</sup>堤ヲ西湖ニツイタ時ニ、男女見<sup>（物）</sup>メ、堤ヲ、

ハサンタ<sup>（ヲ）</sup>カ、昌丰ハ、士女ノ年ノワカイガ、サカリニ<sup>（多）</sup>心

32

33

『韻府群玉』当該箇所には「昼日燧、夜日烽也」とある。

鄭玄の注には「根」とあるが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも明確に手偏である。

ソ、**詩篇** ホウハソシル 刺 ヲ 乱也、淫乱ナヲ、ワルウ云タソ、鄭婚 テイ <sup>34</sup> 姻

道缺、鄭ノ国ハ、**コンイン** チカケタリ ハ、男女、メヲムカエ、ムコド

リ、ヨメトリノミチ、礼儀、**ハツトガ**、カケテ、ウセハテタ

ソ、**○榑** ホウ、木末也コズエナリ、

**○牟** ホウ、逆悟也、悟ハ、忤ト一ナリ、

「**○縦**、亦作 168ウ 從南北曰 セウト 衡 カウト <sup>35</sup>、南ヨリ、北

エヲ、縦ト云ソ、タテノ心ソ、東カラ、西エヲ、衡ト云ソ、

ヨコノ心ソ、**梅福伝** ツカサトル <sup>二大</sup> 国之 （六か）ノ、タテノ ツカサトル 力、蘇秦主

レ、蘇一ハ、六国ノ從ノ方ヲメ、トキアルイタソ、タテナ

リ、此時張儀ハ、秦ノ方ヲ、シタソ、衡ノ方、ヨコナリ、

從横ノ説ト云タソ、秦從張横トシタソ、横ハ、ワウトハ、

ヨマヌソ、横ハ、衡ノ心チャホトニ、カウトヨムソ、<sup>カウ</sup> へ

横從、一其

畝、**詩南山** 毛詩一部ニ、南山ノ篇四アリ、南山南山有臺節南

山信南山ナリ、コノ南山ハ、毛詩ノ四ノマキ、斉国風ノ中

ノ南山ナリ、此ノ南山ノ「詩ハ、斉ノ襄公ヲ、ソシツタソ、

鳥獸ノ行アツテ、畜生ノ、鳥ケタモノノ、心アツテ、吾力妹 イモウト

ヲ、犯ゼラレタソ、ソノ国ノ大夫カ、此ヤウナ、前代未聞ノ

コニアウテ、大夫モインタソ、南山ハ斉ニアル高高山ナリ、

斉ノ国ノ君ハ、尊ウゲンネントメ、山ノ如ナソ、ソノ山ニ、

キツネノ、ワルイ、イヤシイガ、アルソ、此ヲ、襄公ヤ妹ヲ

云タソ、魯ノ国ハ、平タトメ、ミチモスグナソ、ソコエ、斉

カラヨメリメ、キタソ、クズノクツナド、イヤシイ、デタチ

デ、ヲウセイ、ヒキツレテ、此女カ、魯エキタソ、人ガ、シ

タカイ、カシツクマイソ、**藝** ウユル <sup>一</sup> 之 ライ 何衡 カン <sup>二</sup> 從 タテサマニス 其 タテサマニス

畝一、アサヲハナントマイタソ、アサ畠ノ「<sup>169ウ</sup>ウネヲ、タテ

ニシ、ヨコニシタカ、アサクワハ、女ノモツハラニ、スルワ

ザナリ、ソノヤウナコヲハ、ツトメラルカ、ナニコニ、邪

淫ノ、ワルイコヲスルソ、<sup>カウ</sup> 合一從、<sup>カウ</sup> 一連横、**過秦論** 合

一連一ノコハ、賈誼力過一ニカイタソ、前ニモアツタソ、

34  
35  
『韻府群玉』当該箇所には「昏」とある。

『韻府群玉』には「亦作從、東西曰衡、南北曰一」とあり、四字が転倒する。

過<sup>トカスル</sup>レ秦ナリ、秦カ无道ヲスルヲトガメ、ソシツタ<sup>ヲ</sup>ナリ、

ハ山從<sup>ノタテ</sup>、朝見<sup>ニハミ</sup>ニ吳山横<sup>ノヨコシマナルヲ</sup> 二暮見<sup>ニハル</sup>ニ吳山<sup>タテサマナルヲ</sup> 二坡<sup>ニ</sup>吳ノ山ヲ、

アシタト、クレトニ、タテニミ、ヨコニ見タソ、山ノタテヨ

コヲ、見ソ、二ノ義ソ、ハ為<sup>メニ</sup>レ楚縦<sup>ノセウス</sup>、毛遂曰合従者<sup>ハニメ</sup>一<sup>ボウ</sup>レ

非<sup>ス</sup>レ為<sup>ニスルニ</sup>レ趙也、楚ト、趙ト、会合メ、牛ノ血ヲス、ツテ、

同<sup>メイ</sup>一盟スル時ニ、毛遂ガ、デカツタ者デ、十九人ニ、众<sup>メイ</sup>ヲスグ

ツテ、堂下ニナラベ<sup>170オ</sup>「ナライテ、毛ガ、デハ、定メノヤウ

ヲ云タソ、今日ノ会ノ、合従ヲ、チギリ定ル<sup>ヲ</sup>ハ、楚ノ為<sup>デ</sup>

コソアレ、趙ノ為<sup>デ</sup>ハナイズ、囊<sup>ニ</sup>一錐穎脱<sup>キリ</sup>ト云タソ、錐<sup>キリ</sup>フク

ロヲトヲルト云<sup>ツ</sup>ソ、キリヲフクロニ入タレハ、サキカ、ツ

キデハ、ミエタト云<sup>ツ</sup>ソ、吾ヲキリニメ、人ニスケタト、

マンメ、云タソ、囊<sup>ニ</sup>一錐已<sup>ニアラハル</sup>顯<sup>シ</sup> 至<sup>カクシ</sup>一宝難<sup>シ</sup>レ藏<sup>シ</sup>ト云、泉ノ句アリ、

谷句ニ、囊<sup>ニ</sup>中尚有<sup>ニ</sup>毛錐子<sup>ニ</sup>一ト作ソ、毛錐子ハ筆ノ名ナリ、毛

テ云ホトニソ、毛遂ガ<sup>ヲ</sup>ガ、ヲコリソ、月<sup>ハレ</sup>是毛錐烟<sup>ハレ</sup>是紙<sup>ニ</sup>為<sup>カ</sup>レ予

写作<sup>ス</sup>三百梅<sup>ノ</sup>図<sup>ト</sup>一ト、梅ノ詩ニ方秋崖ヤラ、作タソ、ハ両<sup>ハ</sup>々縦<sup>ハ</sup>、

三<sup>ハ</sup>々横<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>習<sup>ノ</sup>字<sup>ナリ</sup>也、上ノ羽ハ、タテノ点<sup>170ウ</sup>「ガニ、ヨコノ

点カ三ソ、習ト云字チャソ、詳<sup>レ</sup>習日本テ日吉山王ノ二字ヲ、

豎ノ三<sup>ニ</sup>点、横ノ一<sup>ニ</sup>点ト云タハ、山ノ字ナリ、横ノ三<sup>ニ</sup>点、豎

ノ一<sup>ニ</sup>点ト云タハ、王ノ字ナリ、景徐和尚江州エ、拈香ニ、御

下アリ、香語ノ中ニ、神ヲロシノ所ニ、山王ノニ、此<sup>ヲ</sup>ヲメ

サレタソ、某江州太守ノ請ニ、陞座ニ下テ、法語、神社ヲ、

挙ル所ニ、此<sup>ヲ</sup>ヲ作ス、ツイヲシテアツタソ、活<sup>ムスフ</sup>一<sup>ヲ</sup>締<sup>ムスフ</sup>レ、

合従ヲムスヒ約束スル<sup>ツ</sup>ソ、ハ定<sup>メ</sup>レーモ、合従ヲ定<sup>メ</sup>タ<sup>ツ</sup>ソ、

○蹤、選<sup>クツワツラク</sup>轡<sup>ニ</sup>驚<sup>ニ</sup>前<sup>ニ</sup>一、サキニ行ク馬ノヲトカ、人ノ行クヲ

トカニ、コチノ馬カ、ヲトロイタソ、轡ノヲトロクハ、馬ノ

ツソ、「<sup>170オ</sup>北山移文<sup>コイネカウ</sup>ニ希<sup>アトヲ</sup> 二<sup>ガウニ</sup>三輔豪<sup>ニ</sup>一、三輔ハ、西ノ雍

州ノウチニ、三輔ト云<sup>ツ</sup>アリ、ミヤコノ、長安ノ左ニ、扶<sup>ヨク</sup>翊

アリ、右ニ扶風アリ、中ニ、京兆アリ、此ハ、ミヤコヲ、タ

スケ、カキニナル、在所ナリ、馮翊<sup>フ</sup>トモカイタソ、馮モ、憑

モ、同ソ、タノムハ、タスクル心ソ、扶風ノ扶モ、タスクル

ナリ、サテ、三輔ト云ソ、輔ハ、タスクルナリ、ソコテ、<sup>(前カ)</sup>

ノ、カシラケンヘイヲ、トルヲ、豪ト云ソ、此ノ所ノ、イセ

イスル人ノ中ニモ、マシワツテ、イタ心ソ、ハ躡<sup>フム</sup>蹤<sup>ヲ</sup>、一<sup>フム</sup>

三皇之高<sup>ヲ</sup>一、楊<sup>フム</sup>雄<sup>ヲ</sup>楊子法言ニアルカ、三皇ハ、伏キ神ノウ黄

- 101 -

リメ、アソハレタ所、<sup>(前か)</sup>ノ名ナリ、面白名ソ、雉一ハ、ナニ

ヲ云タソ、草ノナリカ、フシン<sup>173オ</sup>「ナ字ソ、字ノ心、アリサ

ウナソ、雉媒ト云ワ、カキソ、カキガ、ナカタチニ、ナツタ

心カ、コレハスイナリ、ソレテモ、アルマイソ<sup>38</sup>、<sup>ハ</sup>蒙茸、

春色已<sup>ニ</sup>「**欧**春ノ色ヲ、一ト云ハ、モウくト、クモリテ、

打ヲ、ウタ心カ、心エヌソ、<sup>ハ</sup>蒙茸、風一葉乱<sup>ル</sup>ニ<sup>一</sup>「**坡**風

ノ、草ノ葉ヲ吹テ、狐裘ノ、モウゼウトシタヲ、吹キミタメタ<sup>(ママ)</sup>

如ナト云ソ、裘茸モ面白ソ、<sup>ハ</sup>鹿茸、<sup>一ニメ</sup>榲葉風微一養<sup>レ</sup>「**谷**

榲<sup>(解ひ)</sup>ハ、ナニタル木ヤラ、コ、ニモ、アルカ、此葉ヲ、トヂ

アツメテ、僧ハ、キルソ、<sup>(解ひ)</sup>納ト僧ヲ云タソ、鹿茸ハ、鹿

ノフクロヅノヲ云ソ、葉種ニモ、アルカ、<sup>(解ひ)</sup>榲ノ葉ノ生|スル

時分ニ、角ガ<sup>173ウ</sup>「<sup>ハ</sup>ツルカ、**活**<sup>ハ</sup>唾一ハ、エ心エヌソ、唾

レ<sup>ニ</sup>カ、又モノ、名カ、唾字フシンソ<sup>ハ</sup>草剪<sup>レ</sup>、草ノ、ムサ

くト、ハエタヲ、キリスク心カ、

○<sup>ケウ</sup>鼯、鼯一鬬ナリ、鬬ハ、魚ノアミナリ、○<sup>ホコノタグイ</sup>猊、矛属ナリ

○<sup>ケウ</sup>蛭、キリくストヨムソ、コ、ニハ、<sup>ノ</sup>獸名トシタソ、

<sup>キヨ</sup>「**駘**蛭<sup>韓詩</sup>、

低<sup>テイ</sup>頭<sup>ス</sup>拜<sup>ス</sup>ニ東野<sup>ヲ</sup>願<sup>ハン</sup>得<sup>三</sup>終<sup>始</sup>如<sup>一</sup>ニ<sup>一</sup>韓力孟郊ト交ラムスン

デ、雲トナリ、龍トナツテ、ハナレヌヤウニト、ネガウタソ、

又此、蛭々トナリタイト云ソ、カウベヲタレテ、東野ヲ拜ソ、

東野ハ孟郊ガソ、ハシメ、ヲワリ、此ノ獸ニ、ナリタイソ、

蛭々駘<sup>キヨ</sup>一驢<sup>ハ</sup>北方<sup>ノ</sup>二獸<sup>ナリ</sup>又有<sup>レ</sup>獸<sup>一</sup><sup>174オ</sup>「<sup>ハ</sup>名<sup>ハ</sup>蟹<sup>得</sup>ニ甘草<sup>ヲ</sup>必齧<sup>以</sup>遺<sup>ニ</sup>

二<sup>ニ</sup>獸<sup>一</sup>見<sup>テ</sup>人<sup>ノ</sup>来<sup>ヲ</sup>負<sup>ヲ</sup>レ<sup>ハ</sup>蟹<sup>以</sup>走<sup>レ</sup>蟹<sup>返</sup>足<sup>於</sup>二獸<sup>一</sup>、北方ノ国

ニ、ケタモノニアリ、一ヲハ蛭々ト云ソ、一ヲハ駘<sup>キヨ</sup>驢ト云ソ、

又ケタモノアリ、蟹ト云ソ、此蟹、甘草ヲミタレハ、此ヲカ

ウデ、蛭一ト駘一トニ、ヲクルソ、二ノ獸カ、人ヲクルヲ、

ミテ、甘草ヲ、人ガ、トラウト思テ、二ノ獸カ、蟹ヲ、ヲウ

デ、<sup>(4ウ)</sup>走タソ、ケツガ、二ノケモノノ足ヲ、カツテ、ニケタ

ソ、蛭々カ為ニ、エヲトツテ、クワスル獸ナリ、

○<sup>ケウ</sup>蛭、<sup>シツ</sup>蛭<sup>ソツ</sup>一<sup>ニ</sup>促<sup>ト</sup>織<sup>ト</sup>通<sup>メ</sup>作<sup>ス</sup>レ<sup>ハ</sup>蛭<sup>ト</sup>、**陳**夜雨<sup>ニ</sup>鳴<sup>ニ</sup>寒<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>秋夜ノ雨

ニ、ハタヲ、ヲツテ、ハタモノヲ、ナライタソ、キイリシト

リト、ナツタソ



174ウ

「<sup>ケウ</sup>郷、小イ舟ナリ、<sup>ケウ</sup>○梁、<sup>シヨナリ</sup>稽也、ウルシネトヤラヨ

ムソ、

○<sup>ケウ</sup>筇、竹名可<sup>ツクル</sup>レ為<sup>一ニ</sup>杖張<sup>ケンツメ</sup>鸞使<sup>ニ</sup>大宛<sup>ニ</sup>得<sup>リ</sup>レ之<sup>ヲ</sup>大宛ハ、天竺チカ

イ西ノ国ナリ、張一ハ天竺エ使ニイテ、石榴ノタネヲトツテ、

キタトアリ、コ、ハ、大宛ニ使イシタト云ソ、<sup>ケウ</sup>三<sup>ケウ</sup>筇張魏

公在<sup>リ</sup>蜀有<sup>ニ</sup>僧与<sup>ト</sup>三<sup>ニ</sup>小<sup>一</sup>尼<sup>ル</sup>来<sup>ル</sup>因<sup>テ</sup>指<sup>メ</sup>尼舞<sup>ヲ</sup>張<sup>シム</sup>曰<sup>シム</sup>婦女風邪<sup>ノ</sup>斬<sup>カキラン</sup>

レ之<sup>ヲ</sup>僧<sup>コソツテ</sup>拈<sup>ル</sup>去<sup>ル</sup>乃<sup>チ</sup>枝<sup>ノ</sup>也<sup>ナリ</sup>、此ハ異ナ<sup>ツ</sup>ソ、張一ハ、イツ

ノ時ノ者ヤラ、排勾ニハ、ミエヌソ、蜀ニイタ時ニ、僧力、

比丘尼ヲ、三人ツレテ、キテ、僧力、比丘尼ニ、マウシタソ、

張力、ミテ、此力、女人ヤ、比丘尼ノスル法力、キラウト云

タレハ、僧力、三尼ヲ、ツレテ、ニケテ、イン<sup>175オ</sup>「タソ、三

本ノ竹ニ、ナツタソ、<sup>活</sup>瘦<sup>一</sup>、ヤセテ、カレタ杖ナリ、<sup>ハ</sup>

葛<sup>ノ</sup>陂<sup>ノ</sup>、龍ノ所ニアツタソ<sup>サ、ウ</sup>拈<sup>ラ</sup>レ、拈<sup>シ</sup>ハ、サ、ユルナリ、

シノコエナリ<sup>ハ</sup>吟<sup>一</sup>、ツイテ、アルキ、アルキ、詩句ヲ吟ス

ルソ、<sup>○</sup>邛、州名ナリ、一日臨<sup>一</sup>、司馬相如力卓文君ニア

ウタ所ナリ、又病<sup>ナリ</sup>也<sup>ナリ</sup><sup>詩</sup>維<sup>レ</sup>王<sup>ヤマイナリ</sup>之一<sup>一</sup>、トノ篇ヤラ、亦孔之一<sup>一</sup>、

此ハ不<sup>レ</sup>詳、孔子ノ<sup>カ</sup>、<sup>ハ</sup>臨<sup>ガウ</sup>邛<sup>39</sup>、相如与<sup>ニ</sup>文君<sup>一</sup>売<sup>レ</sup>ル<sup>ルカ</sup>

ニ酒<sup>ヲ</sup>一<sup>ニ</sup>本<sup>ニ</sup>史ノ相如力伝ニアリ、一<sup>ノ</sup>道士洪都<sup>ノ</sup>客<sup>ノ</sup>長恨歌<sup>ニ</sup>ア

リ、タレヲ云タヤラ、不<sup>レ</sup>考ソ、<sup>ハ</sup>巴邛、一<sup>ノ</sup>人<sup>ム</sup>収<sup>ニ</sup>二<sup>ヲ</sup>橋<sup>一</sup>

中有<sup>カニ</sup>二<sup>ニ</sup>叟<sup>一</sup>奕<sup>エキ</sup>棋<sup>ス</sup>詳<sup>レ</sup>橋別ノ書ニハ、巴園二橋アリ、ソノ中<sup>ナ</sup>

ニ、仙人二人アツテ棋<sup>175ウ</sup>「ヲ打タソ、商山田<sup>四ハ</sup>皓<sup>ノ</sup>中ノ二人

チャトモ云タソ、入声ノ橋ノ所ニアリ、如<sup>アウ</sup>レ<sup>ツホ</sup>盃<sup>ノ</sup>橋ト、タイタ

ソ、ソノ下ノ注ニ、巴園人、両ノ大橋ヲ得ソ、三斗入ルホド

ノカメノ大ナソ、橋ヲ、ワツタレバ、二人ノ老翁アリ、身ノ

タケ、一尺アマリ、棋ヲ打タソ、一人ノ、ヲキナカ云ハ、此

ノ橋ノ中ノ、タノシミワ、商山ニ、ヲトラヌソ、ウラムル所

ハ、此ノ橋ノ木力、根モ深ウモナク、ホゾモ、カタタウモナ<sup>カタクハ</sup>

イ<sup>一</sup>ヨト云タソ、又一人ノヲキナワ、吾ハ、イカウウエタソ、

カツエタソ、龍ノホシバシヲマチテ、此ヲクワウト云タソ、

ソレカ、現シタヲ、食シハテ、水ヲ以テ、<sup>176オ</sup>「地ニ、ハイ

テ、二ノ白龍ト、化テ、ミエナンタソ<sup>美ハ</sup>○<sup>美ハ</sup>莛、萁草ノ英<sup>ハ</sup>ノ

実ナリ、萁ハ堯ノ時ニアツタト云タソ、実ノナルヤウナ<sup>ハ</sup>、

39 「邛」には本来「ガウ」という字音は認められない。「印」と混同されたものと推される。

マレナフソ、堯ノ後ニアツタト云フハ、シラヌソ、

○慵<sup>ヨウ</sup>、モノウシトヨムソ、<sup>ウ</sup>疎慵、居<sup>ク</sup>止多<sup>クハ</sup>ーコノア

イタ

ワ、起居ナニトアルソ、モノウ、タレトモ、ヲロソカナソ、

**孟郊**タチイカ、モノクサウ、疎ニナツタソ、<sup>ウ</sup>粧<sup>シ</sup>慵、強<sup>シイデ</sup>

臺<sup>モタゲテ</sup>ニ青<sup>ヲ</sup>鏡<sup>ルニ</sup>欲<sup>ントシ</sup>レー、ヲサエテ、トキスマイタカ、ミヲ、

トリアゲテ、妝ウトスルカ、モノクサイソ、老<sup>ニ</sup>衰ノイワレソ、

**荊**へ一生慵<sup>カツテ</sup>、嘗<sup>クケイ</sup>聞<sup>リト</sup>嵇叔夜<sup>ニ</sup>ー在<sup>ニ</sup>ニ<sup>176ウ</sup>中<sup>ニ</sup>、吾レ、モト

カラ、キ、ツタエタソ、晋ノ嵇<sup>ラシ</sup>ーハ、一生モノウイ、懶ナ、

ウチニ、ヲキツ、ネツ、メ、アルトキイタソ、強<sup>ツトメテ</sup>、<sup>40</sup>琴復鍛<sup>ヲタタンス</sup>

鉄比<sup>イラレハ</sup>我未<sup>ニ</sup>為<sup>セ</sup>レ慵<sup>シト</sup>、**楽天**強<sup>ニ</sup>琴<sup>シ</sup>ー、強<sup>ニ</sup>学<sup>シ</sup>ノ強<sup>シ</sup>モ、ツトムル

心ソ、コワイ心テハ、ナイソ、モノクサイ者トイヘドモ、ス

キヂヤホドニ、ツトメテ、琴ヲヒキ、又カヂヲシタソ、夏柳

ノ木ノモトテ、カヂヲシタソ、中散山陽鍛トヤラ、坡力作タ

ソ、中散ハ、嵇<sup>ニ</sup>ーカフソ、中<sup>ニ</sup>ノ官ニナツタソ、二ノフソ、

ツトメテ、シタソ、吾ニ比スレハ、嵇<sup>ニ</sup>へーハ、モノウイ

者デハナイソ、**活**へ燕<sup>ニ</sup>ー、ツハメモーソ、へ驚<sup>ニ</sup>ー、トレモ、

モノウイソ、へ睡思<sup>ニ</sup>ー、春ノ、ウソアタ、カニ、クモツテ、

モウロウトシタニ、睡タ<sup>177オ</sup>「心ハ、一段モノウイソ、へ柳

嬌<sup>ニ</sup>ー、柳ノ、ホソく、タヨくトメ、コビテ、モノウイ姿<sup>スカタ</sup>

アルソ、柳<sup>ニ</sup>困花<sup>ニ</sup>慵トモ、シタソ、柳モ、困<sup>コン</sup>メ、クタヒレ、

花モノウイソ、

○鱸、魚ナリ、又名鮑ハ、鮑ハ、シヤクノ音カ、ヨウノ音モ、

アリサウナソ、考ハセヌソ、幽州ニハ、曰<sup>ト</sup>ニ胡<sup>ニ</sup>ー、幽州北国

ノ胡<sup>エヒス</sup>州ナリ、

○恭<sup>ケウ</sup>、**晝**ノ堯典ニ、象<sup>カタチウヤ</sup>ー<sup>シウメ</sup>滔<sup>ハヒコレリ</sup>レ天トアリ、此ハ、堯ノ

臣ニ、共工ト云、イタツラ者アリ、堯ノマエテハ、ツ、シ

ンタ、ナリヲメ、心ノ、クワンタイ、ワルイフ、天ニヲ、

イ、ハビコルヤウナソ、ノチニ、流サレタソ、恰<sup>格ハ</sup>ー尔事、

此モ尚書ノ語カ、不<sup>レ</sup>詳、可<sup>レ</sup>考ソ、令<sup>ヨクシ</sup>色足<sup>ヲスウ</sup>ーハ、ヘツラ

ウテ、<sup>177ウ</sup>「マコトニナイフソ、良<sup>カタチハ</sup>レ<sup>ウ</sup>思<sup>ウヤ</sup>レ<sup>シカラン</sup>」

**記**ナリカタチ、ヤンケウニアランフヲ、思<sup>ウ</sup>エソ、手容<sup>ニ</sup>ー、

此モ、前ニアリ、九ノ容ノ一ソ、**孟**却<sup>シリ</sup>レ之不<sup>ヲ</sup>レ、不<sup>レ</sup>詳、

可<sup>レ</sup>考、<sup>カ</sup>後恭、<sup>カ</sup>蘇秦<sup>カ</sup>嫂<sup>カ</sup> 4 1 前<sup>ハ</sup>倨<sup>ハ</sup>後<sup>ハ</sup>以<sup>ハ</sup>二<sup>ナ</sup>其<sup>ナ</sup>位<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>（衍<sup>カ</sup>）

高<sup>ク</sup>金<sup>ノ</sup>多<sup>キ</sup>一也、詳<sup>レ</sup>倨<sup>レ</sup>蘇秦ガ、<sup>カ</sup>兄ヨメ、前ニハ、秦ガヒラウメ、

カナシイ時ハ、アナトツテ、カルシメタソ、後ニ、ブゲンニ

ナリテ、黄金ヲ、多モチ、位モ、六国ノ相ニナリテ、高ウア

ガツタホドニ、インギンニ、ウヤマウタソ、人間ハ、コノツ

レソ、倨ハ、アナトルトヨシタカ、カルシメタツソ、**活**<sup>ハ</sup>懿<sup>ハ</sup>

一、懿ハ、ヨシトヨムソ、ヨクウヤマイシタカウ心ソ、<sup>ゲ</sup>嚴<sup>ハ</sup>

一、イツクシイナリ、此モ、<sup>178オ</sup>「ヌタニナウ、インキンナ心

ソ、<sup>ケ</sup>協<sup>ハ</sup>一、尚書ノ<sup>カ</sup>阜陶謨<sup>カ</sup>ノ篇ニ、<sup>カ</sup>協<sup>ハ</sup>一 トアリ、諸侯ト

同シク、五<sup>一</sup>礼ヲ正シウメ、和スルナリ、ヤワラゲ、ヨクセヨ

ト云心ソ、<sup>ト</sup>篤<sup>ハ</sup>一、篤ハ、アツイトヨムソ、実<sup>メ</sup>ニ、ケイハ

クニナウテ、ツ、シムツソ、**人名**（<sup>ハ</sup>）魯<sup>ハ</sup>後漢賢宰ナリ、

魯ハ、字ハ仲康、漢ノ建初<sup>肅宗ノ年号ナリ</sup> 中ニ、中牟ノ令ニナツテ、徳化

ヲ以テ、所ヲ治タソ、ソノ時ニ、イネヲクウ、<sup>メ</sup>螟<sup>ト</sup>云虫ガ、

フツテ、五谷ヲ、ソコナウタソ、蝗<sup>ハ</sup>虫ノツソ、魯ガヲサメタ、

中牟ニハ、蝗ガナイソ、奇異ナ<sup>一</sup>カ、三アツタソ、谷ガ詩ニ、

魯<sup>ハ</sup>卓茂<sup>タクボ</sup>可<sup>レ</sup>人<sup>ハ</sup>否<sup>ト</sup>、作タソ、卓茂<sup>モ</sup>トヨメ<sup>178ウ</sup>「ルソ、賢<sup>ハ</sup>

宰ト云ハ、国ヤ、郡ヤ、乃至、村里ノ主ニ、ナツテ、ソノ所

ノ<sup>一</sup>ヲ、サバイテ、公事、ソセウ<sup>ヲ</sup>ヲ、判断メ、私ナウ、理

非ヲ、ヲトシ、ツクル<sup>ヲ</sup>ヲ、職ニスルソ、宰ハ、ワクルツソ、

<sup>ハ</sup>王<sup>ハ</sup>鶴<sup>シヤウ</sup>髦<sup>ハ</sup>、王<sup>ハ</sup>字ハ孝伯人<sup>ハ</sup>物ノヨイ者ナリ、鶴ノ毛デ、

キルモノヲメ、キタソ、雪ノ中ニ、毛ノ衣ヲキテ、雪ノ中ヲ、

アルイタソ、蜀ノ国ノ主、<sup>チヤウ</sup>孟昶<sup>ハ</sup>ガミテ、マコトニ、神仙中人<sup>ノ</sup>

チャト云タソ、王ガナリハ、春ノ月ノ夜ニ、柳ノ、月ニ、映

メ、キヨウアライタテタヤウナト、人ガホメテ云タソ、○

供、尚書ノ无逸<sup>イッ</sup>ノ篇ノ語ナリ、以<sup>コ</sup>惟<sup>レ</sup>正<sup>ハ</sup>之<sup>ハ</sup>一トアリ、文王ノ

カリヲシアソヒ、酒ヲ<sup>179オ</sup>「ノム<sup>ヲ</sup>ヲ、禁メ、身ヲ正メ、天下

ノ万民ヲ、ナデヤシナワル、ツソ、民ヲ待テイル心ソ、**詩**小

共大共トアル供ノ心ソ、ツ、シシタ心ソ、トノ詩ヤラ、不<sup>レ</sup>詳

<sup>41</sup> 原本および『韻府群玉』当該箇所には「婣」とあり、左傍訓の「カウ」はこの字の音符によるものと推される。なお、『広韻』によれば、「婣」は「婣」の俗字である。

ソ、**左**謂許不<sup>一</sup>、トノ伝ニアルヤラ、不<sup>レ</sup>詳、可<sup>レ</sup>考ナリ、山  
 色<sup>一</sup>ニ詩<sup>ス</sup>料<sup>ヲ</sup>、山ノミゴトナハヨイ詩ノ道具ヲ、ソナエタ者  
 ナリ、料ハ、材木ヤ、道具ト云心ソ、山カ、詩ヲツクラウス、  
 ヨイ材木道具ト云心ソ、**活**ハ上<sup>一</sup>、上ノヨイ物ノ心カ、上<sup>タリ</sup>供<sup>リス</sup>  
 ノ心カ、上<sup>ル</sup>レ<sup>ヲ</sup>カ、不<sup>レ</sup>詳、上ノ供ト云ヘハ、供ハ、体ガテク  
 ルソ、灰ニナリサウナソ、**供**スルトニハ、平ソ、<sup>クニ</sup>日<sup>ス</sup>、毎  
 日供シ、献スル<sup>ケウ</sup>ソ、<sup>179ウ</sup>ハ歳<sup>ス</sup>、此ハ、年貢ヲ、毎年進<sup>一</sup>上メ、  
 「マラスルソ、マラスル、供ト云ソ、供ハ、ソナウトヨム  
 ソ、<sup>ニ</sup>ハ茗<sup>ス</sup>椀<sup>ス</sup>、茶ヲ、タテテ、マラスル<sup>ニ</sup>ソ、<sup>ニ</sup>ハ伏<sup>ス</sup>臘<sup>ス</sup>、伏  
 ト云ハ、夏ノ中ニ、三伏アリ、金ノ秋ノ氣カ、庚ノ日生メ、  
 アツイ暑ノ火ヲシツムルソ、伏シテ、カクル<sup>一</sup>ソ、フシタ心  
 ソ、カノエノ日、三度アリ、三<sup>一</sup>伏ト云ソ、臘ハ、シワスナリ、  
 伏ノ月ト、十二月ノ臘トニ、物ヲ供メ、先祖ヲ祭ソ、伏<sup>一</sup>  
 スト云タソ、<sup>一</sup>斗<sup>一</sup>酒<sup>一</sup>、一斗ノ酒ヲ、供シタソ、一斗ノ酒ヲ、  
 マラメ、涼州ノ守護ニナサレタ<sup>一</sup>アリ、<sup>一</sup>上<sup>一</sup>戸<sup>一</sup>学<sup>一</sup>士<sup>一</sup>アリ、天子  
 カラ、一斗ツ、酒ヲタマウタ<sup>一</sup>アリ、<sup>一</sup>唐<sup>一</sup>ノ王<sup>一</sup>績<sup>一</sup>カ<sup>一</sup>ナリ、

供スルハ、タマウタニモ、上<sup>ウ</sup>エ、タテマツルニモ云ソ、  
 ○共、<sup>一</sup>為<sup>一</sup>子<sup>一</sup>職<sup>一</sup>ハ、尚書ノ語カ、不<sup>レ</sup>考、点モセヌソ、可<sup>レ</sup>考  
 ナリ、**左**敬<sup>ツ</sup>「<sup>テ180オ</sup>ニ朝<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>、左伝ヲ考ニ、ミアワヌソ、供<sup>ケウ</sup>  
 ズトヨムソ、経<sup>一</sup>泉<sup>一</sup>テハ、供ハ、クウズトヨムソ、供ニ朝<sup>ニ</sup>タ<sup>ニ</sup>  
 ハ、ナニヲ供シ、<sup>（衍カ）</sup>タヤラ、**左**三<sup>タヒ</sup>命<sup>一</sup>茲<sup>一</sup>益<sup>一</sup>、君カラ、  
 三度マテ、メイヲウケタホトニ、云イツケラレタ<sup>一</sup>ヲ、イヨ  
 〳、ツ、シンタソ、供ハ、ツ、シム心カ、靖<sup>ノ</sup>ニ<sup>ヲ</sup>尔<sup>一</sup>位<sup>一</sup>、ド  
 ノ詩ニアルヤラ、不<sup>レ</sup>詳、可<sup>レ</sup>考ナリ、<sup>マウ</sup>ハ阜<sup>一</sup>共、**歐**不<sup>レ</sup>詳、除  
 ナリ、善<sup>マウ</sup>惡<sup>一</sup>雜<sup>一</sup>ニ<sup>一</sup>、推スルニ、舜ノ臣<sup>一</sup>皐<sup>一</sup>陶ノヨイ臣ナリ、  
 惡臣ニ、共工アリ、此<sup>一</sup>テアラウソ、**書**篇<sup>ハウ</sup>九<sup>一</sup>亡<sup>一</sup>書ウセテ、  
 ナイソ、亡ハ、ナイト云心ソ、**活**ハ<sup>コン</sup>鯀<sup>一</sup>、二<sup>一</sup>小<sup>一</sup>人<sup>一</sup>ナリ、鯀  
 ハ夏ノ禹ノ父ナリ、共ハ、共工ナリ、二人トレモ、ワルイ臣  
 ナリ、○<sup>ケウ</sup>龔<sup>タマウ</sup>給<sup>一</sup>也、タマウ心<sup>180ウ</sup>「ソ、**柳**万国<sup>ナシ</sup>罔<sup>ト云</sup>不<sup>レ</sup>、  
 一天下、万国、君ノメグミニアラズト云<sup>一</sup>ナイソ、恵<sup>メグミ</sup>ヲタマ  
 ウト云ソ、<sup>ノ</sup>両<sup>ケツ</sup>龔<sup>一</sup>、楚<sup>一</sup>之<sup>一</sup>潔<sup>42</sup>、<sup>一</sup>両<sup>一</sup>ハ、龔勝<sup>一</sup>字<sup>一</sup>ハ、君  
 実<sup>（實カ）</sup>ナリ、王莽ガ、天下ヲヌステンテ、位ニイテ、龔ヲヨビダ

サウトテ、馬車印綬ヲ、ヲクリ、上卿ノ位ニナイタレトモ、  
 デヌソ、身一モテ、二ノ姓ニハ、ツカエマイト云テ、伯夷ガ  
 ヤウニ、不<sup>レ</sup>食メ、死タソ、楚ノ者ナリ、又龔舎ト云アリ、字  
 ハ君倩<sup>セン</sup>ソ、五経毛詩ニ、達シタソ、卓茂鮑宣ナド四人云アワ  
 セテ、インキヨメ、ツカエヌソ、名ヲシラレタソ、勝ト舎ト  
 ノ二人、両龔之潔ト、云タソ、志シ、節義、イサキヨイ<sup>181オ</sup>  
 ホドニソ、**人名**へ<sup>（劉公）</sup>列<sup>（劉公）</sup>一向<sup>（劉公）</sup>之孫、排勻ニハ、ミエヌソ、  
 へ葛<sup>クメ</sup>後漢善<sup>クメ</sup>ニ文<sup>ヲ</sup>記<sup>ヲ</sup>知<sup>ヲ</sup>レ名、後漢ノ者、文章記彙ヲ、ヨク  
 シテ、名ヲ知レタソ、へ王<sup>キ</sup>後漢人引<sup>ム</sup>進<sup>ケン</sup>黃憲陳蕃<sup>ヲ</sup>、黃  
 陳<sup>（實心）</sup>ノ二人ヲ、ス、メテ、引<sup>セ</sup>用タソ、**姓氏**へ<sup>（實心）</sup>勝字ハ君実  
 ナリ、与<sup>タリ</sup>ニ<sup>ニアラ</sup>舎<sup>ヲ</sup>相<sup>ニ</sup>友<sup>ニ</sup>並<sup>ニ</sup>著<sup>ニ</sup>名<sup>ヲ</sup>節<sup>ヲ</sup>舎<sup>ヲ</sup>字ハ君倩即両龔ナリ、  
 前ノ両<sup>ハ</sup>之潔ノ所ニアリ、へ<sup>ハ</sup>遂<sup>ハ</sup>字少卿<sup>シ</sup>為<sup>シ</sup>渤海太守<sup>ト</sup>盜賊  
 皆<sup>（濁点生）</sup>罷<sup>（濁点生）</sup>、詳<sup>（濁点生）</sup>犢<sup>（濁点生）</sup>、渤海ハ、北方チツト東エモ、近ソ、盜モ、ヤ  
 ウダ<sup>（濁点生）</sup>ソ、民ニス、メテ、劍ヲ売テハ、牛ヲカイ、刀ヲウツ  
 テハ、牛ノ子ヲカワセテ、耕作ヲ、本<sup>ハ</sup>ニサセタソ、へ<sup>ハ</sup>析<sup>ハ</sup>字<sup>ハ</sup>  
 蓋<sup>（案心）</sup>「道風盜<sup>（案心）</sup>端雅范述<sup>（案心）</sup>曰此荊楚仙人<sup>ナリ</sup>、一析ハ、人<sup>ハ</sup>物、端  
 一ハ、タ、シイソ、ドコモソロウミゴトナソ、范<sup>ハ</sup>ガミテ、

ホメテ、云タソ、楚ノ国ノ仙人チヤソ、凡<sup>（ボシ）</sup>鄙<sup>（ヒ）</sup>ニ、ナイソ、へ  
 一茂良趙宋<sup>ハ</sup>人<sup>ハ</sup>字<sup>ハ</sup>実<sup>ハ</sup>之除<sup>（一セラル）</sup>ニ<sup>（一セラル）</sup>參<sup>（ニ）</sup>政<sup>（ニ）</sup>、排勻ニハ、龔茂トアリ、良  
 ノ字ハ、ナイソ、參政ハ官、政事ニ、アツカリキクソ、參<sup>（マシワル）</sup>  
 政<sup>（ニ）</sup>、宰相已下、政ノ談合評<sup>（ニ）</sup>、旋<sup>（ニ）</sup>ノ、人<sup>（ハ）</sup>众<sup>（ニ）</sup>、加<sup>（ニ）</sup>ソ、樞<sup>（スウ）</sup>密<sup>（ヒツ）</sup>ト云  
 ノ<sup>（フ）</sup>ソ、薦<sup>（ス、ム）</sup>ニ<sup>（ガク）</sup>謝<sup>（ガク）</sup>謂<sup>（ガク）</sup>楊<sup>（ガク）</sup>万里<sup>（ガク）</sup>等<sup>（ガク）</sup>一<sup>（一）</sup>世<sup>（一）</sup>称<sup>（一）</sup>知<sup>（一）</sup>レ人、謝<sup>（一）</sup>モ名<sup>（一）</sup>人、性  
 学淵源トイワレタソ、楊<sup>（一）</sup>へ<sup>（一）</sup>ハ、誠齋ナリ、宋ノ末ノ名  
 人ナリ、此ノ二人ヲ、天子エ、ス、メタホトニ、世間ニ、龔  
 茂ヲハ、ヨウ人ヲシツタ者ト、ホメテ、云タ<sup>（182オ）</sup>「ソ、人ヲ知  
 ル<sup>（一）</sup>モ、大事ナソ、

○**字説**ニ<sup>（ハ）</sup>松<sup>（ハ）</sup>葉<sup>（ハ）</sup>柏<sup>（ハ）</sup>身<sup>（ハ）</sup>則<sup>（ハ）</sup>葉<sup>（ハ）</sup>与<sup>（ハ）</sup>身<sup>（ハ）</sup>皆<sup>（ハ）</sup>直<sup>（ハ）</sup>、此ノ樅ハ、葉ハ、  
 松ノ葉ニテ、木ノカラハ、柏ノ如ナソ、葉モ、身モ、スグ  
 ニ、柏ノ木ノ如ナソ、檜<sup>（ハ）</sup>柏<sup>（ハ）</sup>葉<sup>（ハ）</sup>松<sup>（ハ）</sup>身<sup>（ハ）</sup>則<sup>（ハ）</sup>葉<sup>（ハ）</sup>与<sup>（ハ）</sup>身<sup>（ハ）</sup>皆<sup>（ハ）</sup>曲<sup>（ハ）</sup>、檜ノ木ハ、  
 樅ニ、ウチチガエテ、葉モ、身モ、マカルソ、又<sup>（ハ）</sup>**詩**簾<sup>（ハ）</sup>業<sup>（ハ）</sup>維<sup>（ハ）</sup>  
 一、注懸<sup>（ニ）</sup>鐘<sup>（ハ）</sup>一<sup>（ハ）</sup>聲<sup>（ハ）</sup>一<sup>（ハ）</sup>處<sup>（ハ）</sup>、ドノ詩ヤラ、不<sup>（レ）</sup>考、点モタシトハ、  
 点セヌソ、  
 ○**鑑**、矛盾<sup>（ハ）</sup>、ホコノ類ナリ、  
 ○**鑿**、斤斧孔也、ヲノマサカリノ穴ヲ云ソ、斤モ、斧モ、

ヲノトヨムソ、

「<sup>182ウ</sup>箠<sup>ケウ</sup>、車弓ハ、ナニタル弓ヤラ、不<sup>レ</sup>詳ソ、

(本丁は以降を空白とする) <sup>43</sup>

<sup>183オ</sup>「△三江

○江、吳人鉄<sup>ト</sup>鎖<sup>ヲウ</sup>横<sup>レ</sup>ニ、詳<sup>レ</sup>鎖、勾府ノ上声ノ哥勾ノ鎖ノ所  
ニアリ、吳ノ者、江ノ石クラナトサイテ、要害ニスル所ニ、  
鉄ノクサリヲ、ナカウ打テ、江ノ中ニ、ヨコタエテ、舟ノ  
往来ヲ、キリタツタソ、又鉄ノ錐ノ長サ、一丈アマリナヲ、  
江ノ中ニ、カクイテ、ワイテ、舟、イカダヲ、ツキトロメ、  
往来ヲ、サエタソ、晋ノ王濬<sup>シン</sup>筏ヲ作テ、水<sup>レン</sup>練ヲ、ヨウスル  
者ヲメ、イカダヲ以テ、水中ヲ、トラウ<sup>ヲカ</sup>セタニ、此ノ鉄  
錐ヲ、ワイタニ、イカダニ、錐力タツ「<sup>183ウ</sup>テ、エハタラカ  
イデ、ソノマヽ、イカタヲステヽ、去タソ、又タイマツヲ、  
作<sup>ツ</sup>テ、麻ノ油ヲ、ソヽイテ、船ノマエニ、ワイテ、鉄鎖ノ

アル所テ、タイマツヲ、トホイテ、此ヲヤイタソ、ソクジ

ニ、鉄<sup>一</sup>カ、モユル火ニ、トロケテ、タエタソ、此ヲハ、

晋書ノ王濬力伝ニアリ、浮<sup>ヘテ</sup>笠<sup>ヲル</sup>渡<sup>ヲ</sup>レ、詳<sup>レ</sup>笠、黄檗ノ江ヲ

渡テ、天台エ、イカルヽニ、水デヽ、エ「○ワ」タラヌソ、

異僧力、キテ、笠ヲ、浮ヘテ、渡テ、黄<sup>一</sup>ヲ、マネイテ、

ワタレ<sup>一</sup>ト云タソ、吾身ハライヤウ<sup>一</sup>シタヤツヂヤト、

ノラレタソ、<sup>184オ</sup>「九江、自廬江潯陽分<sup>テ</sup>道<sup>ヲ</sup>

「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

籓<sup>キン</sup>上<sup>ト</sup>、<sup>184オ</sup>「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

浦陽、一云在<sup>ニ</sup>蘇州<sup>ニ</sup>、三江ノトリヤウ、書ニヨツテ、カワリ

アリ、<sup>184オ</sup>「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

タヽハ、鳥<sup>ウ</sup>トヨムソ、<sup>184オ</sup>「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

吉州ニモ、亦有<sup>リ</sup>之、桐江ハ、吉州ニモ、アルトシタソ、桐声

ト云所ニ、アルニヨツテ、桐江ト云ソ、<sup>184オ</sup>「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

冷<sup>スサマン</sup>、詳<sup>レ</sup>楓東勾ノ楓ノ所ニモ、ノセタソ、<sup>184オ</sup>「<sup>184オ</sup>為<sup>ル</sup>下<sup>ル</sup>白<sup>ル</sup>、蚌<sup>一</sup>、鳥<sup>(鳥カ)</sup>、靡<sup>ヒ</sup>、畎<sup>ケン</sup>、源<sup>一</sup>、廩<sup>リン</sup>、提<sup>テイ</sup>、

ニ<sup>一</sup>池<sup>ヲ</sup>其水西<sup>ニ</sup>折<sup>ル</sup>、前漢ノ武帝ノ曲<sup>一</sup>池ヲ、ホラレタソ、ソ

<sup>43</sup>本丁左下には、「一八一」と丁数が示される。

ノ池ノ水ガ、西エヲレテ、流タソ、<sup>184ウ</sup>「明皇封<sup>1ス</sup>張九齡於此

一<sup>ス</sup>号<sup>18ト</sup>ニ<sup>44</sup>一<sup>44</sup>後秀士登<sup>44</sup>科賜<sup>ウ</sup>宴<sup>エシテ</sup>於此<sup>ニ</sup>、明皇ハ、玄宗ナリ、

張<sup>1</sup>一<sup>1</sup>ヲ、曲江ニホウセウ<sup>ラカ</sup>レタホトニ、曲<sup>1</sup>一<sup>1</sup>公ト、張<sup>1</sup>一<sup>1</sup>

ヲ云タソ、中州集ニ、洛中独楽有司馬、天下不名張曲江ト作

タソ、九齡カ<sup>1</sup>ソ、<sup>ヲ</sup>渡<sup>デキウツテ</sup>江<sup>カザツル</sup>、祖逖<sup>ヲ</sup>擊<sup>レ</sup>楫<sup>1</sup>一<sup>1</sup>、詳<sup>レ</sup>楫、

祖<sup>1</sup>一<sup>1</sup>字ハ士稚<sup>チ</sup>、氣<sup>1</sup>カ、ヌキンテタソ、晋ノ元帝ノ豫州ノ守護

ニナサレタソ、江ヲ渡ルトキ、江中ノ、中流<sup>ル</sup>デ、楫<sup>カチ</sup>ヲタ<sup>1</sup>、イ

テ、水神ニ、チカイ<sup>1</sup>ヲメ、云タソ、ソレガシ、中<sup>1</sup>一<sup>1</sup>原ノミヤ

コヲ、ヨク乱ヲシヅメ、キヨメハライノケズ<sup>南点生</sup>ンハ、マタワ

タル<sup>1</sup>ハ、アルマイソ、カウ云フ<sup>1</sup>ノ、チカワヌ、此大ナ江

水ノ如ニ、アラウソ、江<sup>185オ</sup>一<sup>1</sup>水ハ、チ<sup>1</sup>一<sup>1</sup>カワヌ者ナリ、婁<sup>ロウ</sup>師

德岐<sup>ハキ</sup>一<sup>1</sup>人<sup>トル</sup>一<sup>1</sup>婁<sup>ロウ</sup>一<sup>1</sup>字宗仁ソ、徳ノアル者ナリ、相ノ

位ニイル<sup>1</sup>ヲ三十年ナリ、袁客師ト、舟ニノツテ、江ヲ渡ルニ、

舟ノ中ニ、鼻ノ下ノ黒イ氣アリ、ワタサヌソ、ニワカニ、一

人足<sup>アシ</sup>ノナエタ男カ、フネニ、キテ、ノツタソ、客師ガ云ハ、

此ハ、貴人ナリ、此ヲハ、ワタサウスト云テ、ワタイタソ、

ソノアシナエタヲトコハ、師徳テアツタソ、**袁天綱伝**袁客師

ハ、袁天綱カ<sup>1</sup>ソ、人ヲサウジタ名人ナリ、天文ニタツシタ

ソ、<sup>ヒロシウ</sup>潘江、秦范波瀾瀾笑<sup>ヲ</sup>陸海<sup>1</sup>一<sup>1</sup>秦少游范モ同学ノウチ

ソ、陸才<sup>カハ</sup>、如<sup>カハ</sup>海<sup>ノ</sup>、一<sup>1</sup>才如<sup>ノ</sup>一<sup>1</sup>ト云タソ、陸キノ、一<sup>1</sup>岳ハ、江

ノ如ナソ、**鍾榮**詩品<sup>185ウ</sup>「セウエイガ詩トモノシナ<sup>ハ</sup>」<sup>朱</sup>」

評シタ語ソ、<sup>ニ</sup>帝江、天山有<sup>カチシ</sup>神、状如<sup>1</sup>二<sup>1</sup>黄雲<sup>45</sup>一<sup>1</sup>、六足四

翼<sup>ヨク</sup>渾沌<sup>トントメシ</sup>无<sup>1</sup>二<sup>1</sup>面<sup>1</sup>一<sup>1</sup>是識<sup>モク</sup>二<sup>1</sup>歌<sup>レ</sup>一<sup>1</sup>舞<sup>スルヲ</sup>一<sup>1</sup>実為<sup>ニリ</sup>二<sup>1</sup>一<sup>1</sup>或作<sup>ハス</sup>二<sup>1</sup>鴻江<sup>ト</sup>一<sup>1</sup>、

**山海經**天山ニ、神アリ、カタチ黄雲ノ如ナソ、天山ハ、漢ノ

時ニ、エヒスノ国ニ、高イ山、四時雪アリ、白山トモ云イ、

天山トモ云タソ、コ<sup>1</sup>ノ天山ハソレテハ、ナイソ、ツクツテ、

云ホトニ、シラレヌ<sup>1</sup>ソ、ソノ神ハ、六<sup>1</sup>一<sup>1</sup>足六アリ、四<sup>1</sup>一<sup>1</sup>四

ノハネアリ、渾<sup>1</sup>一<sup>1</sup>ハ、ヌンマトメ、茶ワンノヤウニ、ヌマノ

一<sup>1</sup>トメ、目<sup>1</sup>ロモナイソ、ソレヲ、帝江ト云タソ、又鴻江トモ

云タソ、コレヤウナ、異ナ人や、鳥ヤ、ケタモノ、魚ナドノ

44 『韻府群玉』当該箇所には、「一<sup>1</sup>公」とある。  
45 『韻府群玉』当該箇所には「状如黄囊」とある。

㊦、山海經ニノセタソ、<sup>186オ</sup>「我心塊然如<sup>クワイトメシ</sup>」ト、谷力  
 作ソ、塊一ハ、マルメタ、土ノヤウナ、ムキシヤウニメ、ナ  
 ニヲモ、ワキマエヌソ、无<sup>テウ</sup>心ナ心ソ、<sup>ネリキヌ</sup>澄江、<sup>マ</sup>一<sup>メ</sup>淨如レ  
 練、晋ノ謝眺<sup>テウ</sup>カ詩ナリ、謝宣城トモ、云タソ、謝元  
 暉トモ云タソ、名譽ノ詩ヂヤゲナソ、谷詩ニ、憑<sup>ヨツテカ</sup>誰説<sup>ニ</sup>与<sup>セン</sup>  
 謝玄暉<sup>ニ</sup>莫<sup>レ</sup>道澄江靜如<sup>レ</sup>練ト作ソ、又解<sup>ス</sup>道澄江靜如<sup>レ</sup>練令<sup>メ</sup>三  
 人長憶<sup>ヲク</sup>謝玄暉<sup>ヲ</sup>、謝力句ヲ、アチ云イ、コチエ云イ、色<sup>タ</sup>  
 ニトリアツカウタソ、淨ト、靜ト、カヨウテ、用タソ<sup>46</sup>、  
 へ吞<sup>ヲ</sup>江、渴夢<sup>ヲ</sup>一<sup>ヲ</sup>起解<sup>テトク</sup>顏<sup>ヲ</sup>、谷渴<sup>メ</sup>ハ、夢ニ、川ヤ、江ニ  
 ヨツテ、ノウテ、カワキヲ、ヤメタト、夢ニモミルソ、夢<sup>186ウ</sup>  
 サメテ、ヲキテ、キゲンヲヨウメ、笑ソ、起ハ、夢サメテ、  
 ヲキテノ心ソ、サレトモ、ヲキテトハ、ヨメヌソ、起ト<sup>タテ</sup>、ヨ  
 メルソ、解ハ<sup>トク</sup>、ヒラク心ソ、笑エハ、カヲ、開ソ、又谷力慰<sup>イセン</sup>  
 三公渴夢吞<sup>ノヲ</sup>江<sup>ヲ</sup>トモ、作タソ、又吞<sup>ニ</sup>五湖三江<sup>ヲ</sup>トモ、作タ  
 ソ、<sup>ケツス</sup>決<sup>ニ</sup>西江<sup>ヲ</sup>、莊子曰<sup>ニ</sup>待<sup>カメ</sup>我<sup>ノ</sup>一<sup>ヲ</sup>之水<sup>ヲ</sup>而活<sup>シテ</sup>上<sup>レ</sup>汝<sup>ヲ</sup>、  
 此ハ、水ニツマツタカ、又魚ノ水ノカレタニ、クルシウタニ、

云タカ、枯魚ノ<sup>コ</sup>ニ云タヤウナソ、汝ヲ活スルト云タホトニ、  
 莊子ノ書、今コ、ニナイホトニ、不考ソ、決ハツ、ミナドノ、  
 キレサケタ<sup>ツ</sup>ソ、<sup>タク</sup>濯<sup>アラウ</sup>錦<sup>ヲ</sup>江、杜甫浣花溪又曰<sup>ハフ</sup>ニ<sup>ト</sup>一、  
 杜カイタ<sup>ハ</sup>溪ヲ、一<sup>ト</sup>ト云ソ、又ハ、浣花<sup>ヲ</sup>一<sup>ト</sup>ト云ソ、  
 一<sup>187オ</sup>ソウメハ、蜀ハ錦ノ名所ソ、錦ヲフリタテ、濯ウ<sup>ハ</sup>ハ、  
 アルマイガ、洗ト云タソ、アライタテ、キヨイ心カ、杜カ  
 イタ谷ノ、浣花ヲ濯錦ト云トシタソ、此タニ、花カ、多カ、  
 花ノヲチテ、溪水ニ、浮ビ、又影<sup>ウツ、タカ</sup>ノウツタヲ、花ヲ浣ト云心  
 テ、浣花トツケタカ、花ハ、錦ノ如ナホトニ、錦ヲアラウ江  
 トモ、イワウソ、浣花溪デナウテ、別ニ、タクキン<sup>ト</sup>云、江  
 カアルト、ヲモウタソ、方輿ノ蜀ノ所ヲミレハ、浣花溪ハ、  
 成都ノ西五里ニアリ、一ニハ、百花潭<sup>タン</sup>トモ云タソ、昔冀国夫  
 人ト云ガ、ハジメ、イヤシカツタ時ニ、四月十九日ニ、僧ノ  
 アルガ、ミゾエヲチテ、トロニヨコレタヲ、ミテ、此夫人<sup>187ウ</sup>  
 ガ、僧ノヨコレタ<sup>フチ</sup>衣ヲ、アラウタレハ、百ノ花ガ、潭ニミチ  
 へタソ、サテ、百花潭トモ云イ、浣花溪トモ云タソ、杜ガ

<sup>46</sup> 原本には、用タソのように横線が存する。続く「吞」の一画目と推される。



コ、ニイタソ、蜀ノ部ニ、濯錦江ト云フハ、ノセヌソ、<sup>スフ</sup>吸<sup>ス</sup>西<sup>ヲ</sup>江<sup>ノ</sup>一<sup>ク</sup>、馬祖<sup>テ</sup>曰<sup>カ</sup>待<sup>ニ</sup>汝<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>口<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>尽<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>水<sup>ヲ</sup>一<sup>ニ</sup>即<sup>チ</sup>向<sup>テ</sup>汝<sup>ニ</sup>道<sup>ニ</sup>、詳<sup>ニ</sup>吸<sup>ス</sup>、僧力、馬祖ニ参メ、万法不<sup>レ</sup>侶ノ話ヲ、問タニ、此ノ語ヲ、コタエラレタソ、今濟下ニモツハラ、商量スル、古則ナリ、色々義理ヲ付ケ、段々ヲメ、示サル、ケナソ、<sup>活</sup>澄<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>、前ニアツタソ、<sup>ハリ</sup>玻瓈<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>、<sup>ハリ</sup>ハ、七宝ノ一ソ、色カ青ソ、江水ノアヲイヲ、玉ニ比シタソ、又ドコソ、所ノ名カ、ヲホエヌソ、<sup>姓</sup>氏<sup>セイ</sup>濟陽<sup>セイ</sup>ニ江氏<sup>セイ</sup>アリ、伯益<sup>エキ</sup>之後<sup>セ</sup>封<sup>セ</sup>ニ<sup>一</sup>於江<sup>ニ</sup>因<sup>テ</sup>氏<sup>トス</sup>、伯益<sup>トス</sup>ハ、舜ノ良臣ナリ、江陵ニ封セラレタソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>充<sup>ル</sup>容<sup>ハウクワイ</sup>貞魁<sup>ハウクワイ</sup>偉武帝曰、燕趙<sup>トニ</sup>固<sup>ニ</sup>多<sup>ニ</sup>奇<sup>ニ</sup>士<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、<sup>本</sup>江<sup>ニ</sup>ナリギタイ、大ナソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>カ、カタチナリ、ナリカ、リノ<sup>一</sup>ソ、武帝ノホメテ、云ヘタソ、北<sup>一</sup>国ノ燕<sup>一</sup>ノ国ニハ、器用ナ者ガ多ト、マコトニ、サウアルヨトイワシムタソ、汝<sup>ニ</sup>穎<sup>ニ</sup>多<sup>ニ</sup>奇<sup>ニ</sup>士<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>ト、同シ心ソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>追<sup>イウ</sup>、<sup>ヤク</sup>燕<sup>セツ</sup>鷄<sup>ヤク</sup>燒<sup>セツ</sup>賊<sup>ノ</sup>營<sup>ノ</sup>一<sup>ニ</sup>、詳<sup>ニ</sup>鷄<sup>ニ</sup>蒙<sup>ニ</sup>求<sup>ニ</sup>ニアリ、齊ノ勻鷄ノ所ニアリ、鷄ニ、火ヲユイ付テ、テキノ城エ、ハナイテ、テキノ陣屋ヲ、ヤイタソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>淹<sup>エン</sup>、字文通夢得<sup>トウニ</sup>五色<sup>ニ</sup>筆<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>而文章<sup>ヲ</sup>顯<sup>アラワル</sup>、此モ、蒙求ニアリ、夢二人ノ五色ノ筆ヲ、クル、トミ

テ、カラ、文章ヲフデ、カキダス、スクレテ、名ガアラ<sup>188ウ</sup>「ワレタソ、錦ヲ一タン、人カクレタトモアリ、ノチニ、トラセタ者ガ、コウタニ、ノコツタヲ、カヤイタレハ、ノコリズクナニ、ナツタヲミテ、ブケウシタ色アツタト、シタモアルソ、<sup>サキ</sup>割<sup>メニ</sup>尽<sup>メニ</sup>胸<sup>ニ</sup>无<sup>ニ</sup>錦<sup>ニ</sup>ト、景徐ノ章句ニメサレタソ、升<sup>ニ</sup>降<sup>ニ</sup>承明之関<sup>ニ</sup>（関カ）一<sup>ニ</sup>出<sup>ス</sup>入<sup>ス</sup>金華<sup>ノ</sup>之<sup>ニ</sup>殿<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>、承<sup>一</sup>ハ、内裏ノウチノ出<sup>一</sup>仕スル、<sup>ニ</sup>テ<sup>ニ</sup>ンソ、ソレニヲリノホリメ、奉公マウス心ソ、承<sup>一</sup>ノ廬トアリ、コ、ニ関<sup>（関カ）</sup>トシタモ、同<sup>一</sup>心ソ、金<sup>一</sup>ハ、学士ノイル殿ナリ、ソコエ、デイリ、フダンシタソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>炬<sup>（炬カ）</sup>、為<sup>ル</sup>廬<sup>ノ</sup>江<sup>ノ</sup>守<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>廉<sup>ヲ</sup>称<sup>セラル</sup>名<sup>トキ</sup>還<sup>ル</sup>、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>輕<sup>シ</sup>皆<sup>ス</sup>載<sup>ス</sup>レ<sup>ヲ</sup>士<sup>ヲ</sup>、江<sup>一</sup>廬<sup>一</sup>ノ守<sup>ニ</sup>護<sup>ニ</sup>ナツテ、イタソ、レンチヨクヲ以テ、人ニシラレタソ、天子ノ御キ、アツテ、メシミラレタ<sup>189オ</sup>「ソ、守護ニナツテ、モトル時ニ、サキカラ、ナニモ、トテコイデ、アマリ舟ガカルイホトニ、土ヲ一ハイ、舟ニノセテ、帰タソ、名人ソ、マレナ<sup>ス</sup>ソ、<sup>ハ</sup>一<sup>ニ</sup>万里<sup>ス</sup>趙<sup>ス</sup>宋<sup>ス</sup>人<sup>ス</sup>号<sup>ス</sup>古<sup>ト</sup>心<sup>ト</sup>一<sup>ニ</sup>宋<sup>ハウメ</sup>亡<sup>テ</sup>赴<sup>ニ</sup>水<sup>ニ</sup>死<sup>ス</sup>、文章モスクレ、<sup>キ</sup>氣<sup>キ</sup>ガイ、石カネヲモ、トヲス如ニメ、節義カ、高ソ、ヒツコウテ、閑居メ、イタソ、宋ガホロビテ、元朝ノ命ヲアラタメ

テ、天下ヲトルニノソシテ、フチニ、身ヲナゲテ、死タソ、

○<sup>カウ</sup>杠、<sup>ノノヨコ</sup>牀前横<sup>キハ</sup>木又<sup>ナリ</sup>旌旗竿、<sup>ノハ</sup>〔**広韻**〕天子<sup>ノハ</sup>一高九<sup>ハ</sup>仞諸侯七仞大

(濁点先)

夫三仞、ハタザ<sup>シ</sup>ヲノ、タカサナリ、仞ハ、七尺ヲ云ソ、又

〔**晋天文志**〕<sup>クワノタノ</sup>華蓋<sup>ヲ</sup>下<sup>ト</sup>九星曰<sup>ト</sup>レ、<sup>チウ</sup>〱綢杠、素錦<sup>ハ</sup>一、<sup>ノ</sup>〔**礼旗**〕竿ナ

ケ

リ、素<sup>ハ</sup>一ハ、ハタデアラウ<sup>189ウ</sup>一ソ、<sup>ハ</sup>〱天杠、北極<sup>ハ</sup>一、北

一ハ、星ノ北方ノ心カ、天<sup>ハ</sup>一ハ、星ノ名カ、<sup>ノ</sup>〔**隋志**〕<sup>ノナルヲ</sup>陳史ノ天

(附心)

文志ノ<sup>ハ</sup>カ、<sup>ノ</sup>〱筆如<sup>ノ</sup>レ杠、安<sup>ノ</sup>得<sup>ノ</sup>三巨<sup>ノナルヲ</sup>一<sup>ノ</sup>如<sup>ノ</sup>二長<sup>ノナルヲ</sup>一、<sup>ノ</sup>〔**欧**〕巨

ハ、大ノ心ソ、大フデノ、軸ノナガイ竿ノヤウナガ、ホシイ

ト云心ソ、<sup>タウ</sup>〱錦<sup>ハ</sup>韞<sup>ハ</sup>杠、<sup>ハ</sup>韞<sup>ハ</sup>弓<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>〔**谷**〕弓ヲ錦ニツ、ンタ

カ、竿ノ如ナ心カ、<sup>テ</sup>〱杠、<sup>ヲテ</sup>聚<sup>ハ</sup>石渡<sup>ハ</sup>水通<sup>ハ</sup>作<sup>ハ</sup>レ杠、ワタリニ、

ト

石ヲツミアゲテ、ハシノ代<sup>ハ</sup>ニメ、ワタル心ソ、<sup>ハ</sup>〔**孟**〕ニアリ、冬

ナレハ、水ガマスホトニ、ハシヲカケ、梁ナトヲ、ワタイテ、

ワタル<sup>ハ</sup>ナリ、十一月徒杠<sup>ニ</sup>成<sup>ル</sup>トアリ、ハシヲカケタリ、谷川

ナドニ、一<sup>キ</sup>一本木ヲ、打ワタイテ、トタル<sup>ハ</sup>ソ、徒<sup>ハ</sup>一ハ、木<sup>ハ</sup>一

一本、ウチワタ<sup>190オ</sup>一<sup>ハ</sup>イタヤウナ<sup>ハ</sup>ソ、又<sup>ハ</sup>〔**尔雅**〕<sup>ウ</sup>石杠<sup>ハ</sup>謂<sup>ハ</sup>二之倚<sup>ハ</sup>一、

ヨル心タノム心ソ、

〱石杠、六月飛雪<sup>ソハク</sup>洒<sup>ニ</sup>ニ<sup>ハ</sup>一、<sup>ハ</sup>〔**欧**〕雪<sup>ハ</sup>グニデノ詩カ、六月ノ雪

モ、マレナソ、<sup>ハ</sup>〱珉杠、世俗不<sup>レ</sup>辨<sup>ハ</sup>一与<sup>ハ</sup>レ<sup>ト</sup>、<sup>ハ</sup>〔**欧**〕カ、珉ハ玉ナ

リ、杠ハ石、ナニモエミワケヌト云心ソ、<sup>ハ</sup>〱礎杠、不<sup>レ</sup>見魯

公<sup>ハ</sup>断<sup>ハ</sup>レ石、誰<sup>ハ</sup>家<sup>ハ</sup>為<sup>ハ</sup>レ<sup>ト</sup>レ<sup>ト</sup>為<sup>ハ</sup>レ<sup>ト</sup>、<sup>ハ</sup>〔**谷**〕魯公ノ石ヲ断<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>知ソ、石

キリノヤウナソ、タカ家ノ、イシズ、<sup>ハ</sup>エヤ、ミソノハシニ、

カケウスラウソ、<sup>ハ</sup>〱杠、<sup>ハ</sup>灯也、唐人用<sup>ハ</sup>二銀<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>字<sup>ハ</sup>一、唐ノ時ノ

人カ、銀<sup>ハ</sup>一ノ字ヲ、詩句ニシタソ、<sup>ハ</sup>下<sup>ハ</sup>レ箔<sup>ハ</sup>蠟<sup>ハ</sup>燒<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>、スダレ

ヲ、<sup>ハ</sup>ヲ、<sup>ハ</sup>ロイテ、ラツソクヲ、トボイタソ、<sup>ハ</sup>〔**谷**〕金<sup>ハ</sup>一銜<sup>ハ</sup>壁、

(附心)

音公、東<sup>ハ</sup>勻<sup>ハ</sup>デハ、<sup>ハ</sup>杠<sup>ハ</sup>ヲコウトヨムソ、

一<sup>190ウ</sup>〱<sup>ハ</sup>残<sup>ハ</sup>杠、<sup>ハ</sup>閉<sup>ハ</sup>門<sup>ハ</sup>孤枕<sup>ハ</sup>對<sup>ハ</sup>ニ<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、<sup>ハ</sup>〔**坡**〕門<sup>ハ</sup>ヲ、ヲシタテ、枕

ヲ、ヲシダメ、灯ヲスゴ<sup>ハ</sup>一ト、<sup>ハ</sup>暁ガタカ、火モ、キエサウ

ニ、カスカニ、残タソ、<sup>ハ</sup>〔**活**〕<sup>ハ</sup>漁<sup>ハ</sup>一、漁人ノスナドリスル火ソ、

イサリ火ト云ソ、<sup>ハ</sup>〱寒<sup>ハ</sup>一、冬夜ノサムイ火ソ、<sup>ハ</sup>〱釣<sup>ハ</sup>一、ツリ

スル舟ノ火ソ、<sup>ハ</sup>〱書<sup>ハ</sup>一、書ヲヨム火ナリ、<sup>ハ</sup>〱蘭<sup>ハ</sup>一、蘭膏ト、

多アリ、蘭ガ、油ニ入カ、シラヌソ、<sup>ハ</sup>〱青<sup>ハ</sup>一、灯ノ色ハ、ア

ライソ、<sup>ハ</sup>〱蠟<sup>ハ</sup>燒<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>、上ニアツタソ、<sup>ハ</sup>〱杠、<sup>ハ</sup>アクルトヨムソ、

〱豊<sup>ハ</sup>杠、弱<sup>ハ</sup>一歩<sup>ハ</sup>敬<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、ユウ<sup>ハ</sup>一ト、アルイテ、ソバダツテ、

ホン／＼ニモナウ、アケタ<sub>コ</sub>ソ、ナニヲアケタヤラ、文章ナ  
トノ、カノヨワウテ、ヲモイ物ヲ、アケテ、アケエヌ<sub>カ</sub>、  
ワケハ、シレヌソ、

<sup>191オ</sup>「<sup>ヘリ</sup>鼎独扛、龍文百<sup>モン</sup>斛<sup>コクノ</sup>筆力可<sup>シ</sup>ニ<sup>一</sup>」、詳鼎、秦ノ武王  
ノ孟<sup>エツ</sup>説ト龍文ノ鼎ヲアケラレタソ、孟ワ、ヒサノ皿<sub>カ</sub>ヌケテ、  
死タソ、臚トアルソ、ヒザノサラノ骨ノ、ヌケタソ、

○臈、厚也、アツイ心ソ、又雜<sup>マシワルナリ</sup>也、アイマジワツタ心

ソ、**書**不和政ードノ篇ヤラ、不<sub>レ</sub>詳ソ、可<sub>レ</sub>考ソ、<sub>ハ</sub>駿臈、

為<sub>リ</sub>二下国<sub>ノ</sub>一、**詩長発**

一<sub>ハ</sub>大<sub>ハ</sub>厚也、大ニアツイノ心ソ、此ノ詩ハ、天ヲ祭ラレタ<sub>コ</sub>  
ソ、大ニアツク、マコトノアル心ソ、<sub>ハ</sub>敦臈、民生一、

**左成**楚力鄭ノ難儀ヲスクウテ、軍ヲイダシタ時ノ<sub>コ</sub>ソ、民モ

マコトニ、マタウアリ、楚ノ君ノ<sup>191ウ</sup>「心エモ、ヨ、カツタ<sup>前心</sup>

ソ、今ハ民ヲステ、心エモ、ワルイホトニ、命ニ、カワツ

テ、合戦スル者アルマイト云タソ、<sub>ハ</sub>鴻臈、<sup>アツス</sup>庄<sub>二</sub>后土<sub>ノ</sub>之<sub>一</sub>

一、ナニヲ云タヤラ、鴻一ハ、上ノ敦一ト同心ソ、<sub>ハ</sub>言臈、<sup>コトアツシ</sup>

文勝<sup>スケレテ</sup>而一、**韓**<sup>（韓心）</sup>

<sub>ハ</sub>眉臈、哆<sub>一</sub>口疎<sub>二</sub>ニ<sub>一</sub>、モノハ、ロヲタ、イテ、云ソ、アツ  
イ眉<sub>一</sub>毛ハ、ヲロソカナ心ソ、年ノヨツタ<sub>コ</sub>カ、<sub>ハ</sub>服臈、衣  
之臈一、**左**コ、ノ点、フシン、可考、○<sub>ハ</sub>尫、犬<sup>ノ</sup>多<sup>レ</sup>毛、ナリ、

ムク犬ノツレカ、**詩**无<sub>レ</sub>使<sub>レ</sub>也吠ナリ、犬ヲホヤスナト云心  
カ、又雜也、マシワル心ソ、前ニアツタソ、一涼冬殺、可考、  
涼ハ、ウスシトヨムソ、厚薄ノ心カ、<sub>ハ</sub><sup>192オ</sup><sub>コノ</sub><sup>サウネイ</sup>尫、一<sub>ハ</sub>或夜<sub>一</sub>吠<sub>ウ</sub>

**坡**枸<sup>ク</sup>「杞根ナリ、<sub>ハ</sub>奇尫、音<sub>一</sub>容<sup>サウネイ</sup>儻<sup>ス</sup>儻服<sub>二</sub>ニ<sub>一</sub>」**坡**儻一、

ユワイ<sub>コ</sub>ソ、弱ノ心ナリ、クタヒレタ心モアルソ、**活**<sub>ハ</sub>吠<sub>レ</sub>月<sub>ニ</sub>

一、月夜ニホユルソ、月ヲハ、ホエヌソ、○<sub>ハ</sub>嚙<sup>マウ</sup>惡<sub>一</sub>少<sub>ハ</sub>嘲<sup>タウ</sup>嚙<sup>ゲキ</sup>

語<sup>テ</sup>乱<sub>一</sub>**谷**嚙<sub>ハ</sub>、ヲウゼイ、ヨリヤウテ、カシマシウ、モノヲ

云<sub>コ</sub>ソ、人ヲアサケルハ、犬ノホユル如ナソ、○<sub>ハ</sub>驪、馬<sup>ノ</sup>額<sup>ヒタイ</sup>

白ナリ、又夷部名ナリ、西南ノヒツジサルノ方ノ、夷ヲ云ソ、

**相如伝**邛<sup>カウサケゼン</sup>苴冉一、四ハ夷ノ部ノ名ナリ、

○窓、<sup>ソウ</sup>鷄窓、宋<sup>ソウ</sup>処宗<sup>ニ</sup>著<sup>ク</sup>二<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>間<sup>ニ</sup>、功<sup>ニ</sup>業<sup>ニ</sup>大<sup>ニ</sup>進<sup>ム</sup>、詳<sup>レ</sup>鷄、<sup>47</sup>八窓、

五戸<sup>一</sup>明堂之制、**礼冬官注**天子ノ、天ヲマツラシム所ヲ、

明堂ト「云ツ、イカニモ、明ナソ、戸カ、五窓カ、八<sup>(47)</sup>

ソ、玲<sup>ス</sup>瓏<sup>ヲ</sup>一<sup>一</sup>、**谷**玲<sup>一</sup>、玉ノスキトヲツテ、明ナ心ソト

リアケタ<sup>レ</sup>テハナイン<sup>一</sup> <sup>(47)</sup>南窓倚<sup>テ</sup>二<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>以<sup>テ</sup>寄傲<sup>ガウス</sup>**陶詞**帰

去来ノコトバナリ、南ノアカイ窓ノキワエヨツテ、心ヲナグ

サメテ、ヲゴツタ心ソ、<sup>ニ</sup>北窓、陶潜<sup>セン</sup>高<sup>メ</sup>臥<sup>ニ</sup>二<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>自<sup>ラク</sup>謂<sup>ニ</sup>義

一<sup>ノ</sup>阜<sup>ナリト</sup>上人<sup>ニ</sup>、詳<sup>レ</sup>人、陶力、夏ノアツイニ、北ノザシキスバシ

イ方、窓ノモトニ、高マクラメ、フセツテ、涼イ風ニ、吹レ

テ、快然トメ、タノシンテ、吾トヲモウタソ、吾ハ、上代ノ

伏キノ世ニ、太平ノ世ヲタノシンタ、民人デアルゾ、ト、ア

マリノタノシミノ、アマリニ、云タ<sup>レ</sup>ソ、<sup>ニ</sup>緑窓、一<sup>一</sup>貧

家女<sup>193オ</sup>**楽天**緑<sup>一</sup>、<sup>ハ</sup>ケツコウナ、窓サウナソ、ソコニ、

貧女カ、イタハ、ニツカヌヤウナソ、但、緑<sup>一</sup>ハ、イヤシイ、

ソサウナ窓カソ、キレイナ窓ニ、貧女ハ、相応セヌソ、<sup>ニ</sup>

錦窓、撩乱<sup>一</sup>、撩乱ハ、ミタレタ心ソ、窓ノ乱タハ、心エ  
ヌソ、ナニガ、撩<sup>一</sup>タル<sup>レ</sup>ソ、**韋楚老詩**<sup>ニ</sup> <sup>ニ</sup>綺窓、瓊楼<sup>一</sup>、

**選**玉楼ト同ソ、綺ハ、カンバタトヨムソ、ケツコウナ、キヌ

ノ<sup>レ</sup>ソ、ソレデ、窓ヲハツタソ、<sup>ハ</sup>断<sup>レ</sup>窓、楊滔<sup>タウ</sup>為<sup>ニ</sup>中舎<sup>ト</sup>一

催<sup>モス</sup>レ作<sup>ニ</sup>制<sup>レ</sup>勅<sup>一</sup>令<sup>モツテ</sup>史将<sup>ヤク</sup>二<sup>ニ</sup>鑰<sup>ジツ</sup>匙<sup>ツシ</sup>一<sup>一</sup>出<sup>タツ</sup>无<sup>ノ</sup>二<sup>ニ</sup>本<sup>キ</sup>可<sup>ケンス</sup>一<sup>一</sup>検<sup>ヲル</sup>一<sup>一</sup>取

レ之号<sup>ヲス</sup>二<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>舎<sup>ト</sup>人<sup>一</sup>、楊<sup>一</sup>ハ、唐ニツカエタソ、中書舎人ノ官

ニナツタソ、天子ノ詔書ヲ、カキダス官ソ、シタデ、<sup>193ウ</sup>制

作ノ本ナトアツカウ、令史ト云者アリ、ソレヤウナ、カキタ

シナドノ、本トモヲ、吾所ニライテ、<sup>ニ</sup>ジャウヲロイテ、カ

ギヲ以テ、ヨソエ、行タソ、留<sup>一</sup>守<sup>ニ</sup>、詔書ヲ、サウ<sup>一</sup>、カ

イテ、マラセイト、サイソクアルホドニ、本ガナウテハ、カ、

レヌホトニ、令史、<sup>ニ</sup>ジャウヲ、ヲロイタ所ヲ、キリ破テ、本

ヲトリタイタソ、中書舎人ヲ、コ<sup>ニ</sup>、中舎ト、キツテ、ノ

セタソ、刑部侍郎ヲ、刑待ト、詩学大成ニキツタソ、翰林学

士ヲ、源流至論ニ翰学トキツタソ、断窓ヲ、断<sup>一</sup>トモ、別ノ

書ニ、シタソ、断<sup>一</sup>ノ<sup>レ</sup>ハ、**職林**ノ書ニアリ、排勻ニモノセ

<sup>47</sup>以後、原本に「窓」とある箇所は、『韻府群玉』では「窓」とする。

タソ、

194オ

「<sup>194オ</sup>船窓、浅沙明月入<sup>ル</sup>ニ<sup>ニ</sup>湖辺ノ詩ナリ、ウス／＼ト

シタ、ハマノ平沙ヲ、テラス、月影カ、舟ノ窓エ、サシ入タ

ソ、**〔欧〕**虹窓、晴<sup>ルツラスク</sup>夜貫<sup>レ</sup>**〔谷〕**ヨル、虹カ、マドヲ、サシ

スイタソ、谷カ本ニハ、晴虹貫<sup>ク</sup>夜<sup>ヲ</sup>トアルカ、

琉璃窓、満奮坐<sup>フンス</sup>武帝<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>有<sup>リ</sup>寒<sup>ニ</sup>色<sup>ニ</sup>云<sup>ハフ</sup>屏<sup>ト</sup>、詳<sup>レ</sup>喘、

喘ノ所ニアリ、満<sup>ヲツレ</sup>風ヲ畏<sup>ヲツレ</sup>タソ、晋ノ者ナリ、武帝ノ、ルリ

ノ窓ノ内ニイテ、ヒエタ、サムイ色カ、ミエタソ、スワフキ

ガ、ツイテ、セイタソ、帝ノ、ソチガ、テイハ、呉ノ牛カ、

月ヲミテ、アエイデ、スタメクヤウナワト、イワシムタソ、

「玉女窓、玉女窺<sup>ウカ、ツテ</sup>レ<sup>ヲ</sup>而下<sup>シ</sup>視<sup>ル</sup>選<sup>ル</sup>灵光付<sup>ル</sup>文選ノ魯灵光

殿ノ付ノ句ソ、刻<sup>194ウ</sup>玉<sup>ノ</sup>女形於窓上<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>也<sup>ニ</sup>、莫<sup>レ</sup>宿<sup>ニスル</sup>ニ<sup>一</sup>

一<sup>ニ</sup>、**〔李〕**ナセニ、莫<sup>レ</sup>宿トハ云タソ、<sup>194ウ</sup>雲霧窓、赤壁風月笛、

玉堂<sup>一</sup>、**〔谷〕**ガ、東坡力詩ニ、作タソ、赤壁デ、舟ニ遊タ

ソ、風月ヲ玩テ、笛ヲキイタソ、玉堂ハ、翰林学士テ、朝廷

雲井ノ上ニ、書窓テ、書トモ、ヨウテ、高イ位ニイタソ、雲

窓霧閣事<sup>カウ</sup>恍<sup>コツ</sup>惚、雲<sup>一</sup>霧<sup>一</sup>ノ、高イ所テ、ヨリヤウテ、遊タ

ハ、夢マホロシソ、恍<sup>一</sup>ハ、ウツ、ノ<sup>一</sup>ソ、**〔華山女詩〕**タガ詩

ヤラ、名ハナイソ、此ハ、巫山ノ神女ニ、襄王ノタヨラメ、

ナサケヲカヨワカイテ、為<sup>リ</sup>雲<sup>ト</sup>為<sup>ト</sup>雨ト、イワレタ、ツレノ

カ、<sup>195オ</sup>日影透<sup>トナル</sup>窓、老<sup>一</sup>宿<sup>テ</sup>見<sup>ノ</sup>ニ<sup>一</sup>問<sup>ヲテ</sup>百丈<sup>ノ</sup>惟<sup>ニ</sup>政<sup>ヲ</sup>

師<sup>ニ</sup>日<sup>ク</sup>就<sup>ツク</sup>窓<sup>ニ</sup>乎<sup>カ</sup>窓<sup>ク</sup>就<sup>ニ</sup>日<sup>カ</sup>乎<sup>48</sup>、フルビタ、老僧ノアツタカ、

百丈山ニ、住セラレタ、惟一ト云長老ニ、一問ヲアケテ、ト

ウタソ、アサヒノ、窓エサシ入ハ、窓カ、日ノ所エ、イテ、

「ニナル<sup>一</sup>カ、日カハル<sup>一</sup>、コ、ノ窓エ、高イソラカラ、

キテ、窓ニ、ヒタトツイテ、照ス<sup>一</sup>カ、フシンニソウト云タ

ソ、師<sup>ク</sup>日<sup>ク</sup>長老房内有<sup>ニ</sup>客<sup>リ</sup>帰<sup>ハ</sup>去<sup>シ</sup>好<sup>一</sup>、住持ノ所ニ、客来カアルソ、

用カアラウスラウ、トウ帰ラレタラハ、ヨカラウソ、此ヲ、

ナンテモ、トウホトニ、返答セヌ心ソ、イナセタ心ソ、古禅

師<sup>一</sup>来カ、二三冊アルソ、雲門ノ孫カ、雲門ノ来ヲヨウテ、大

48 『韻府群玉』当該箇所には「牕就日乎、日就牕乎」とあり、四字が転倒する。なお、国会本には「日就<sup>ツク</sup>窓<sup>ニ</sup>乎<sup>カ</sup>」とのみあり、「牕就日乎」に相当する部分を欠く。

悟シタ人ソ、

195ウ

「<sup>キル</sup>蜂子<sup>ヲ</sup>鑽<sup>レイアンキヤメ</sup>レ窓、古<sup>テス</sup>実行脚回参<sup>ゴウノニ</sup>ニ受業師<sup>ニ</sup>、々窓下看<sup>キン</sup>経

有<sup>リ</sup>ニ<sup>トウメ</sup>「投<sup>ニム</sup>レ窓<sup>シヲ</sup>求<sup>ノク</sup>レ出<sup>ク</sup>、<sup>カクノヒロシメ</sup>実<sup>アエテ</sup>曰<sup>キル</sup>世界如<sup>ノ</sup>レ許<sup>ノ</sup>闊<sup>ノ</sup>不<sup>ノ</sup>肯<sup>ノ</sup>出<sup>ノ</sup>ニ<sup>ニ</sup>它

故紙<sup>ヲ</sup>ニ、<sup>195ウ</sup>伝<sup>ワ</sup>灯<sup>ワ</sup>古<sup>ワ</sup>実<sup>ワ</sup>ハ、名<sup>ハ</sup>ハ神<sup>サシ</sup>贊<sup>ニ</sup>、行脚遍参<sup>ニ</sup>メ、帰<sup>テ</sup>、前<sup>ニ</sup>、経

ヲヨミ、戒ナドウケタ坊主ヲ、受業ノ、師ト云ソ、業ヲウケ

伝ル心ソ、業ハ、ワザトヨムソ、経帛<sup>195ウ</sup>デハ、ゴウトヨムソ、

詩文デハ、ケウトヨムソ、マナビシラウズワザヲ、ウクル人

ヲ、受業師ト云ソ、業ハ、ナル心ソ、日本ニ、名<sup>ナノリ</sup>乗<sup>ニ</sup>ヨミニ、

業<sup>ナリ</sup>ヒラナト、ヨムソ、古<sup>ナリ</sup>実<sup>ニ</sup>ノアンキヤメ、モトツテ、モト

ノ坊主ニ、相看シタレハ、マトノモトニ、看<sup>196オ</sup>経<sup>ニ</sup>メ、イラレタ

ソ、マドノカミヲ、蜂ガ、キツテ、デウド、<sup>196オ</sup>「シタヲ、実

ノミテ、イワレタソ、ヘンサンメ、一見<sup>196オ</sup>所<sup>ニ</sup>ヲ得<sup>ニ</sup>タホトニ、

云タソ、世界ノ、コレホトニ、ヒロイセカイニ、ド<sup>(濁点左)</sup>チエナ

リトモ、デハセイテ、此カミヲキルヲヨ、グチナヲ、カワイ、

ト云心ソ、<sup>197オ</sup>伝<sup>ワ</sup>灯<sup>ニ</sup>ニアリ、此ヲハ、物ニ多<sup>カ</sup>ノルソ、坡<sup>カ</sup>詩<sup>ニ</sup>ノ注<sup>ニ</sup>、

作<sup>ス</sup>レ蠅<sup>ト</sup>、坡力注ニ、モトヨリアリ、此ヲヲ、引ニハ、皆蠅トア

ルソ、蜂トアルワ、多ハナイソ、<sup>ミ</sup>獼<sup>ゴ</sup>猴<sup>ロク</sup>六<sup>カ</sup>窓、仰山問如何<sup>フ</sup>

得<sup>シ</sup>ニ見<sup>ヲ</sup>性<sup>ニ</sup>一師曰如<sup>ノ</sup>三屋<sup>カ</sup>有<sup>ニ</sup>六<sup>ニ</sup>窓<sup>ニ</sup>内<sup>ニ</sup>有<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>東<sup>ニ</sup>辺<sup>ハ</sup>呼<sup>ト</sup>レ山<sup>コタウ</sup>山<sup>ウ</sup>底<sup>ニ</sup>

如<sup>ク</sup>レ是<sup>ノ</sup>一<sup>ニ</sup>俱<sup>ニ</sup>呼<sup>ヘハニ</sup>俱<sup>コタウ</sup>応<sup>ニ</sup>、詳<sup>ニ</sup>レ猴<sup>ニ</sup>仰山ノナントメカ、見<sup>ニ</sup>性<sup>ス</sup>

ルヲヲ、得ウト、問レタソ、師曰、瀧山テ、アラウソ、タト

エハ、人ノ家ニ、六<sup>196ウ</sup>所<sup>ニ</sup>ニ、<sup>196ウ</sup>「窓力、アラウソ、マドノ内

ニ、サルカ、一ヒギ、アラウスニ、東テ、マシトヨヘハ、コ

タユルソ、ドチデマリ、ヨブ方デ、コタユルソ、六所ノ窓デ、

一度ニヨベハ、一度ニコタユルソ、六ノマトハ、人ノ六根ソ、

目<sup>197オ</sup>口<sup>ニ</sup>等<sup>ニ</sup>ソ、一度ニモ、モノヲ、ミ、カギ、アチワイ、フレ心

ニシルソ、サルワ、性ニタトエタソ、サルハ、主人ノ公ナリ、

性ナリ、<sup>197オ</sup>活<sup>ハ</sup>軒<sup>ハ</sup>、軒ハ、ノキトヨムソ、ノキマト、云心ソ、

「灯<sup>ハ</sup>、ウチニ、灯ノアルマドソ、<sup>197オ</sup>「書<sup>ハ</sup>ハ、アカリヲウケ

テ、書ヲヨムマドソ、<sup>197オ</sup>「螢<sup>ハ</sup>ハ、螢ヲアツメテ、灯ノ代ニメ、

書ヲヨムマドソ、<sup>197オ</sup>「篷<sup>ハ</sup>ハ、舟ノトマフイタマドソ、<sup>197オ</sup>「青<sup>ハ</sup>瑣<sup>ハ</sup>ハ、玉ナトヲ、カザリニスルソ、千<sup>ノ</sup>条<sup>ハ</sup>弱<sup>ハ</sup>柳<sup>ハ</sup>垂<sup>ハ</sup>青<sup>ハ</sup>瑣<sup>ハ</sup>ハ、

杜力<sup>197オ</sup>「作モ、ダイリノマドソ、太史瑣窓ト、谷モ作ソ、官

人ノ家ノマドナリ、<sup>197オ</sup>○<sup>セウ</sup>撻<sup>ハ</sup>、撞也ツクナリ、鐘ヲツクニ、撞

ヲヨムソ、<sup>197オ</sup>前<sup>ハ</sup>相<sup>ハ</sup>如<sup>ハ</sup>伝<sup>ハ</sup>ニ、<sup>197オ</sup>「<sup>ツク</sup>金<sup>ハ</sup>鼓<sup>ハ</sup>ニツ、ミノ時ハ、打ナリ、

ツクトハ、ヨマヌソ、赴<sup>テ</sup>節<sup>ニ</sup>初<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>韓<sup>ニ</sup>音曲ノ、ホドヒヤウシニ、  
チャウ<sup>ニ</sup>ト、アウヲ、赴<sup>ニ</sup>ト云カ、○鑑<sup>サウ</sup>、矛盾、ホコノ  
ルイナリ、

○邦、書二百里<sup>ハタン</sup>男<sup>ニ</sup>、クニトヨムソ、漢書ニハ、邦ノ字ヲ、  
サタナイン、高祖ノ名ガ、邦ナリ、書ノ禹貢ノ篇ニ、二百  
里男<sup>ニ</sup>、男ノ位、王者ノ用ヲトリアツカウソ、二百里ノ内  
ヲ、ハカラウ<sup>1977</sup>「ソ、ソレヲ、邦ト、ソウメハ、大ヲ邦ト  
云イ、小ナヲ、国ト云タソ、誥<sup>ニ</sup>多<sup>ニ</sup>、書ノコトハナリ、  
誥ノ名多ソ、ドノ誥ヤラ、不<sup>レ</sup>詳、詩殿<sup>ニ</sup>天子<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>、トノ  
詩ヤラ、不<sup>レ</sup>詳、語一<sup>ニ</sup>言<sup>ニ</sup>興<sup>ニ</sup>、コトバーテ、国ヲヲコシ、  
ホロホス<sup>ニ</sup>アルソ、大事ト、イワレタソ、<sup>1977</sup>迷<sup>ニ</sup>邦、懷<sup>ニ</sup>  
レ宝<sup>ニ</sup>

ー<sup>ニ</sup>、語十七<sup>ニ</sup>論<sup>ニ</sup>吾<sup>ニ</sup>ノ十七篇、陽貨力篇ニアリ、陽<sup>ニ</sup>クセヤツ  
ソ、孔子ニイラシメ、ザウタンセウト云タソ、陽<sup>ニ</sup>カ孔子ニ  
云タ語ソ、懷其宝迷其邦ヲハ、仁トイワウカト云タソ、孔子  
ノ聖人ノ徳ヲ、身ニモタレタハ、宝ヲ、フトコロニイダイタ  
者ナリ、出テ、ツカワレイデ、閑<sup>1980</sup>人デ、「ネリマワルハ、

邦ヲ、マトワイタ者ト、孔子ヲ、ワルウ云タソ、天下ヲ吾カ  
テ、仁義ヲ云トモ、ソレデ、治ルマイヲ、知テ、ツカワレ  
ヌ<sup>ニ</sup>ソ、

「<sup>1980</sup>経<sup>ニ</sup>邦、論<sup>ニ</sup>道<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>周<sup>ニ</sup>官<sup>ニ</sup>経<sup>ニ</sup>レ邦<sup>ニ</sup>ハ、経<sup>ニ</sup>タテヌキニ、ナル心  
ソ、<sup>1980</sup>陋<sup>ニ</sup>邦、我詩<sup>ニ</sup>如<sup>ニ</sup>曹<sup>ニ</sup>邴<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>浅<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>成<sup>ニ</sup>レ<sup>ニ</sup>谷<sup>ニ</sup>力、吾詩ヲ、  
卑<sup>ニ</sup>下<sup>ニ</sup>メ、小国ノ曹ト、ヨウトニ、タトエタソ、アサウ、イヤ  
シイホドニ、国トハ、云ヘトモ、名マデ、ソツトシタ、小  
村<sup>ニ</sup>ホトモ、ナイソ、<sup>1980</sup>比<sup>ニ</sup>大<sup>ニ</sup>邦<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>羊<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>齊<sup>ニ</sup>魯<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>魚<sup>ニ</sup>  
比<sup>ニ</sup>二<sup>ニ</sup>邾<sup>ニ</sup>莒<sup>ニ</sup>小<sup>ニ</sup>国<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>羊<sup>ニ</sup>ノヨイ肉ヲハ、齊ヤ魯ノ大国ニ比ソ、魚ハ、  
邾ヤ莒ノ小国ニタトエタソ、此ハ、齊王肅ノ鯽魚ノ、アツモ  
ノヲ、食メ、ノトカワイテ、茶<sup>1980</sup>「ヲノウデ、イワレタ語ナ  
リ、羊ハ、クガノメツラシイモノ、魚ハ、水中ノ美物ノカシ  
ラナリ、羊ハ、大国、魚ハ、小国ニ、タトエタソ、コ、ニ、  
酪<sup>1980</sup>ノ一味アリ、茗ト奴ニハ、シガタイソ、アクル日、彭城王  
ノ所ニ、魚<sup>ニ</sup>物ノモテナシアリ、酪ガアツタソ、ソコテ、茶ヲ、  
酪ノシモベトシタソ、又謝宗カ、茶ヲ評<sup>ニ</sup>論<sup>ニ</sup>シタニ、茶ハナニ  
カ、酪<sup>1980</sup>奴デハアラウソ、マサニ酒ノ代ヲセウズ者ソ、茶ヲ酪

奴ト云タハ、大ニモトノ云タ、本文ニ、チカウタ、ソバツラ  
ナフソ、**人名**劉ー漢祖ナリ、漢ノ高祖ノ名ナリ、此ニヨツテ、  
漢書ニ邦ノ字ナイソ、史記一部ニ司馬遷カ、ヲヤノ名ノ、談  
ノ字ナイソ、

199オ  
「○缸、或作**瓠**、漢書**醢醬**千瓠、注長頸甕ナリ、缸  
ハ、クヒノナガイツボナリ、コヽラニ云、鶴クビノツレン、

漢書ニアル、シヽビシヲ入ルヽカメヲ、瓠トシタソ、瓠

モ、缸モ、一ツ字也、

ハ玉缸、茗碗蔗漿携所**有**瓷甕无謝ー為レ、杜詩、二  
句ノ、トヽノエ、心エカタイソ、義除之、ハ金缸、豈惟間

伴倒ニー**荊公**タヽソナタエマイツテ、シツカニ、相伴、  
酒ツホヲ、ヒツカタムクルハカリテハ、ナイソ、此心カ、間

伴ノ間ハ、閑ノ心カ、

ハ春缸、寒**醅**潑ニー、寒ー、冬ノサムイニ、春ノ用ニ、  
カメニ入タヲ、トリダイテ、ウツスヲ、ソヽクト云ソ、

ハ甕缸、傾樽与斟酌四壁堆ニー、タルノ酒ヲ、カタム

ケテ、トモ／＼ニ、クンテ、ノムソ、四方ノ、ヘイヤ、カキ

ノモトニ、アキダルヲ、ツミカサネテ、ワイタソ、**韓**ハ紅、  
纏レ缸、誠堪レ婿ニ阿巽一買レーニ酒ー、**谷山谷**子求ニ

昏於東坡子邁伯達之女阿巽一其後契闊竟不レ成ニ昏一**定**親  
以ニ綵ーニ酒壺ニ故云、山谷カ子東坡カ子ノ遊ガ、ムスメ

ノ阿巽ヲヨメニ、トラウト云イアワセタソ、ソノノチ、トカ  
ウ、スリチガウテ、縁ノカ、ナライデ、ハテタソ、祝一言ノ

酒ヲ、ヤルニハ、サカツボヲ、紅ナ、キヌヤ、イトナドテ、  
クルリト「マクソ、ソレヲ、マトウト、云ナリ、此ハ、東

ノ紅ノ所ニモ、カイタソ、  
ハ釀盈レ缸、挿**秧**盈**疇**ー酒ー、**廬山高**ノ文ニア

リ、欧カ文ナリ、秧ハ、イネノ苗ナリ、ハサムハ、ウエタ  
ソ、田ニ、サシハサムソ、田ニサシ入ソ、ウネーハイニ、ミ

チタソ、酒ヲ作タハ、カメニミチ／＼タソ、  
○降、**詩**福一**禄**攸レ、トノ詩ヤラ、不レ詳、天帝カラ、福禄ノ

サイワイヲ、子孫ニ、クタサレタソ、クタルトキハ、仄、ク

49 『韻府群玉』当該箇所には「甕」とある。なお、出典となる蘇軾「送楊孟容」にも「何以待我歸 寒醅發春缸」とある（『続国訳漢文大成』に拠る）。



タスノ時ハ、平ナリ、降参ノ時ハ、平ナリ、<sup>ハ</sup>崇降、文王  
伐<sup>ツ</sup>レ<sup>ヲ</sup>不<sup>ク</sup>降、退<sup>テ</sup>備<sup>ヘ</sup>（備<sup>カ</sup>）<sup>ヲ</sup>二<sup>ヨ</sup>德<sup>ソ</sup>教<sup>ニ</sup>一<sup>コ</sup>因<sup>リ</sup>壘<sup>ニ</sup>而<sup>テ</sup>一<sup>タル</sup>、**僖十九**崇ノ

国ノ主、文王ニシタカワヌホトニ、打レタ、三十日マテ、ク

タ<sup>200ウ</sup>「ラヌホトニ、カエリテ、徳ヲナサレテ、又立テ、セメ

ラレタ城ノキワエ、キテ、カウサンシタソ、<sup>ハ</sup>原降、晋文

公退一舎而<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>原ト云所ヲ、ウタレタソ、三日ノ兵糧ヲ、モ

タセラレタソ、ソレニナラヌソ、三日ヤクソクメ、諸セイニ、

云タ<sup>フ</sup>「チカエハ、虚言ニナルト云テ、ワルイト云テ、引退

レタソ、ソレヲ、キイテ、信ノツヲイ人ニハ、カサンデハト

云テ、キラ<sup>ツカ</sup>クシタソ、コ、モ、一舎ノヤクソクデ、ヒキノ

カレタソ、イクサモ、マコトカナケレハ、人カ、ツカヌソ、

<sup>ハ</sup>乞<sup>ナケテ</sup>降、投<sup>ヲ</sup>レ<sup>ヲ</sup>戈<sup>ヲ</sup>レ<sup>ヲ</sup>破<sup>ナケテ</sup>朱泚<sup>ヲ</sup>文<sup>ヲ</sup>朱<sup>ヲ</sup>一<sup>ヲ</sup>ハ唐ノ臣ナリ、イツレ

ニ、逆ヲナイテ、ウツホコヲ、ステ、<sup>201オ</sup>降参シタソ、「<sup>ハ</sup>

受降、漢ノ時ニ、胡カ、カウサンヲ乞タソ、城ヲコシラエテ、

降人ニ、アワレタソ、ニアリ、東受降城西<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ト云タソ、

一<sup>ハ</sup>レ<sup>ヲ</sup>如<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>受<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>敵<sup>ハ</sup>後景<sup>ハ</sup>秉<sup>ハ</sup>伝<sup>ハ</sup>降人ヲ、ヲサムル<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ハ、大敵ヲ、ヒ

キカケタ如ニ、ヲモエソ、ユダンメハ、クセ<sup>フ</sup>ソ、<sup>50</sup>世<sup>ハ</sup>方

尊<sup>フ</sup>二<sup>ハ</sup>両<sup>ハ</sup>耳<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>未<sup>ハ</sup>三<sup>ハ</sup>敢<sup>ハ</sup>築<sup>ハ</sup>二<sup>ハ</sup>受<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>二<sup>ハ</sup>谷<sup>ハ</sup>世<sup>ハ</sup>上<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>、耳ニウソヲツク<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ヲ、キ

イテ、本<sup>ハ</sup>ニメ、ヲガミ、タツハイスルソ、ヲカシイ<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ソ、シ

カト手ニトリ、目ニミ定メタ<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ヲ、本ニメ、アラハ、受<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>城

ヲ、コシラエウソ、ソレヲハ、エキツカヌソ、<sup>51</sup><sup>ハ</sup>殺<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>降、

人<sup>ニ</sup>已<sup>ハ</sup>服<sup>ハ</sup>降<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>之<sup>ハ</sup>不<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>祥<sup>ハ</sup>ナリ、**漢史**此ハ、漢書ノ高祖紀ニアリ、テ

キガ、ステニ、シタガイ、カウサンスルヲ、コロスハ、ワル

イト、「<sup>201ウ</sup>高祖ノ云テ、コロサレヌソ、<sup>ハ</sup>詐<sup>ハ</sup>降、漢ノ紀信

高祖ノ難儀ノ時ニ、高祖ノ項羽ニカウメ、陣エ礼ニワ、ス

ルト云テ、紀<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ガ、王ノデタチテ、王ノ車ニノリタソ、ソコ

ノドシメキノマニ、高祖ハ、ヌケテ、ニケラレタソ、羽ガ紀

ヲヤキコロイタソ、胡曾詩ニモ、<sup>（ヤ）</sup>詩カアルソ、紀生不<sup>ハ</sup>下<sup>ハ</sup>向<sup>ハ</sup>

<sup>50</sup>国会本は「一<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>如<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>受<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>敵<sup>ハ</sup>」からこの部分までが割書で補入されており、「世<sup>ハ</sup>方<sup>ハ</sup>尊<sup>ハ</sup>二<sup>ハ</sup>両<sup>ハ</sup>耳<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>」から「エキツカヌソ」までが、「詐降」の抄文の後に「受降ノ下ニアルソ」として続いている。叡山本は補入になっていないが、この部分に本行として「<sup>ハ</sup>受降ノ下ニアルソ」という一文が挿入されている。

<sup>51</sup>『韻府群玉』では「坑降」・「殺降」・「詐降」の順とするが、原本、および国会本・叡山本は、いずれも「殺降」・「詐降」・「坑降」の順に抄する。

二<sup>ケイ</sup> 榮<sup>(案か)</sup> 一<sup>(マゴ)</sup> 陽<sup>ニ</sup> 死<sup>セ</sup> 上<sup>イカテカ</sup> 争<sup>ラン</sup> 有<sup>ニ</sup> 三<sup>ノ</sup> 山<sup>スル</sup> 河<sup>ニ</sup> 属<sup>ニ</sup> 漢<sup>ニ</sup> 家<sup>ト</sup> アルソ、  
 坑<sup>アナニス</sup> 降<sup>ヲ</sup>、秦<sup>ノ</sup> 白<sup>ハツ</sup> 起<sup>ハサンテ</sup> 挾<sup>レ</sup> 詐<sup>イツワリヲ</sup> 一<sup>アナニス</sup> 趙<sup>ノ</sup> 卒<sup>ソツ</sup> 四十<sup>ヲ</sup> 万<sup>ニ</sup> 於<sup>ニ</sup> 長<sup>ニ</sup> 平<sup>ニ</sup> 一、  
 秦<sup>ノ</sup> 始<sup>ニ</sup> 皇<sup>ニ</sup> ノ イ<sup>ニ</sup> ク<sup>ニ</sup> サ<sup>ニ</sup> 大<sup>ニ</sup> 将<sup>ニ</sup>、 白<sup>ニ</sup> 起<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> モ<sup>ニ</sup> ノ、 イ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> ワ<sup>ニ</sup> リ<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> 心<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ハ<sup>ニ</sup> サ  
 ウ<sup>ニ</sup> テ、 降<sup>ニ</sup> 参<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> 兵<sup>ニ</sup>、 四<sup>ニ</sup> 十<sup>ニ</sup> 万<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup> ヲ、 長<sup>ニ</sup> 平<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> ソ<sup>ニ</sup> テ、 穴<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> ン  
 タ<sup>ニ</sup> ソ、 <sup>202オ</sup> 監<sup>ガシ</sup> 通<sup>ガシ</sup> 監<sup>ガシ</sup> ノ 書<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ア<sup>ニ</sup> リ、 又<sup>ニ</sup> 項<sup>ニ</sup> 羽<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 詐<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 秦<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 卒<sup>ニ</sup> 二<sup>ニ</sup> 十<sup>ニ</sup>  
 万<sup>ニ</sup> 一、 <sup>1セシ</sup> 漢<sup>キツ</sup> 紀<sup>キツ</sup> 高<sup>キツ</sup> 祖<sup>キツ</sup> 紀<sup>キツ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ア<sup>ニ</sup> ル<sup>ニ</sup> ソ、 一<sup>ニ</sup> 心<sup>ニ</sup> 降<sup>ニ</sup>、 <sup>1セシ</sup> 詩<sup>キツ</sup> 我<sup>キツ</sup> 一<sup>ニ</sup> 則<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 一<sup>ニ</sup> 氣<sup>ニ</sup>  
 降<sup>ニ</sup>、 其<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 屹<sup>キツ</sup> 壁<sup>キツ</sup> 何<sup>キツ</sup> 由<sup>キツ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 <sup>ヨツテカ</sup> 歐<sup>ヨツテカ</sup> 吾<sup>ヨツテカ</sup> カ<sup>ヨツテカ</sup> 心<sup>ヨツテカ</sup> ノ 氣<sup>ヨツテカ</sup> ハ、 岩<sup>ヨツテカ</sup> ヤ、 カ<sup>ヨツテカ</sup> ベ<sup>ヨツテカ</sup> ヲ、  
 キ<sup>ニ</sup> リ<sup>ニ</sup> 立<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> 如<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> ソ、 ナ<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 人<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> サ<sup>ニ</sup> ン<sup>ニ</sup> シ、 シ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> 手<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup>  
 ハ、 入<sup>ニ</sup> ラ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ソ、 一<sup>ニ</sup> 李<sup>ス</sup> 陵<sup>ス</sup> 降<sup>ス</sup>、 李<sup>ス</sup> 陵<sup>ス</sup> 戰<sup>ス</sup> 一<sup>ニ</sup> 敗<sup>ス</sup> 一<sup>ニ</sup> 匈<sup>ス</sup> 奴<sup>ス</sup> 一<sup>ニ</sup>、 <sup>イハシ</sup> 本<sup>イハシ</sup> 前<sup>イハシ</sup> 漢<sup>イハシ</sup>  
 書<sup>ニ</sup> ノ 李<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> 伝<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ア<sup>ニ</sup> リ、 エ<sup>ニ</sup> ヒ<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup> ニ、 イ<sup>ニ</sup> ケ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> ラ<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> テ、 十<sup>ニ</sup> 九<sup>ニ</sup> 年<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> タ  
 ソ、 一<sup>ニ</sup> 百<sup>ニ</sup> 万<sup>ニ</sup> 降<sup>ニ</sup>、 劉<sup>ニ</sup> 盆<sup>ニ</sup> 子<sup>ニ</sup> 将<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 众<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 陸<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 下<sup>ニ</sup> 何<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 以<sup>ニ</sup> 待<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> 之<sup>ニ</sup>  
 光<sup>ニ</sup> 武<sup>ニ</sup> 日<sup>ニ</sup> 待<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> 汝<sup>ニ</sup> 以<sup>ニ</sup> 不<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 死<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 尔<sup>ニ</sup>、 <sup>202ウ</sup> 漢<sup>ニ</sup> 紀<sup>ニ</sup> 劉<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> ハ、 王<sup>ニ</sup> 莽<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> 時<sup>ニ</sup> ニ、 天<sup>ニ</sup> 下  
 ヲ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> ソ<sup>ニ</sup> ン<sup>ニ</sup> テ、 色<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ニ、 シ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> モ、 ナ<sup>ニ</sup> ラ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> テ、 光<sup>ニ</sup> 武<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> メ、  
 百<sup>ニ</sup> 万<sup>ニ</sup> ノ 众<sup>ニ</sup> ヲ、 ヒ<sup>ニ</sup> キ<sup>ニ</sup> 具<sup>ニ</sup> メ、 如<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> 此<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> サ<sup>ニ</sup> ン<sup>ニ</sup> マ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ス、 吾<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ハ、 一<sup>ニ</sup>  
 ナ<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> ヤ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ニ、 御<sup>ニ</sup> アイ<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> ラ<sup>ニ</sup> ワ<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ト、 リ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ン<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、  
 光<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> マ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> 返<sup>ニ</sup> 事<sup>ニ</sup> ソ、 ソ<sup>ニ</sup> チ<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> フ<sup>ニ</sup> ン<sup>ニ</sup> ニ、 アイ<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> ラ<sup>ニ</sup> ワ<sup>ニ</sup> ウ<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup> ハ、  
 タ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 イ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> チ<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup> ケ<sup>ニ</sup> テ、 コ<sup>ニ</sup> ロ<sup>ニ</sup> サ<sup>ニ</sup> ヌ<sup>ニ</sup> カ、 至<sup>ニ</sup> 極<sup>ニ</sup> ノ、 モ<sup>ニ</sup> テ<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> ト、

ア<sup>ニ</sup> リ、 <sup>タテ</sup> 活<sup>タテ</sup> 一<sup>ニ</sup> 豎<sup>タテ</sup> 旗<sup>タテ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 ハ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> モ、 マ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> テ<sup>ニ</sup> 降<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、  
 一<sup>ニ</sup> 望<sup>テ</sup> 風<sup>ヲ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 カ<sup>ニ</sup> サ<sup>ニ</sup> フ<sup>ニ</sup> リ<sup>ニ</sup> ヲ、 ノ<sup>ニ</sup> ゴ<sup>ニ</sup> ミ<sup>ニ</sup> 見<sup>ニ</sup> テ、 降<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、 一<sup>ニ</sup> 北<sup>ニ</sup> 面<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 北<sup>ニ</sup>  
 面<sup>ニ</sup> ハ、 北<sup>ニ</sup> ム<sup>ニ</sup> ク<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup>、 王<sup>ニ</sup> ハ<sup>ニ</sup> 南<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ム<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> ム<sup>ニ</sup> ソ、 ソ<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> 向<sup>ニ</sup> テ、 カ<sup>ニ</sup> シ  
 コ<sup>ニ</sup> マ<sup>ニ</sup> ル<sup>ニ</sup> ホ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> ニ、 臣<sup>ニ</sup> 下<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 心<sup>ニ</sup> ソ、 一<sup>ニ</sup> 睡<sup>ス</sup> 魔<sup>ス</sup> 一<sup>ニ</sup>、 仏<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 八<sup>ニ</sup> 相<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 中<sup>ニ</sup> ニ、 降<sup>ニ</sup>  
 一<sup>ニ</sup> 魔<sup>ニ</sup> ガ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> ソ、 ネ<sup>ニ</sup> ム<sup>ニ</sup> リ<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> 魔<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> ホ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> ニ、 降<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> 云<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、 <sup>203オ</sup> 人<sup>ニ</sup> 名<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 彪<sup>ニ</sup>  
 一<sup>ニ</sup>、 高<sup>ニ</sup> 陽<sup>ニ</sup> 氏<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 才<sup>ニ</sup> 子<sup>ニ</sup>、 八<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 才<sup>ニ</sup> 子<sup>ニ</sup> ア<sup>ニ</sup> リ、 ソ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 人<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> リ、 ○  
 降<sup>ニ</sup>、 水<sup>ニ</sup> 不<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> 遵<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 <sup>シタカワ</sup> 道<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> リ、 水<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 本<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> ミ<sup>ニ</sup> チ<sup>ニ</sup> エ、 ユ<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> デ、 一<sup>ニ</sup>  
 ア<sup>ニ</sup> チ、 コ<sup>ニ</sup> チ、 ヨ<sup>ニ</sup> コ<sup>ニ</sup> エ<sup>ニ</sup> 入<sup>ニ</sup> テ、 流<sup>ニ</sup> 心<sup>ニ</sup> ソ、 ナ<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ム<sup>ニ</sup> ヤ<sup>ニ</sup> ラ、  
 ○ 瀧<sup>ホシダシ</sup>、 奔<sup>ホシダシ</sup> 湍<sup>ホシダシ</sup> 也<sup>ホシダシ</sup>、 セ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> ハ<sup>ニ</sup> ヤ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> リ、 奔<sup>ニ</sup>、 ハ<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> ル<sup>ニ</sup> ワ、 ハ<sup>ニ</sup> ヤ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup>  
 ソ、 韶<sup>ノ</sup> 州<sup>ノ</sup> 樂<sup>ニ</sup> 昌<sup>ニ</sup> 縣<sup>ニ</sup> 有<sup>ニ</sup> レ<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 水<sup>ニ</sup> 名<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> リ、 <sup>テ</sup> 韓<sup>テ</sup> 始<sup>テ</sup> 下<sup>テ</sup> 二<sup>テ</sup> 樂<sup>テ</sup> 昌<sup>テ</sup> 一<sup>テ</sup>、 韓<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ハ  
 シ<sup>ニ</sup> メ<sup>ニ</sup> テ、 海<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> カ、 又<sup>ニ</sup> 張<sup>ニ</sup> 東<sup>ニ</sup> 之<sup>ニ</sup> 貶<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 <sup>ヘンセラル</sup> 州<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 濤<sup>ニ</sup> 瀧<sup>ニ</sup>、  
 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>  
 壮<sup>ニ</sup> 猛<sup>ニ</sup> ハ、 水<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> ナ<sup>ニ</sup> ミ<sup>ニ</sup> ノ、 壮<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ケ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> 心<sup>ニ</sup> カ、 <sup>203ウ</sup> 韓<sup>ニ</sup> 潮<sup>ニ</sup> 州<sup>ニ</sup> 表<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 表<sup>ニ</sup> ノ  
 文<sup>ニ</sup> ニ<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 隴<sup>ニ</sup> 頭<sup>ニ</sup> 隴<sup>ニ</sup>、 君<sup>ニ</sup> 乃<sup>ニ</sup> 崑<sup>ニ</sup> 崑<sup>ニ</sup> 渠<sup>ニ</sup> 渠<sup>ニ</sup> 籍<sup>ニ</sup> 乃<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 韓<sup>ニ</sup> 君<sup>ニ</sup> 乃<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>  
 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> ハ、 韓<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ホ<sup>ニ</sup> メ<sup>ニ</sup> テ、 高<sup>ニ</sup> イ<sup>ニ</sup> 崑<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 山<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ラ、 ヲ<sup>ニ</sup> ツ<sup>ニ</sup> ル<sup>ニ</sup> ミ<sup>ニ</sup> ソ<sup>ニ</sup> ノ<sup>ニ</sup> 水<sup>ニ</sup> ニ、  
 タ<sup>ニ</sup> ト<sup>ニ</sup> エ<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、 籍<sup>ニ</sup> 乃<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 張<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> 吾<sup>ニ</sup> ヲ<sup>ニ</sup> ハ、 隴<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup> 一<sup>ニ</sup>、 ソ<sup>ニ</sup> ツ  
 ト<sup>ニ</sup> シ<sup>ニ</sup> タ、 ヲ<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> 山<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ラ、 出<sup>ニ</sup> ル<sup>ニ</sup> 水<sup>ニ</sup> ニ、 比<sup>ニ</sup> タ<sup>ニ</sup> ソ、 韓<sup>ニ</sup> 文<sup>ニ</sup> ニ、 此<sup>ニ</sup> 詩<sup>ニ</sup> カ<sup>ニ</sup> ノ

ツタソ、「<sup>203ウ</sup>磨九瀧<sup>ヲ</sup>、舟行十里――、山ノ九<sup>204ウ</sup>カカリ  
モ、アツテ、水ガメグツテ流レヲチテ、タキノヤウナソ、

○双、陽雍伯得<sup>テ</sup>二壁<sup>ヲ</sup>五<sup>ヘイス</sup>一<sup>一ツ</sup>聘<sup>レ</sup>女<sup>詳レ壁</sup>、入声ノ陌匀ノ壁ノ

字ノ所ニアリ、雍伯ガ父母トモニ、死タソ、无終山ニウツ

ンタソ、此山、<sup>(八十里ノか)</sup>八十里アイタ、水ガナイソ、雍<sup>一</sup>ガ義漿ヲ、

コシテ、ニテ、坂<sup>一</sup>ロニライテ、人ニノマセタソ、漿ハ、コ

ンツトヨムソ、白<sup>ロ</sup>水ノヤウナ者ナリ、米ヲニテ、ソノ汁ヲ、

水ニマセテ、水ヲチツト、ニコイタカ、食<sup>一</sup>ノタヨリニ、セ

ウ為力、コレヤウナヲ、義漿ト<sup>204オ</sup>「云力、又別ニ、義漿ト

云者アルカ、山ニ入者カ、皆此ヲ、ノウタソ、ヨイ<sup>一</sup>ヲ、

シタソ、コレヤウニ、スル<sup>一</sup>、三年ナリ、一人アリキテ、

此ノ坂<sup>一</sup>ロノ漿ヲ、ノウタソ、ノウタ者ガ、石ヲ一升フトコ

ロカラトリタイテ、雍<sup>一</sup>ニトラセテ云<sup>一</sup>ハ、此ヲ地ニウエ

タラハ、ヨイ玉ヲ、得ウソ、又ミメノヨイ女房ヲモ、得ウ

ズルゾト云テ、クレニ、ミエナンタソ、ソノ後ニ、徐<sup>一</sup>氏ニ

ヨイ女房アリ、人ガホシガレトモ、ドコエモ、ヤラヌソ、

雍ガ此ヲコウタソ、徐氏ノ女ガ、雍力所エ、「<sup>一</sup>○イ<sup>一</sup>カウト

云タソ、女ノヲヤノ徐氏カ、ジヤレニ、壁<sup>一</sup>「<sup>204ウ</sup>ヲニモチキ

タラハ、夫婦ノ約束ヲ、<sup>サ</sup>定メウト云タソ、石ヲウエタラハ、

ヨイ玉ニ、ナラウト、化<sup>一</sup>人ノ云タヲ、思イアワセテ、石ヲ

ウエタ所エ、イタレハ、玉カアツタソ、五双ノ壁ヲ得タソ、

ソノ玉ヲ以テ、徐力所エ、イテ、ヤツタソ、徐ガジヤレニ

云タレハ、マコトニ、以テキタホドニ、ヲドロイタソ、ソ

コテ、夫婦ニナツタソ、此モ、義漿ヲ、三年山ノ坂<sup>一</sup>ロニヲ

イテ、イキ、ノ人ニ、ノマセタ徳ニヨツテ、カウアル<sup>一</sup>ソ、

ソコノイタ所ヲ、玉<sup>一</sup>田ト云タソ、此ノ<sup>一</sup>ハ、搜神記ト云書

ニアルトシタソ、此書ハ、アルソ、「<sup>205オ</sup>二三冊アルソ、モ

トミタソ、<sup>一</sup>无双、ナラヒナイ心ソ、国士<sup>一</sup>、

韓信ヲ云タソ、漢書ノ信ガ伝ニアリ、江夏<sup>一</sup>黄香<sup>キヤウ</sup>、孝行ナ

者ニヨバレタソ、慈明<sup>メイ</sup>――荀氏ノ八<sup>一</sup>龍トイワレテ、ヨイ<sup>一</sup>子、

八人アリ、ソノ中テ、慈明ヲ、――トヨハレタソ、荀淑<sup>サウ</sup>力子

ナリ、慈明ハ、字ナリ、名ハ、荀爽<sup>サウ</sup>荀氏八龍慈明――ト云タ

ソ、龍ト、双ト、匀ナリ、山谷ヲモ、日下――黄太史、中州

集ニ作タソ、――ト云タ、者多ソ、

へ无<sup>シ</sup>二<sup>ニ</sup>等<sup>ニ</sup>双<sup>ニ</sup>一、城南<sup>ノ</sup>晁<sup>セイ</sup>正字<sup>正</sup>国器<sup>器</sup>一<sup>一</sup>、**谷**晁<sup>ハ</sup>、晁<sup>キウ</sup>无<sup>ウ</sup>咎<sup>カ</sup>ソ、

蘇門ノ四学士ト云テ、東坡ガ門下生ト云テ、坡ガ、シタデ、

文学ヲマナウテ、「<sup>205ウ</sup> スクレタ者四人アリ、山谷ガ、カシラ

ソ、正字ト云ハ、官ノ名ソ、正字ノ官ニハ、スグレイテハ、

ナラヌソ、五経六籍ノ中、文字ノ、ソコネ、アヤマツタヲ、

ケウシテ、タ、シナヲス<sup>ソ</sup>ソ、国ト、云字ハ、天下ト云心ソ、

天下ノ宝、ウツワモノト云心ソ、コトナウホメタソ、等ハ、

ヒトシイトヨムソ、ナラブ心ソ、へ白鶴<sup>ニ</sup>双<sup>リ</sup>、時<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup>二<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>飛<sup>飛</sup>

来<sup>テ</sup>一<sup>一</sup>、ドコデ作ヤラ、欧陽力集ナイホトニ、不<sup>レ</sup>考<sup>ソ</sup>、**活**へ

剣<sup>一</sup>、干将、莫耶ノ、メヲツトノ二ノ剣アリ、双ハ、此ノコ

ソ、へ壁<sup>一</sup>、前ニアリ、又<sup>(庸卿<sup>ハ</sup>)</sup>卿力、趙ノ王ニ、アウテ、立談

メ、白壁ヲ、一双タマワツタト、史記ニアリ、谷モ作タソ、

へ髻<sup>206オ</sup>「<sup>ス</sup>縮<sup>ヲ</sup>レ<sup>テ</sup>」、カミノモトバリヲ、ユウタ<sup>ソ</sup>ソ、縮ハ、ワ

ガヌルトヨムソ、ワゲタ<sup>ソ</sup>ソ、ヲサナ<sup>子</sup>ハ、カミヲ、両方ニ

イウソ、女房モ、両方ニ、ワクルケナソ、**人名**(へ)无<sup>一</sup>劉

振女<sup>カムスメ</sup>得<sup>ワウガヲ</sup>二<sup>ニ</sup>古押衛<sup>一</sup>、此ハ、前ニアツタソ、ミメヨサニ、无<sup>一</sup>ト

ツイタソ、**姓氏**天水ト云所ニ、此ノ氏アリ、顓頊皇帝ノ後封<sup>コウセツル</sup>

二<sup>ノ</sup>蒙城<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>ソコヲ、氏ニシタソ、○艘、舩<sup>一</sup>舟名ナリ、舟ツ

クリニ、双ノ字ヲ、カイタ舟ヲ、二<sup>ソウモ</sup>一<sup>一</sup>、一ニカラクン

テ、シタフネカ、

○龐、高屋ナリ、高ウ<sup>大</sup>ナ家ナリ、勾会ニハ、南安ト南陽

トニ、二<sup>206ウ</sup>所<sup>ニ</sup>ニ、人ノ知タ龐氏カアルトアリ、二望アリトシ

タソ、「<sup>206ウ</sup> 南安南陽ノ二ソ、又周ノ時ノ畢公高ノ後ガ、龐

ニ<sup>(封<sup>ハ</sup>)</sup>対<sup>セ</sup>ラレテ、氏ニシタソ、へ窮龐<sup>53</sup>、斫<sup>キツテ</sup>樹<sup>キツム</sup>収<sup>一</sup>二<sup>一</sup>

一、此ハ、上ニアツ

タ<sup>ソ</sup>ソ、木ノ皮ヲ、ケツ<sup>テ</sup>、白メ、ソコテ、龐<sup>一</sup>コノ木ノ

モトテ死ト、カイタソ、ソノ如ク、ソコテ死タ、窮<sup>一</sup>トハ、

術計モ、智略モ、ツキ、キワマツテ、自害シタソ、智窮自到

ト、伝ニアルソ、**韓**句<sup>ナリ</sup>、到ハ、クビハヌルトヨムソ、

へ老龐、床下<sup>一</sup>拜<sup>二</sup>一<sup>一</sup>、老<sup>一</sup>ハ、龐徳公ガ<sup>ナリ</sup>、諸葛孔明

<sup>52</sup> 国会本・叡山本ともに「ニソウモ、三ソウモ」とする。こちらの文意では、「モ」の意が尊重され、東大本の本文では、「艘」の「二つ」という意が尊重される。

<sup>53</sup> 国会本・叡山本では、「窮龐」の抄文が、当該箇所には無く、「龐」の末尾(へー氏、姜詳<sup>ニ</sup>妻、勾府ノ妻ノ所ニナイソ、」の直後)に記される。

力龐カ所エ、キテハ、必スユカノモトニテ、拝シタソ、ソノ  
 人ノ徳ヲ、タツトシテノ<sup>フ</sup>ソ、<sup>ス</sup>居<sup>ル</sup>士龐、下<sup>ニ</sup>看<sup>テ</sup>一<sup>ヲ</sup>古无  
 レ、龐一<sup>ヲ</sup>、脚一<sup>ヲ</sup><sup>207オ</sup>下ニ、クダシ、ミタレハ、昔ニ、龐  
 一<sup>ヲ</sup>ト云モ、ナイト云心カ、居士ト云者ヲ、ヲカシノ者ト、  
 ミナセハ、モト龐一<sup>ヲ</sup>ト云モ、ナイト云心カ、龐一<sup>ヲ</sup>与<sup>ニ</sup>女冥<sup>ニ</sup>  
 照<sup>ニ</sup>修<sup>メ</sup>禪<sup>ヲ</sup>皆<sup>ス</sup>坐<sup>ス</sup>化、龐カ妻モ、得道ノ者ナリ、龐カリンジウ  
 セウドテ、坐メ、ムスメノ、冥照カラヤニ、ソトエデ、日  
 ヲミサシメ、ヒルニナツタカト云テ、ヲヤノ、ソトエデタマ  
 ニ、化シタソ、龐カウチエ、キテ、ミテ、此ノ小ムスメニ、  
 スカレテ、ヲクレタヨト云タソ、<sup>活</sup>樹<sup>ノ</sup>下<sup>ニ</sup>、詳<sup>シ</sup>竈、魏<sup>ノ</sup>涓  
 カ<sup>フ</sup>ソ、谷ノ両方ニアル、セツ所ニ、ヨイ弓ヲスクツテ、フ  
 セテ、大ナ木ノ皮ヲ、ハイテ、タチ木ノ白イ所ニ、龐涓此樹<sup>ノ</sup>  
<sup>207ウ</sup>「下ニ死ント、クロ<sup>ク</sup>トカイタソ、セツ所ノ、エツボエ、  
 ヒキ入テ、谷ノ両方ノ上カラ、サシハサウテ、イタソ、ミタ  
 レハ、木ニ、コ、テ、ハテウトカイタホトニ、ノカレマイト  
 心エテ、ワレト死タソ、陣ヲトツテ、初ハ、カマドヲスクレ  
 テ、多ウナラベタソ、兵ノ多<sup>ク</sup>心ソ、セン<sup>ノ</sup>ニ、カマトヲヘ

ライタソ、勢ノスクナナルヲミセタ心ソ、龐カ勢ワスイタ  
 ソ、无<sup>ク</sup>勢ナト、心エテ、フカ入ヲシテ、ケガラシタソ、コレ  
 サセウ為ニ、シタ<sup>フ</sup>ソ、兵書ニ、カマドヲマシ、カマドヲ減  
 スル<sup>ヲ</sup>アリ、魏ノ国カラ、韓ノ国ヲセメタソ、韓ヲ齊ガタス  
 ケテ、後マテニ、立タソ、孫臏<sup>ヒシ</sup>ガ、大将デ、立タソ、陣ヲ<sup>ヲ</sup><sup>208オ</sup>  
 トリカタメテ、カマドヲ、十万ツクラシタソ、カマトハ、ク  
 イモノ、タク所ソ、アクル日ハ、半分ニヘライテ、五万ニナ  
 イタソ、又アクル日ハ、二万ニナイタソ、龐ガミテ、喜タソ、  
 吾カ陣ハ、石<sup>ノ</sup>金<sup>ノ</sup>如ニ、カタイソ、齊ノ勢ヲ、吾ヲヲソレテ、  
 軍兵ノ、チリ、ニグル<sup>ヲ</sup>、半分ニ、ハルカスギタソ、サラハ、  
 諸勢ヲ、一ニメ、ニグルヲ、ヲワウト云テ、龐カトリデタソ、  
 此レサセウ為ニ、孫カ、シタ、ハカリコトナリ、ヲウテコウ  
 ズル、セツ所、マウゼイノナガイイメ、クタビレウスホドラ  
 イノ所ニ、イテ、<sup>イテヲ</sup>スクツテ、弓一万張フセタソ、アノ如ク、  
 長ヲイメ、クタビル、在所デ、両方カラ、ミチヲハサ<sup>ニ</sup><sup>209ウ</sup>  
 ウテ、イタソ、スキト死メ、龐一<sup>ハ</sup>、自害シタソ、<sup>姓氏</sup>始<sup>ニ</sup>平  
 ハ、所ナリ、コ、ニ、龐氏アリ、文王子畢公高<sup>ノ</sup>之後、龐郷ニ、

封セラレタソ、ソレカラ、ソコロ、氏ニシタソ、(へ)ー涓<sup>ケン</sup>、  
 マエニ、カマドノ<sup>フ</sup>ニアツタソ、魏<sup>リ</sup>將、魏ノ大<sup>ニ</sup>將ナリ、(へ)ー  
 徳公携<sup>タテ</sup>妻<sup>セイ</sup>子<sup>ヲ</sup>登<sup>テ</sup>鹿門山<sup>ニ</sup>採<sup>トツテ</sup>葉<sup>ヲ</sup>不<sup>ラ</sup>返<sup>ラ</sup>、<sup>詳レ安</sup>、メコドモ、  
 ヒキツレテ、山エ入テ、クスリトルト云テ、ツイニ、カエラ  
 スソ、(へ)ー参<sup>ハ</sup>、字仲達<sup>ス</sup>拔<sup>ガイ</sup>薤<sup>ヲ</sup>事<sup>ヲ</sup>、<sup>詳レ薤</sup>去声ノ卦<sup>ニ</sup>勾ノ薤<sup>ノ</sup>下ニア  
 リ、後漢ノ<sup>薤</sup>参<sup>ハ</sup>漢陽ノ守ニナツテ、イタソ、ソコノ郡ノ中  
 ニ、任棠ト云者アリ、氣<sup>キ</sup>ガイ、ハツタトメ、義理ヲ存シタ者  
 ソ、<sup>薤</sup>ガ任力所エ、イタニ、モノモ「<sup>209オ</sup>イワイテ、インギ  
 シニ、ムカエテ、座シキニ、水ヲ器ニ入テ、薤<sup>ニ</sup>一本ヲ、水ニ  
 立テ、屏ノ前ニイタソ、<sup>薤</sup>カ「トヤウアル<sup>ナリ</sup>、ヨク  
 〱、思案スルニ、水ハ、吾カセイバイノ、セイケツニ、ニ  
 コラザラン<sup>ヲ</sup>、示タソ、<sup>ニ</sup>ラヲ、一本座ニイタワ、<sup>ニ</sup>ラ  
 ハ、五辛ノ中ノ、ソウリヤウナソ、ワルイ者チヤホトニ、ウ  
 ツテ、ヨウ<sup>(ヨウウカ)</sup>ナセト云心ソ、ヲサナイ子ヲタイテ、戸ノモト  
 ニ、ヲイタハ、門ヲヒライテ、アワレミヲ、タレテ、メグミ  
 ヲ、ナメ、クレヨト云心ト、サトツタソ、参カヨウ所ヲ、ヲ  
 サメテ、民モ、ヨロコヒ、任棠カ、宗ノ、コワイヲユウウシ、

ソシノ、ヨワイヲ、タスケタソ、<sup>209ウ</sup>本<sup>後</sup>「漢書ノ、<sup>薤</sup>一カ  
 本伝ニアルソ、(へ)薤<sup>ハ</sup>徳、字令明<sup>ハ</sup>仕<sup>ウ</sup>魏<sup>ニ</sup>每<sup>ニ</sup>戰<sup>ウ</sup>乘<sup>ス</sup>白馬<sup>ニ</sup>号<sup>ニ</sup>白  
 馬將軍<sup>ト</sup>、戰場ニ、ヅルゴトニ、コノウテ、白馬ニノツタホト  
 ニ、白<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>ト云タソ、(へ)統<sup>トウ</sup>、字士元<sup>ハ</sup>蜀<sup>ハ</sup>人<sup>リ</sup>為<sup>リ</sup>南州士之冠<sup>ノ</sup>  
<sup>ベン</sup>晁<sup>ハ</sup>魯<sup>ハ</sup>肅<sup>ハ</sup>曰<sup>ハ</sup>士元<sup>ハ</sup>非<sup>ハ</sup>二百里<sup>ノ</sup>才<sup>ニ</sup>、<sup>詳レ</sup>足統ハ才力大ナソ、驥ノ千里  
 ヲカケル如ナオナリ、五十里百里ノ、ブンザイデハナイソ、  
 別駕ノ官ニイタラハ、驥ノ足ヲチツトノベウソ、魯肅力云  
 タ<sup>フ</sup>ソ、(へ)籍、字醇<sup>シユン</sup>之仕<sup>テ</sup>趙<sup>ニ</sup>宋<sup>ニ</sup>為<sup>ス</sup>二枢<sup>スウ</sup>密<sup>ビツ</sup>使<sup>ト</sup>、密ハ、ミツ  
 トヨム人モアルソ、<sup>言行録</sup>排<sup>ハ</sup>勾<sup>ハ</sup>ニアリ、宋ノ明道中ニ、殿中  
 侍御史ノ官ニナツタソ、程文惠ト、同年<sup>210オ</sup>「ニ生タソ、戊子  
 ノ年、ドレモ、生タソ、程ハ富貴ナソ、籍ハ小官ソ、程ガジ  
 ヤレテ、云タソ、君ハ、小戊子チヤソ、吾ヲ、大戊子ニメ、  
 云タソ、ソノ後ニ、慶曆年中ニ、高イ位ニ、アカツタソ、程  
 カメテタイト云テ、賀メ、云タソ、前ニハ、ソレカシ、大戊  
 子デアツタカ、今日、小戊子ニナツタト云タソ、七十六ノト  
 シ、奉公ヲ、ヤメテ、ヒツコウタソ、イエ貧ヲ、アマナウテ、  
 書ハカリヨウタソ、自詩ヲ作タソ、田園貧宰相<sup>ハ</sup>図史旧書生ト

作タソ、田畠ハ、モタヌ貧ナ、宰相ソ、画図ヤ、書史ハ、タ  
クサンニモツタ、フル儒者チャソ、図史富書生ト、源流至命  
ニハ、<sup>2107</sup>「アルカソ、<sup>ハ</sup>一氏、姜詳妻勾府ノ妻ノ所ニナイ  
ソ、<sup>ハ</sup>○逢、塞也、フサクナリ、又<sup>ハ</sup>坡船鼓已<sup>ハ</sup>一、ハウ<sup>ハ</sup>、  
ツ、ミノ声ナリ、人名<sup>ハ</sup>、関龍<sup>ハ</sup>、夏忠臣ナリ、ナニノ書ニモ、  
ミエヌソ、**姓氏**長楽ニ姓ア<sup>ハ</sup>リ」、夏殷諸侯<sup>ハ</sup>公伯陵封<sup>ハ</sup>ニ齊土<sup>ニ</sup>  
<sup>テトス</sup>一因氏、夏殷ノ二代、一公ト云アリ、齊ニ封セラレタソ、齊  
土<sup>54</sup>トアリ、士ハ土カ、士ニ封スル<sup>ハ</sup>ハ、アルマイソ、土ハ、  
国ノ心ソ、字或ハ作<sup>レ</sup>逢<sup>ト</sup>、逢ト、逢トノ、カキヤウノ、チカイ  
ソ、同サウニ、ミエタ<sup>ハ</sup>ソ、<sup>モウ</sup>一蒙、学<sup>ニ</sup>射<sup>ヲ</sup>於<sup>ニ</sup>羿<sup>ニ</sup>孟子<sup>ニ</sup>アリ、  
学<sup>レ</sup>射トアリ、羿力射ノ弟子ナリ、<sup>ホ</sup>一丑父、齊師陣<sup>ニ</sup>於<sup>ハ</sup>鞍<sup>ニ</sup>  
丑父与<sup>レ</sup>公易<sup>レ</sup>位<sup>ヲ</sup>、**左成**齊ノ軍<sup>211オ</sup>「ヤフレタソ、左リ、右リ、  
中ヲ、ネラウテ、イルホトニ、主ノ為ニ、イヲカエタソ、忠  
臣ナ<sup>ハ</sup>ソ、<sup>マウ</sup>一萌、字子慶後漢時挂<sup>ク</sup>冠<sup>ヲ</sup>、王莽カトキニ、冠ヲ  
ミヤコノ、東門ニ、カケテ、メコトモ、ツレテ、海上ノ方エ、

インタソ、<sup>55</sup>○腔、肉空也、肉ノスイテ、ナイヲ云ソ、口  
カ、ノドカデ、アラウソ、ノドノヤウニ、作タ句アリ、骨<sup>ノ</sup>体<sup>ヲ</sup>  
曰<sup>レ</sup>一、<sup>ト</sup>ホネノズイヲ、云タ<sup>ハ</sup>カ、不<sup>レ</sup>詳ソ、羊<sup>ハ</sup>也、羊ノド  
コヲ云タヤラ、字注デモ、心エヌソ、  
<sup>（能心）</sup>一羊腔、畦<sup>ハ</sup>声吐<sup>ニ</sup>款段<sup>ヲ</sup>、酒壺綴<sup>ハ</sup>一、此一聯、心エヌソ、  
**韓蟹**胥与<sup>ニ</sup>竹萌<sup>ニ</sup>乃不<sup>レ</sup>美<sup>トセ</sup>ニ<sup>ヲ</sup>一、**谷**、カニト、筍トヲ、テウ  
ホウメ、羊<sup>ハ</sup>ヲハ、ウマ<sup>211ウ</sup>「イモノニセヌ心ソ、羊<sup>ハ</sup>モ、羊  
ノトコノ肉カ、ウマイヤラ、シラヌソ、腔カ、エ知ヌソ、  
<sup>ル</sup>一<sup>ニ</sup>新腔、秀句入<sup>ニ</sup>一、**谷**此モ、ハラカ、ノドカ、ドコヤ  
ラ、ヲモシロイ句カ、口エ入タ心テ、アリサウナソ、<sup>ハ</sup>不  
<sup>セ</sup>同腔、黄花雖众笑白雪<sup>ハ</sup>一、**谷**此モ、不<sup>ニ</sup>分<sup>ナラ</sup>明<sup>ハ</sup>一ソ、黄  
一ハ、葡デアラウソ、重陽ノ時<sup>ハ</sup>分<sup>ニ</sup>、作タカ、众笑ノ字モ、  
ナニト云心ソ、花カ多ウサイテ、笑タト云心カ、白<sup>ハ</sup>ウタウ  
曲ノ<sup>ハ</sup>カ、ヲウゼイ、同音ニ、ウタエトモ、<sup>ハ</sup>一ノノドカラハ、  
デヌト云心カ、众ノ字ソコネタカ、雖<sup>ハ</sup>笑ト、上エカエリサウ

54

国会本・観山本ともに「土」とするが、『韻府群玉』当該箇所には「土」とあるため、校訂は施さない。

55

「腔」は『韻府群玉』の小韻代表字（枯江切）であるため、改行・字下げが期待されるが、当該箇所では行われていない。

ナソ、**活**<sup>212オ</sup>ハ笛一、フエハ、ノト唇デ、吹ソ、フキモノワ、ノ  
 ドヲ、本「ニスルソ、此モ、ノドサウナソ、ハ成一ハ、シ  
 ラヌソ、ハ換<sup>カユル</sup>レ一、此モ、ナンテアルヤラ、ハ柏<sup>（梅か）ノ</sup>花一、唇  
 カノドテモアリサウモナイソ、ハ恨<sup>ツ</sup>満<sup>ニ</sup>レ一、此ハ、ハラワタテ、  
 アリサウナソ、ノド口ナトテハ、アルマイソ、骨テアラウカ、  
 ○撞、ツクトモヨムソ、待<sup>「ハ一ヲシ</sup>問<sup>ツクカ</sup>如<sup>ヲ</sup>レ一鐘、前ニアツタソ、  
 カネノ所ニアリ、人ノキテ、物ヲトウニ、イワウト、ヲモ  
 ウ<sup>（ミセケチ生）</sup>テ、マチテイタワ、カネヲツクヲ、待ツヤウナソ、  
 礼記ニアリ、范增怒一<sup>イカツテツク</sup>ニ玉<sup>ヲ</sup>斗<sup>一</sup>、<sup>詳レ</sup>斗<sup>斗</sup>鴻門テ、高祖項羽参  
 会アツテ、酒宴ノ時ニ、高祖カラ、礼ニダサレタ玉ヲ、張  
 良以テ、出テ、座シキニヲイタヲ、ナケテ、<sup>212ウ</sup>「**ツ**キクタ  
 カセラレタソ、高祖ハ、早ウタ、レタソ、張良カ、アトテ、  
 ノコツテ、ジギヲ云タソ、ソノ時ノコナリ、漢<sup>ノ</sup>明帝自起<sup>タテク</sup>一  
 郎<sup>ヲ</sup>、<sup>詳レ</sup>郎、ナニ<sup>コ</sup>ニ、郎ヲツカレタヤラ、イワレカシレヌ  
 ソ、藥菰伝トアリ、後漢書ニ藥一ト云臣ノ名ナシ、字カ、  
 ソンジタカ、  
 ハ荏撞、此モ、前ニアツタソ、万石ホドノ、大ガネ、草ノヨ

ワイ茎ノヤウナ者テハ、打テモ、音ハデヌソ、ハ横撞、大  
 呂<sup>ハ</sup>勁<sup>ツヨク</sup>一鳴、洪<sup>ニク</sup>鐘一、**文粹**唐ノ文ズイノ語カ、コレヤウナ語  
 多ソ、ハ微撞、子<sup>テイス</sup>帰治<sup>ヲ</sup>二小<sup>ニ</sup>国<sup>一</sup>、洪鐘<sup>ムセハシ</sup>噓<sup>ニ</sup>一、**坡**此ハ、  
 ドコゾ、大ニモ、ナイ州ノ守ニナツテ、<sup>213オ</sup>「行<sup>ニ</sup>久、送<sup>ニ</sup>行<sup>ニ</sup>  
 作タ、詩ナリ、ソノ国ノ守ニナツテ、ヲサメハ、大カネヲ、  
 ソツトシタ、ツエギレデ、打テ、本ノネハ、デイデ、ムセタ  
 ヤウニ、アラウソ、ハ撃<sup>ケキ</sup>撞、文章自娛<sup>ヲ</sup>戲<sup>ケ</sup>、金石日<sup>（二）</sup>一、  
**韓**文章ヲツクリ弄メ、ヒトリタノシミ、タワフレラル、ソ、  
 サルホトニ、文章ハ、スクレタ、金石ヲ日コトニ打、マレナ  
 妙ナ声ノツルヤウナ、文ソ、友タチナドヲ、ホメテ云タソ、  
 ハ春撞、洪濤巨浪日<sup>イ</sup>タ相<sup>ス</sup>一、海辺カ江辺ニイテ、ソコ  
 ノ<sup>（濁点墨朱）</sup>ヂリ<sup>一</sup>ヲ云タ者ナリ、洪一巨一モ、ドレモ、大波ソ、日  
 ハ夜ルヒルノ心ソ、波力互<sup>タカイ</sup>ニウチ来、ウチ去、モノヲキネテ、  
 ツ<sup>213ウ</sup>ヤウナ「ヲトガ、スルナリ、○幢、旛也ハタナリ、  
 漢<sup>タツ</sup>建<sup>ケイヲ</sup>二一<sup>一</sup>、<sup>ケイヲ</sup>一、<sup>ケイヲ</sup>一、<sup>ケイヲ</sup>一、ホコトヨムソ、又ホコノフクロナリトシ  
 タソ、幢ハ、ハタホコトヨムソ、ホコヲタテハ、ソレニハタ  
 ヲカクルソ、ハ磨幢、磨モ、ハタナリ、吾<sup>レ</sup>欲<sup>メ</sup>盈<sup>ント</sup>二其<sup>ノ</sup>氣<sup>ヲ</sup>一不



レ令<sup>メ</sup>見<sup>セ</sup>ニ<sup>一</sup>、氣ガ中ニアマルホドナケレハ、ソトエ、発ス  
ル<sup>一</sup>、ユワイソ、弓モ、ヒキフクラムル<sup>一</sup>、スクナク、タモ  
ツ<sup>一</sup>、久ウナケレハ、矢ガサキエ、イテ、物ガヌケヌソ、ソ  
ノ如クソ、氣ヲ中ニ、ツミ、ミツルホトニ、ソトエ、モノサ  
キヲ、アラワサヌソ、磨<sup>一</sup>ヲ、アラワサヌトハ、人ノ心ノ、  
ウチニアル機ヲ、磨<sup>一</sup>ト云タカソ、本ノハタノ<sup>一</sup>デハ、ナサ  
ウナソ、**韓**文ニアラウソ、<sup>214オ</sup>「風騷壇上見<sup>ニル</sup>ニ<sup>一</sup>」、**荊公**風雅  
文字ノ戰陣テ、大將ノイル壇上ニ、ハタヲ立<sup>タ</sup>ルソ、大將ノハ  
タサキヲミテ、ハタラク者ナリ、十年擁<sup>ス</sup>ニ<sup>一</sup>谷<sup>ヲ</sup>十年コノカ  
タ、兵陣ニ、ハタヲサセテ、ソノモトニイテ、辛苦シタソ、  
文字ノ陣ノ<sup>一</sup>カ、本ノ陣ノ<sup>一</sup>カ、谷ガ吾カ<sup>一</sup>ヲ、イワハ、文  
字風雅ノ陣テ、アラウソ、又武官ノ人ニヤル詩ナラハ、本ノ  
陣ノハタソ、<sup>一</sup>碧油幢、**選**軍幕也、軍陣ニ、ハルマクナリ、  
雨ニモ、ハルホドニ、油ヲヒクソ、三体ノ上ニ、青油幕下白  
雲<sup>ノ</sup>辺トアリ、碧油、青油モ、同<sup>一</sup>ソ、大將ノイル所ヲ、幕下  
ト云イ、磨<sup>一</sup>下ト云ソ、史漢ニ、戯<sup>キ</sup>下ト云ハ、ハタノシタト云  
ソ、<sup>214ウ</sup>「<sup>キ</sup>戯モ、ハ<sup>一</sup>図ナリ、<sup>一</sup>纓絡幢、起<sup>タテ</sup>ニ七宝塔<sup>ノヲ</sup>以<sup>テ</sup>ニ

一<sup>一</sup>旛<sup>ヲ</sup>（幡<sup>ハカ</sup>）一供<sup>一</sup>養<sup>レニ</sup>之<sup>一</sup>、七宝ヲ以テ、塔ヲタテ、ヤウ  
ヤクノハタヲ以テ、仏ニクヤウシタソ、ヤウヤクワ、玉ヘ  
ンニモ、イトヘンニモ、カクソ、**維摩經**ニアリ、<sup>一</sup>折<sup>シク</sup>二幔<sup>（慢<sup>ハカ</sup>）</sup>  
幢<sup>ヲ</sup>、法達師礼<sup>ニ</sup>祖師<sup>ヲ</sup>一頭不<sup>ヘ</sup>至<sup>ニ</sup>地<sup>ニ</sup>祖師曰<sup>ク</sup>礼本<sup>ハト</sup>ニ<sup>一</sup>頭<sup>ヘナシ</sup>奚  
不<sup>ル</sup>至<sup>ラ</sup>地<sup>ニ</sup>、**伝**灯录ニアリ、法達禪師法花經ヲ持經ニシタソ、  
三千部ヨウタソ、六祖ノ説法ヲ、キイテ、大悟シタソ、サレ  
トモ、持經ヲハ、ヤメス持シタソ、人ノ高慢ノ氣ワ、タカイ  
ハタホコヲ、サシタテヤウナソ、時間<sup>ニテ</sup>正論<sup>ヲ</sup>除<sup>ク</sup>疑<sup>ヲ</sup>網<sup>ゴトニ</sup>毎  
レ讀<sup>ム</sup>高辞<sup>ヲ</sup>ニ<sup>一</sup>、**荊公**時間<sup>（一）</sup>一<sup>一</sup>時<sup>トキ</sup>ハ、ヨリ  
一<sup>一</sup>トヨムソ、<sup>215オ</sup>「ソノ時ハ、細々ノ心ソ、時ニトヨメハ、  
アルトキニト、マレナ心ソ、ドチナリトモソ、正意ノスクメ  
ノ説法ヲ、キイテ、邪路ニ入テ、ウタカイノ、ヒキハツタ網<sup>アミ</sup>  
ヲ、キリ破タソ、毎読<sup>（一）</sup>一<sup>一</sup>毎ハ、コトトモヨミ、  
ツネニトモヨムソ、向上ノ法ヲ、トイタ、経录ノ文辞ヲヨム  
ソニ、吾カ外道慢<sup>一</sup>心ノ、ハタホコヲ、クジキヲツテ、ステ  
タソ、<sup>一</sup>離垢幢、有<sup>リ</sup>二菩薩<sup>ク</sup>一名<sup>ニ</sup>一<sup>一</sup>坐<sup>メ</sup>於道場<sup>ニ</sup>將<sup>マサニ</sup>  
成<sup>一</sup>正覺<sup>一</sup>有<sup>リ</sup>二惡魔<sup>ニ</sup>前<sup>ニ</sup>來<sup>テ</sup>惱<sup>ス</sup>乱<sup>一</sup>、此ハ、維广經ノ語力、ササ

ノ道場ニ坐メ、正覺ノサトリヲ、成セウトスル時ニ、魔力、  
前エ、現メ、ササノ心ヲ、ナウメ、ミタソ、ナリハセヌソ、

**活** <sup>215ウ</sup> <sup>(ママ)</sup> 赤ー **晋志** 晋ノ天文志カ、  
「**活** 赤ー」、星ノナリヲ云タ

カ<sup>215ウ</sup> 碧ー、「前ノ碧油ナリ、<sup>215ウ</sup> 白虎ー、旗ニハ、風雲龍虎

ヲモンニカクソ、山ヨセニ、陣ヲスユレハ、虎ノモンノハタ、

水辺ニハ、龍ノモンノハタヲ、立ソ、

○椿、<sup>クナリ</sup> 杙也、杙ハ、クイソ、**韓** <sup>サン</sup> 斬 <sup>スキトヲ</sup> 二拔栢与ー、栢ハ、

木ノカブナリ、斬ハ、キルナリ、木ノカフ、クイドモヲ、

キリステ、ヒキヌイテ、ステタソ、此ワ、文

章ノワルイ、キリクイ、ホセカブヲ、キリノケタヲ、云タ

カ、本ノ木ノキリクイカ、**谷** <sup>イキハクス</sup> 械 <sup>ス</sup> 樸 <sup>チウ</sup> 作 <sup>ヲ</sup> 二株ー、械ーハ、ザウノ

ノ、ワルイネヂリ、コブリタ、木ソ、タキ木ニスルソ、ホ

セクイニナルソ、道 <sup>カ</sup> 家 <sup>テ</sup> 以 <sup>ス</sup> 鼻 <sup>ツナク</sup> 為 <sup>ヲト</sup> 二係 <sup>レ</sup> 牛ー、道 <sup>カ</sup> 士 <sup>テ</sup> 家 <sup>ニ</sup> 二ハ、

観念ヲスルソ、物ヲ観 <sup>216オ</sup> 念スルニハ、目ヲフサイド、「鼻

ノサキヲ守ソ、牛ヲ、ツナグニハ、クイガ、干要ソ、観念ニ

ハ、鼻ノサキヲ守カ、センソ、サテ、タトエタソ、**活** <sup>216オ</sup> 封ー、

不<sup>レ</sup>解ソ、

○淙、水声ー、水ノ流ル、ヲトナリ、<sup>(崖カ)</sup> 流淙、懸一崖  
巨一石飛ー、<sup>タリ</sup>

高イ山ノ、ツナイデ、カケテヲイタヤウナ、キシカラ、大一石

エ、山ノ水カ、トブ如ニ、流レ、ヲツル水ノコエガ、淙々ト

アルソ、欧陽カ **廬山高** <sup>(4)</sup> ノ文ニ、カイタソ、<sup>(崖カ)</sup> 石淙、韓子華

有 <sup>リ</sup> 二石一莊、坡有 <sup>レ</sup> 詩、坡カ詩ニ、トノ卷ニアルヤラ、不<sup>レ</sup>考、

「<sup>(4)</sup> 南淙、愚公居 <sup>ス</sup> 二北一谷、漫叟 <sup>クル</sup> 隱 <sup>ニ</sup> 二ー、愚公ワ、山ヲ、ヲ

キタイ所ニ、ウツイテ、ヲイタソ、北ノ谷ニイタソ、漫ーハ

、元次山ナリ、漫郎トモ云タソ、南方 <sup>216ウ</sup> 「<sup>(4)</sup> 浯溪ニイタソ、

**后村** <sup>サウ</sup> 劉カ詩ナリ、谷モ漫郎江南酒隱 <sup>ノ</sup> 処ト作タソ、

「<sup>(4)</sup> 淙、四海岸從間邇來頗ー、**谷** <sup>216ウ</sup> 四海ノ、トモナイ、シタ

カウ人タチノ、アイタニ、此年来、アチ、コチ、水ノ如クニ、

流行シタ心カ、又淙ハ、水ノ声ナリ、琤モ、玉ノヲトナリ、

詩文ノヲトカ、玉ノナル如ク、水ノヲトノヤウナト、云心カ、

文ヲホメテ、琤ート云ハ、吾 <sup>216ウ</sup> テハアルマイソ、題ヲミネハ、

シレヌソ、

〔付記〕

本稿は、JSPS 科研費（特別研究員奨励費）22KJ0552・22KJ0545 の助成を受けたものです。

- |             |               |         |
|-------------|---------------|---------|
| （こいけとしき     | 大学院人文社会系研究科   | 博士三年・   |
|             | 日本学術振興会特別研究員） |         |
| （おくやま ひかる   | 大学院人文社会系研究科   | 博士一年）   |
| （やまもと ひさし   | 大学院人文社会系研究科   | 博士一年）   |
| （きこし ひろむ    | 大学院人文社会系研究科   | 修士二年）   |
| （おばた こうき    | 大学院人文社会系研究科   | 修士二年）   |
| （たけばやし えいみ  | 大学院人文社会系研究科   | 修士二年）   |
| （いわさき りんたろう | 大学院人文社会系研究科   | 修士一年）   |
| （にしかわ ゆか    | 大学院人文社会系研究科   | 修士一年）   |
| （おう しゅんらい   | 大学院人文社会系研究科   | 外国人研究生） |
| （おおしま ひでゆき  | 大学院人文社会系研究科   | 博士三年・   |
|             | 日本学術振興会特別研究員） |         |